

平成 30 年度

市民アンケート実施結果

報 告 書

平成 30 年 8 月

鹿角市総務部政策企画課総合戦略室

目 次

I	実施概要	1
II	回収状況	2
III	調査の総括	4
IV	設問別集計結果	10
1	子育て支援について	11
2	健康づくりについて	15
3	公共交通について	23
4	地域情報化について	27
5	中心市街地について	30
6	男女共同参画の状況について	32
7	コモッセの利用状況について	34
8	運動の実施状況について	39
9	地域コミュニティについて	41
10	住みごころについて	43
11	愛着について	45
12	市の政策について	47
13	自由意見	53
資料	平成30年度市民アンケート回答票	68

Ⅰ 実施概要

1 実施目的

本市では、平成23年度から32年度を計画期間とする「第6次鹿角市総合計画（以下、「総合計画」と呼びます。）」において、市の将来のあるべき姿として、「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」を将来都市像として定め、その実現を目指しています。この調査は、総合計画の推進を図るため、市が導入している行政評価制度の外部評価の一環として、総合計画を構成する各施策の進捗状況を成果指標として確認するほか、施策の効果とニーズ（需要）を調査・把握するとともに、市民の意識や意見等を集約し、今後の施策推進に活用することを目的としています。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1 あなた自身について	性別、年代、居住地区、子育て状況の確認	—
2 子育て支援について	子育て支援の満足度と不満要因の把握	福祉課
3 健康づくりについて	健康寿命の認知度や主観的健康観等の把握	いきいき健康課
4 公共交通について	バス等の利用頻度と不便を感じる方の割合の把握	市民共動課
5 地域情報化について	インターネット利用状況の把握	総務課
6 中心市街地について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	総合戦略室
7 男女共同参画の状況について	地域内の共同参画状況の把握	市民共動課
8 コモッセの利用状況について	芸術鑑賞した割合とコモッセの利用状況の把握	生涯学習課
9 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
10 地域コミュニティについて	社会活動、地域活動への参加頻度の把握	市民共動課
11 住みごころについて	鹿角市の住みごころに対する満足度の把握	総合戦略室
12 愛着について	鹿角市に愛着を持っている方の割合の把握	総合戦略室
13 市の政策について	施策効果と市民ニーズを調査し、施策評価と優先度等を検討	総合戦略室
14 自由記入	—	—

3 実施期間

平成30年5月30日（水）～6月15日（金）まで

4 実施対象

平成30年5月30日時点で住民基本台帳に登録されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢18歳から74歳までの市民700人。抽出にあたっては性別、年齢、地域条件を考慮し均衡を図ったほか、平成27年度から29年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 職員による回収及び郵便（受取人払い）による回収

II 回収状況

1 回収率

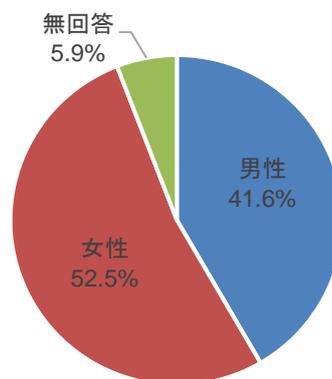
70.7% (495人/700人) ※平成29年度の回収率 67.0% (469人/700人)

2 回答者の属性

市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比¹は、その区分の対象者（回答者）が全対象者（回答者）のうち何%を占めているかを表しています。回収率²は、その区分の対象者数のうち何%³が回答を寄せたかを表しています。

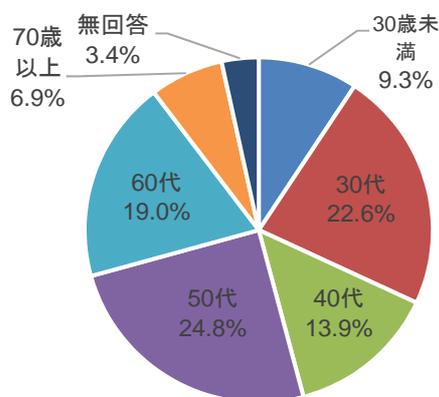
(1) 男女別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男性	330	47.1%	206	41.6%	62.4%
女性	370	58.9%	260	52.5%	70.3%
無回答	-	-	29	5.9%	-
計	700	100%	495	100%	70.7%



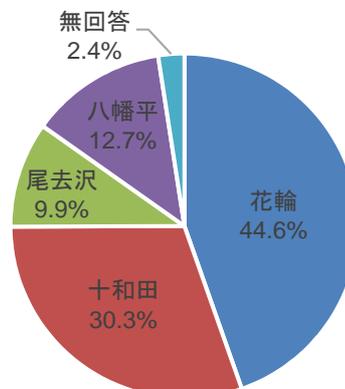
(2) 年代別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
29歳以下	101	14.5%	46	9.3%	45.5%
30代	184	26.3%	112	22.6%	60.9%
40代	96	13.7%	69	13.9%	71.9%
50代	157	22.4%	123	24.8%	78.3%
60代	120	17.1%	94	20.0%	78.3%
70歳以上	42	6.0%	34	6.9%	81.0%
無回答	-	-	17	3.4%	-
計	700	100%	495	100%	70.7%



(3) 地区別

区分	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花輪	333	47.6%	221	44.6%	66.4%
十和田	227	32.4%	150	30.3%	66.1%
尾去沢	67	9.6%	49	9.9%	73.1%
八幡平	73	10.4%	63	12.7%	86.3%
無回答	-	-	12	2.4%	-
計	700	100%	495	100%	70.7%



¹ 構成比 = その区分に属する対象者数（回答者数）÷全対象者数（全回答者数）

² 回収率 = その区分に属する回答者数÷その区分に属する対象者数

³ 各設問における項目選択の割合（%）は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

III 調査の総括



III 調査の総括

1 子育て支援について

子育て支援の満足度	48.3%	詳細 P11
-----------	-------	--------

前年を 5.4 ポイント下回る結果となりました。マイナス評価の理由として「子どもの医療体制」を挙げた方が多く、昨年度からの里帰り出産の受入停止に加え、今年 10 月にかづの厚生病院の分娩機能が大館に集約されることが影響しているものと考えます。

一方、50%近い方からプラス評価を得ており、継続して行ってきた子育て支援施策が効果を上げているものと捉えています。引き続き、安心して出産・子育てができるまちづくりを進めていきます。

2 健康づくりについて

本市では、健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）の延伸を目標として市民の健康づくりに取り組んでいますが、「健康寿命」という言葉は9割以上の方に認知されているものの、自分のことを健康と思っているかどうかを尋ねた「主観的健康観」は国の調査（85.5%）と比較してかなり低い結果となりました。また、本市の大きな健康課題である「脳卒中による死亡率の高さ」について知っている割合は6割程度、脳卒中の前触れ発作について知っている割合は3割程度に留まっており、より一層周知に努める必要があります。

平成 29 年度から開始した「テレフォン病院 24」は、利用割合が 2.6%ではありますが、市民への認知度がまだまだ低いことから、電話番号をはじめ、サービス内容等について周知を図っていく必要があります。

3 公共交通について

数年間、公共交通を利用したことがない人の割合	66.3%	詳細 P 23
公共交通に不便を感じる市民の割合	23.2%	詳細 P 25

9割以上の方が自家用車を日常の移動手段としておりと考えられ、利用時間や場所に制限のない自家用車と比較して、制限の多い公共交通は不便と感じている人が多くなっています。

運行本数の増便や利用したい時間帯に走らせてほしいという声が多いものの、利用者の減少とともに運行本数を縮小せざるを得なかった経緯から、増便は難しい状況にあります。

公共交通を必要とする人は各地域に分散しており、広範囲な需要をカバーするため、予約型デマンド運行や地域主体の乗合交通の取組を進めるなど、持続可能な公共交通の運行確保が必要と考えられます。

また、学校再編や交通需要に見合った路線の効率化により利便性の向上を図るとともに、交通弱者に対する支援制度の拡充や啓発活動により市民の関心を高め、地域に必要な公共交通を維持していきます。

4 地域情報化について

インターネットを利用している市民の割合	73.1%	詳細 P 27
---------------------	--------------	---------

地域情報化の状況把握と今後の施策への反映のため、インターネット利用について調査したところ、インターネット人口普及率（インターネットを利用していると回答した割合）は73.1%で、前年（58.0%）を15.1ポイント上回る結果となりました。この要因としては、スマートフォンやタブレット端末の普及により、インターネット利用の利便性が向上したことが、40代から60代の利用割合の増加につながり、幅広い年代でインターネット利用が浸透してきたことが挙げられます。この結果を踏まえ、今後もインターネットをツールとした情報発信やサービスの拡充を図っていきます。

5 中心市街地について

中心市街地の環境に満足している市民の割合	49.1%	詳細 P 30
----------------------	--------------	---------

中心市街地活性化プランのもと、「まちなか」の魅力や快適性・利便性、交通アクセスの向上を図ることによって、賑わいの創出と活性化を目指しています。

中心市街地として位置付ける花輪市街地の環境に「満足」「やや満足」と回答した割合は、49.1%で前年（53.8%）を4.7ポイント下回る結果となりました。しかし、30歳未満では前年（60.0%）から11.1ポイント増加の71.7%となっており、大きく改善しています。この結果を踏まえ、若者世代が「まちなか」に満足している要因の分析を進めるとともに、各世代の満足度を高められるよう、事業者、関係団体等と連携しながら、中心市街地の活性化を図っていきます。

6 男女共同参画の状況について

男女の地位が平等になったと感じている人の割合	25.9%	詳細 P 32
------------------------	--------------	---------

男女共同参画社会の実現に向け、男女の地位が平等か意識調査を実施することは、男女が認め合い思いやる関係を構築する施策を推進する上で、重要なデータとなります。

男女の地位が平等であると感じている市民の割合は 25.9%で、基準値である 19.0%より 6.9ポイント増加、前年（24.7%）より 1.2ポイントの増加となっています。

しかし、「男性が優遇されている」「やや男性が優遇されている」と回答した方の割合は 63.0%で、前年（59.0%）より 4ポイント増加と依然として高い状況です。

今後も男女共同参画について考えるきっかけづくりや、「男は仕事、女は家庭」という固定的な観念を解消し、性別に関わりなく個性や能力を十分に発揮できるよう啓発に努めます。

7 コモッセの利用状況について

1年間に芸術鑑賞に親しんだ割合	34.9%	詳細 P 34
-----------------	--------------	---------

芸術鑑賞を行った人は 34.9%で昨年度より 1.4ポイント増加し、社会教育行政中期計画（H28-H32）の目標値である 30%を上回っています。引き続き、多くの市民が芸術文化に親しみ、楽しさを体感できる環境づくりに努めてまいります。

コモッセの利用目的では、図書館や文化ホール、市民センターなど、様々な目的で利用されている状況がうかがえます。今後も利用者のニーズを把握し、複合施設としての利点を生かしながら、文化交流の拠点を目指してまいります。

8 運動の実施状況について

週1回以上の頻度で運動する市民の割合	50.9%	詳細 P 39
--------------------	--------------	---------

日常的なスポーツ活動を促すためのきっかけづくりとして、生活活動動作が健康づくりと密接な係わりがあるとの意識を醸成するため、市広報やスポーツイベントを通して啓発に努めてきたところ、平成 25 年度から実施率が 50%を上回っていますが、今回は 50.9%に減少し、平成 32 年度の目標値である 65%から遠ざかった結果となっています。

年代別にみると、例年 40 歳代の働き盛り世代の実施率が低い状況にありましたが、年々上昇傾向にあります。一方で今年度は 30 代の実施率が最も低くなりました。

働き盛り世代の運動実施率を高める対策とともに、今後も市民総参加型のチャレンジデーへの参加や広報等を活用した継続的な啓発活動を行い、運動やスポーツ活動に対する意識の醸成に努めてまいります。

9 地域コミュニティについて

社会活動・地域活動の参加割合	56.6%	詳細 P 41
----------------	--------------	---------

個人の社会活動や地域活動への参加状況の把握は、地域コミュニティの活性化を図る上で重要なデータとなります。

昨年1年間で社会活動や地域活動に参加した方の割合は56.6%で、基準値である70.5%を下回っております。

年代別にみると、30歳未満の参加割合が特に低い一方、60代が68.2%と最も高く、本市の地域コミュニティにおいては、60代の活躍が大きなウエイトを占めていると捉えられます。

地域コミュニティの活性化を図っていくためには、現在の活動の中心となっている世代はもちろんですが、若年層の参加も重要となり、すべての世代が活動に参加できるような仕組みを構築することが必要です。

10 住みごちについて

住みごちに満足している割合	51.1%	詳細 P 43
---------------	--------------	---------

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は51.1%であり、「あまり住みよくない」「住みにくい」の19.8%を大きく上回っているものの、前年(52.5%)から1.4ポイント減少し、基準値を下回る結果となりました。

住みごちについては、福祉や雇用、コミュニティなどを含む総合的な指標であることから、本市の持つ魅力を十分発揮したまちづくりと計画的な社会基盤の整備を進め、満足度の向上に努めます。

11 愛着について

鹿角に愛着を持っている割合	69.3%	詳細 P 45
---------------	--------------	---------

鹿角市に愛着がある方の割合は69.3%で、前年(73.6%)を4.3ポイント下回りました。

年代別でみると、50代が78.0%で最も高く、昨年まで高かった70代や60代の数値を上回る結果となりました。

鹿角への愛着を高めていくためには、地域にある「モノ」や「コト」の魅力を磨き輝かせることが重要であるため、市民のイメージや価値を共有しながら、鹿角ブランドを確立し、鹿角ならではの独自の価値やふるさとへの誇りが高まるような、魅力的な地域づくりを進めていきます。

- ・市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるもの
- ・市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるもの

効果が得られていると感じるものとして、最も高い評価を得た施策は、例年同様「子育て支援の充実」で、継続して行ってきた取組のほか、コモッセでの託児サービスの充実や、高校生までのマル福の拡充、第3子の保育料無料が高く評価されました。2位以下の施策もほとんど例年と同様ですが、新たに「鹿角ライフの促進」が4位に上昇しており、移住施策の効果が着実に表れていることが影響しているもの考えられます。

もっと「ちから」を入れて欲しいと感じる施策については、前年まで2位であった「地域医療体制の充実」が1位となり、産婦人科の集約化に関する意見を中心に、医師不足の解消を望む声が多くありました。また、「雇用の安定」については若い人の働く場の確保と職場環境や雇用体制の改善が理由に上がっており、例年に引き続き高い数値となっています。このことから、市民一人ひとりが安心と活力を感じられる取組を強化していくことが必要です。

どちらの設問も上位の施策はほとんど例年と変わっていないため、効果が得られていると感じるものについては継続していくとともに、もっと力を入れて欲しいと感じるものについては、改善に向けた取組が必要です。これらの施策について、今後も引き続き重点的かつ戦略的に取り組んでいきます。

■ 効果が得られていると感じるもの

順位	H27 年度	H28 年度	H29 年度
第1位	子育て支援の充実	子育て支援の充実	子育て支援の充実
第2位	健康づくりの推進	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進
第3位	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進	高齢者福祉の充実
第4位	スポーツ環境の充実	観光の振興	鹿角ライフの促進
第5位	観光の振興	スポーツの推進	スポーツの推進

■ もっと力を入れて欲しいと感じるもの

順位	H27 年度	H28 年度	H29 年度
第1位	雇用の安定	雇用の安定	地域医療体制の充実
第2位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	雇用の安定
第3位	商店街の活性化	商店街の活性化	商店街の活性化
第4位	地域産業の活性化	学校教育の充実	学校教育の充実
第5位	観光の振興	子育て支援の充実	観光の振興

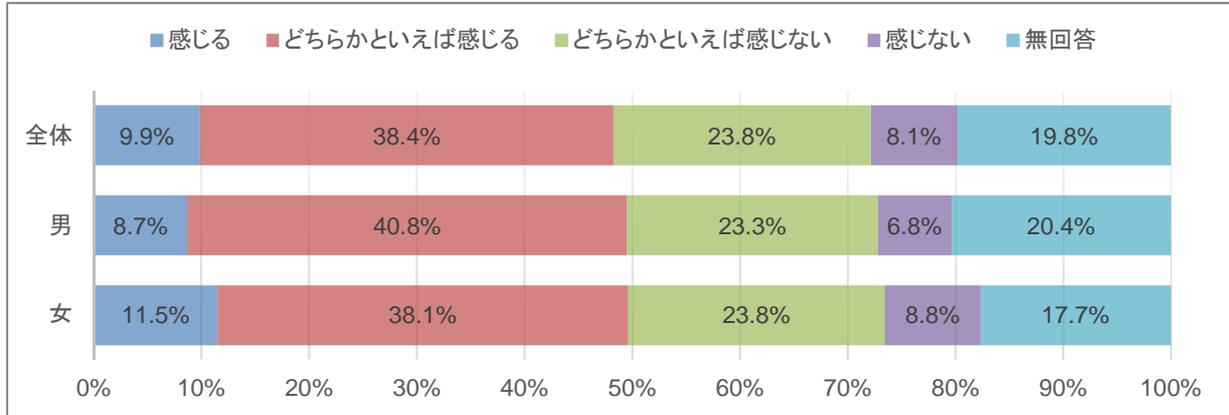
IV 設問別集計結果



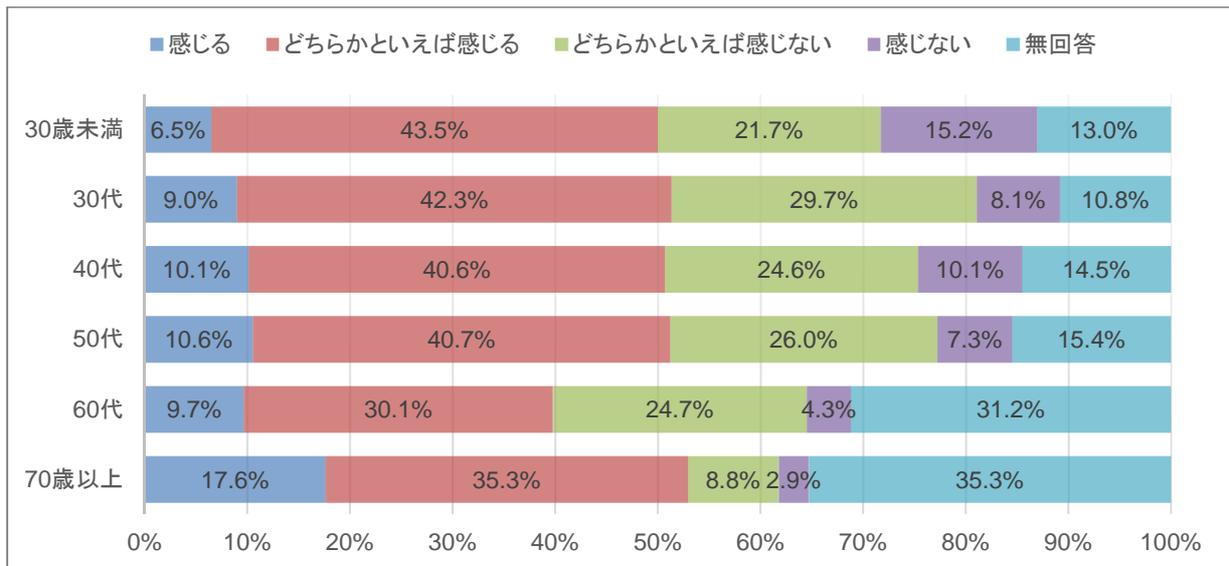
1 子育て支援について

設問2① あなたは鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

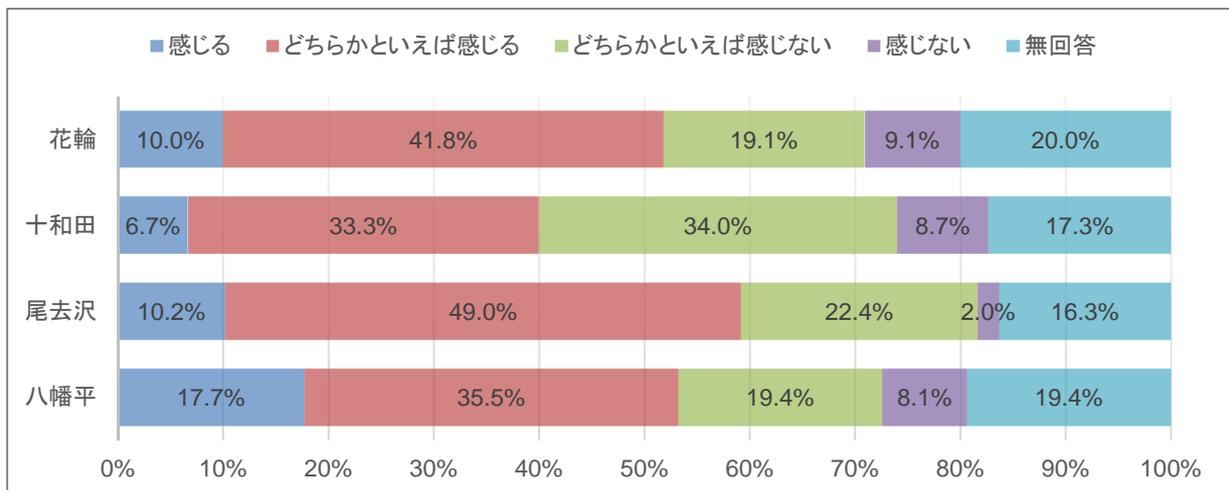
①全体／男女別



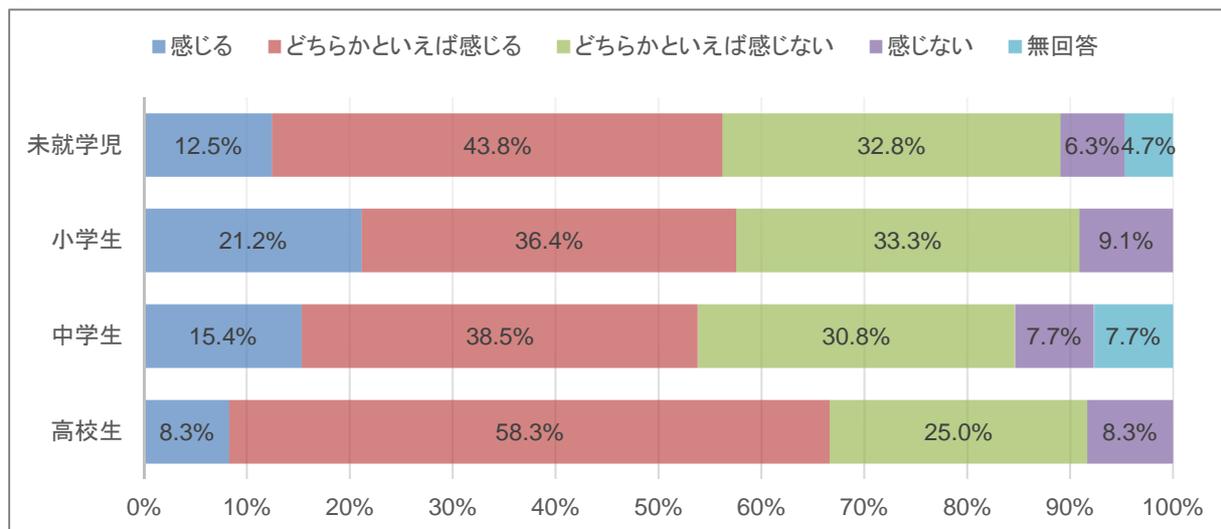
②年代別



③地区別



④子育て区分別



⑤分析結果

「子育てしやすい街だと感じる」、「どちらかといえば感じる」とのプラス評価が 48.3%、マイナス評価となる「感じない」、「どちらかといえば感じない」が 31.9%でプラス評価が 16.4ポイント高い評価となりました。

年代別分析では、60代を除く全ての年代から 50%を超えるプラス評価を得ています。また地区別でも、十和田地区を除く全地区で 50%を超えるプラス評価を得ており、継続して実施してきた子育て支援施策が効果を上げているものと捉えています。

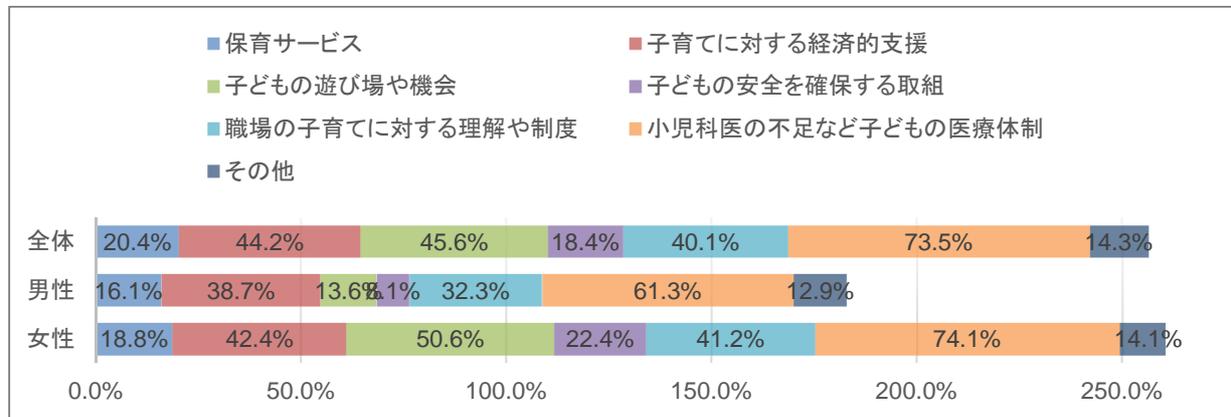
しかし、プラス評価が高いものの、昨年（53.7%）と比較すると、プラス評価が 5.4ポイント下回る結果となり、市民の感じ方に少し変化が生じていると言えます。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

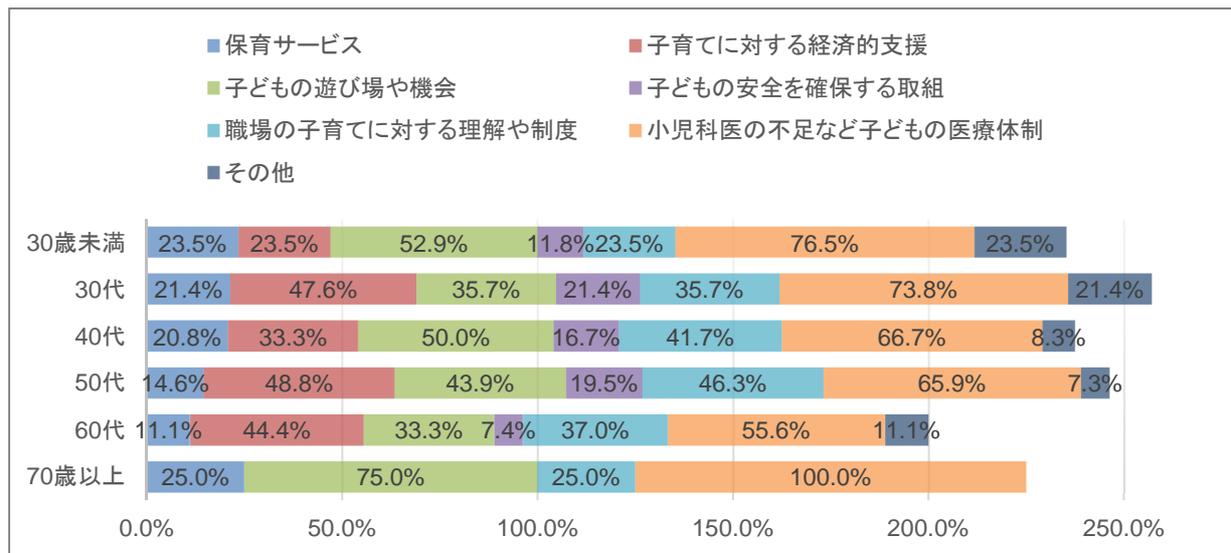
成果指標	基準値(H26)	実績値(H29)	目標値(H32)
子育てしやすいまちと感じる割合	46.2%	48.3%	57.0%

設問2② 設問2①で「3. どちらかといえば感じない」、「4. 感じない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

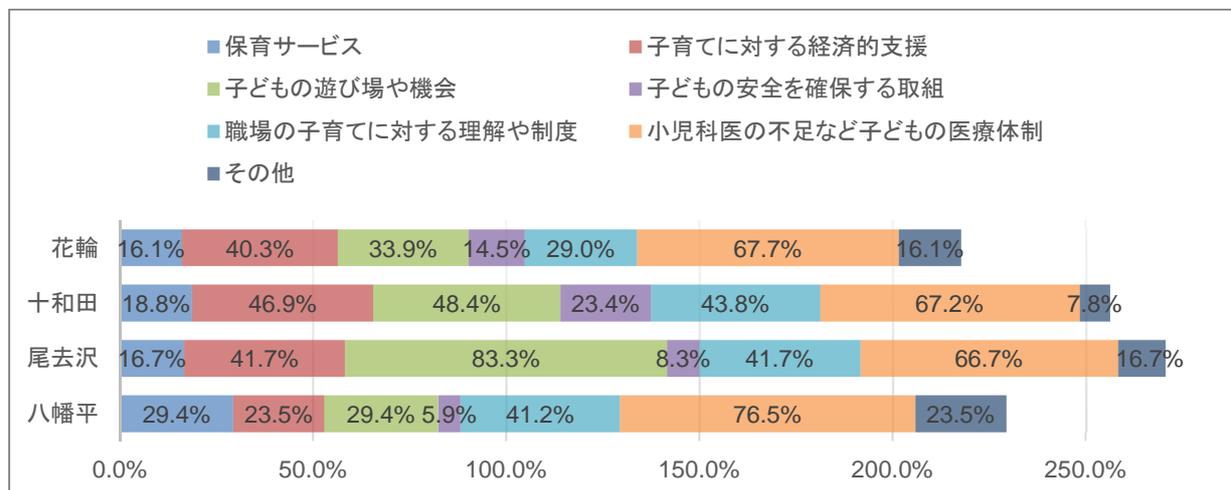
①全体／男女別



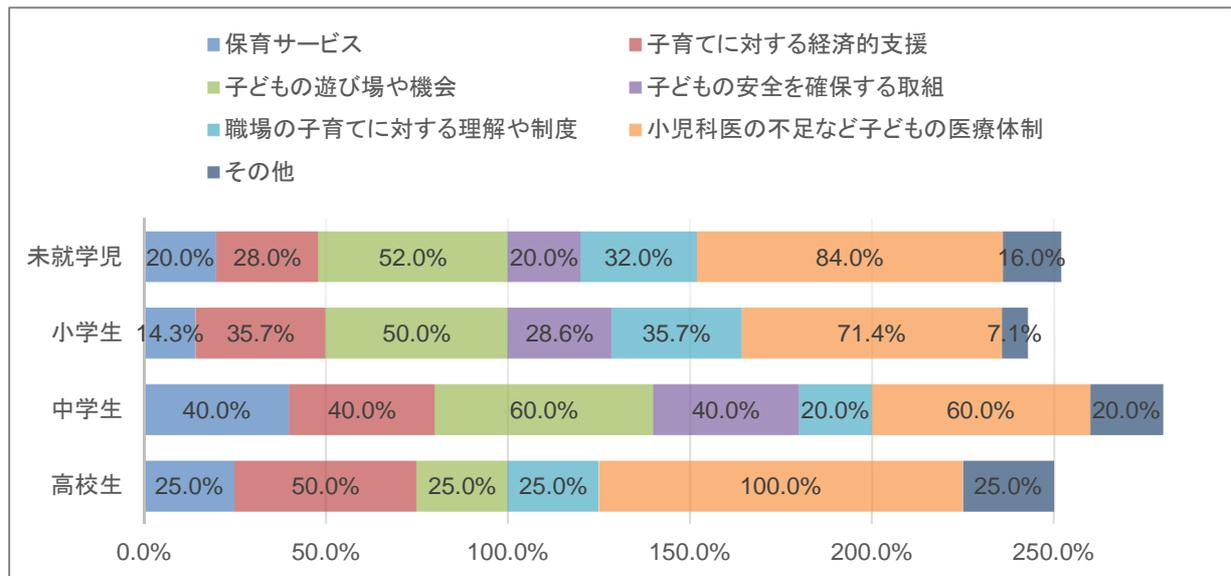
②年代別



③地区別



④子育て区分別



⑤分析結果

「子育てしやすいと感じない」、「どちらかといえば感じない」との回答をした理由として、最も多いのが「小児科医の不足など子どもの医療体制」で、全体の30%近い回答率になりました。これは、昨年度からの里帰り出産の受入停止や今年10月にかづの厚生病院の分娩機能が大館に集約されることが影響しているものと考えます。

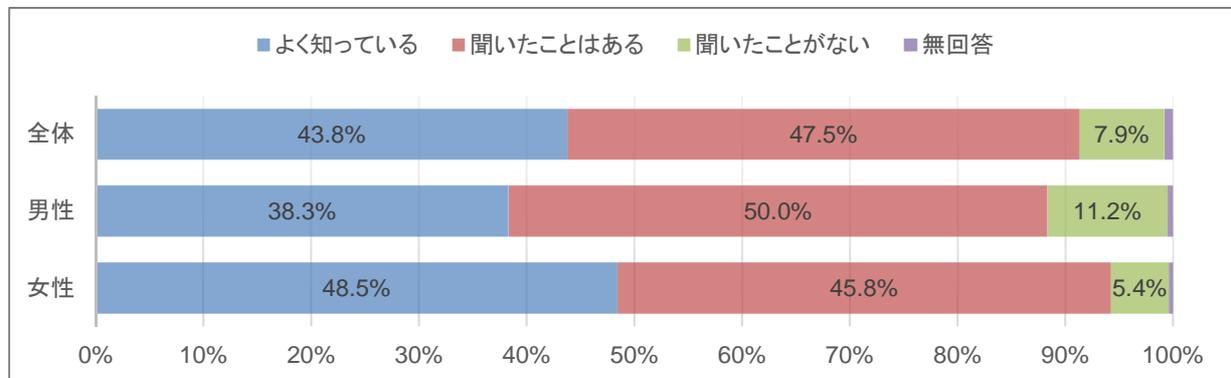
そのほか、回答率が高い順に「子どもの遊び場や機会」、「子育てに対する経済的支援」、「職場の子育てに対する理解」、「保育サービス」、「子どもの安全を確保する取組」という結果となりました。地区別では、尾去沢地区の83.3%が「子どもの遊び場や機会」と回答しており、地域ごとに詳細な分析を進めていく必要があると考えます。

「経済的支援」では、30代と50代の回答者が同数で高い割合を示しており、子どもからみた親世代、祖父母世代が更なる経済的支援を求めていることがうかがえます。

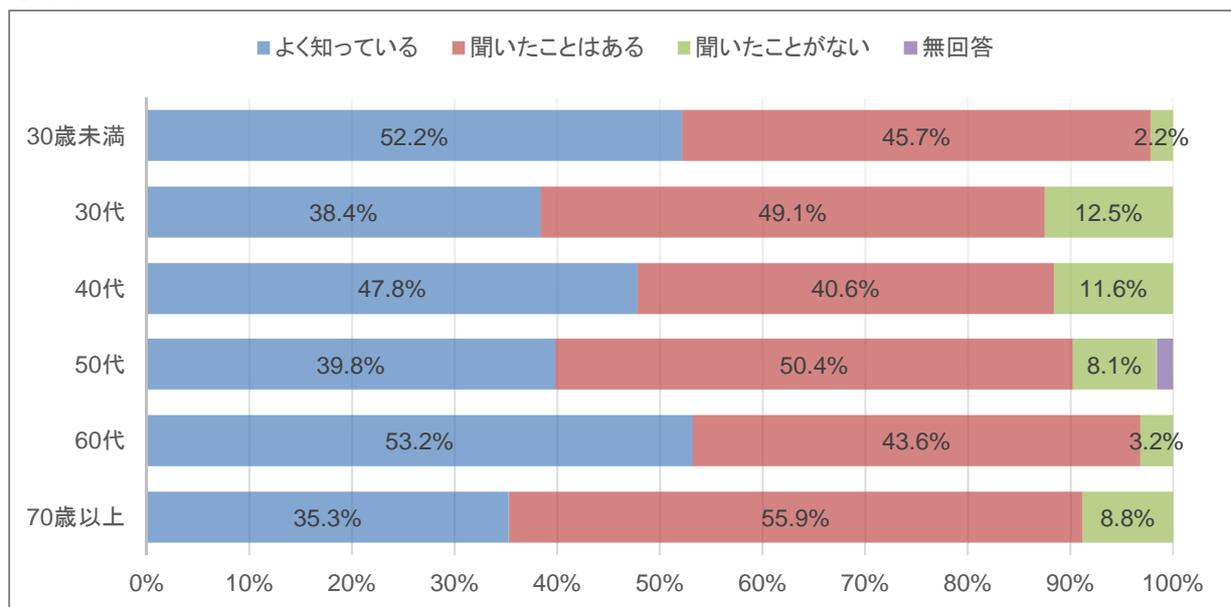
2 健康づくりについて

設問3① あなたは、「健康寿命」という言葉を知っていますか。

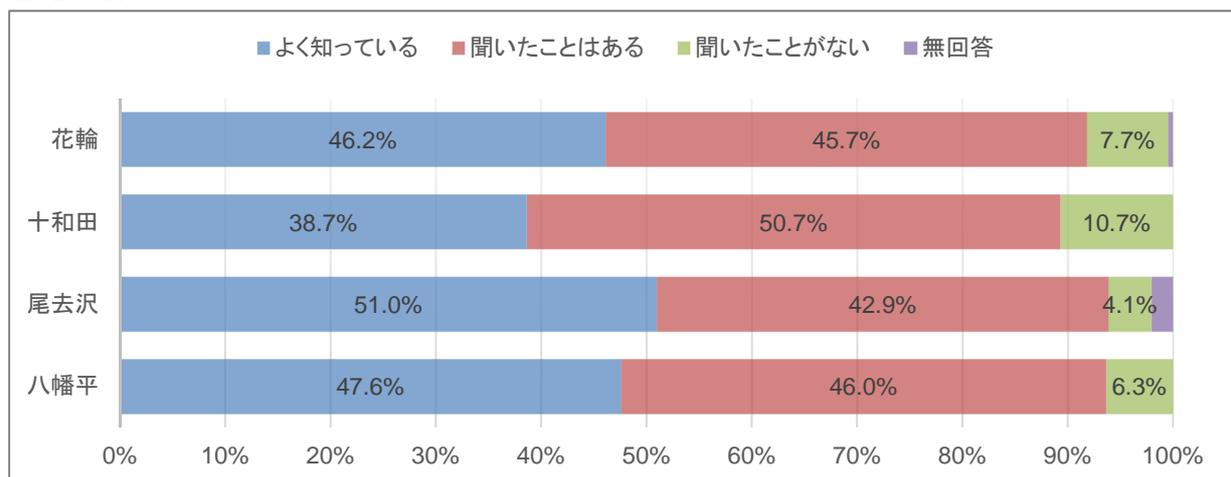
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

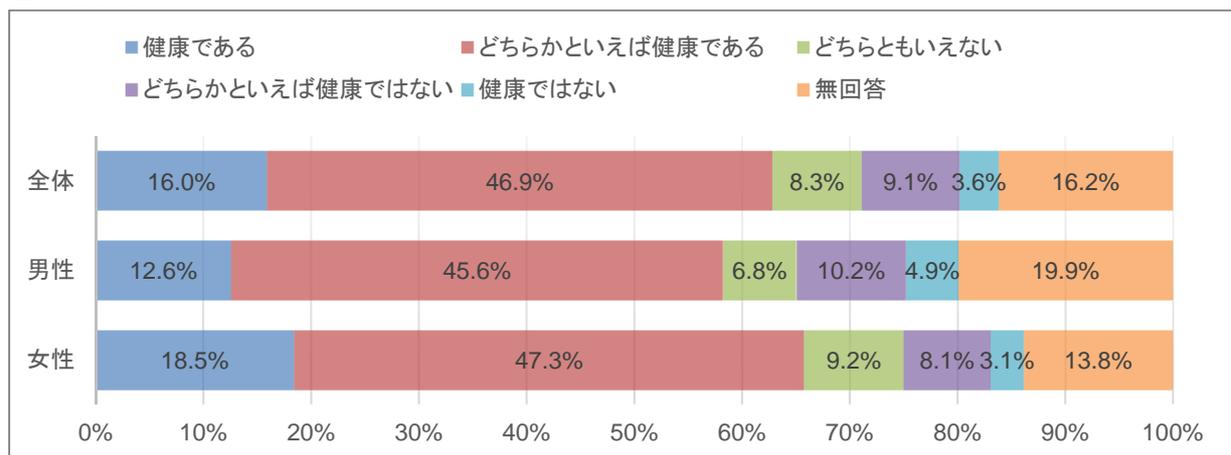
「健康寿命」という言葉は、最近メディア等で取り上げられ耳にする機会が多くなっているため、「よく知っている」43.8%、「意味は知らないが聞いたことがある」47.5%を合わせると9割以上の方に認知されており、特に30歳未満と60代の方の認知度が高い結果となりました。

健康寿命を延ばすためには、生活習慣の見直しが大変重要であり、言葉の認知度はもとより、その意味を理解し、生活習慣の見直しに取り組む方の割合を増やしていくことが求められます。

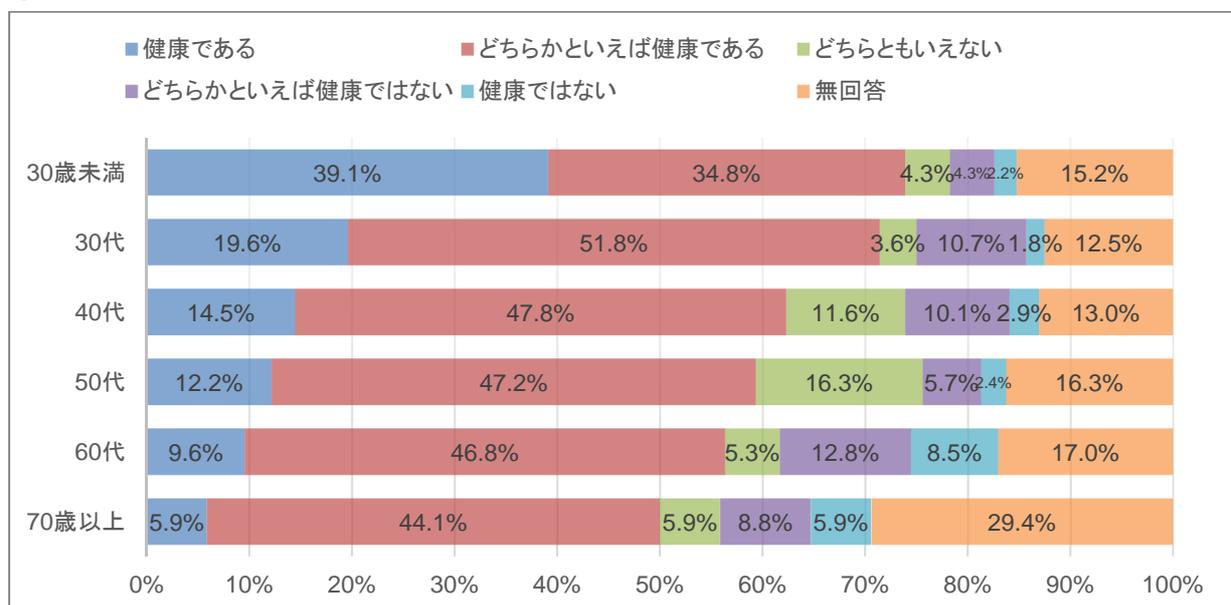
また、生活習慣の見直しは、若いうちから取り組むことが望ましいため、健康寿命に関して高い認知度がある若年層に対し、行動変容を図る取り組みを実施していく必要があります。

設問3② あなたの健康意識について、あてはまるものを一つ選んでください。

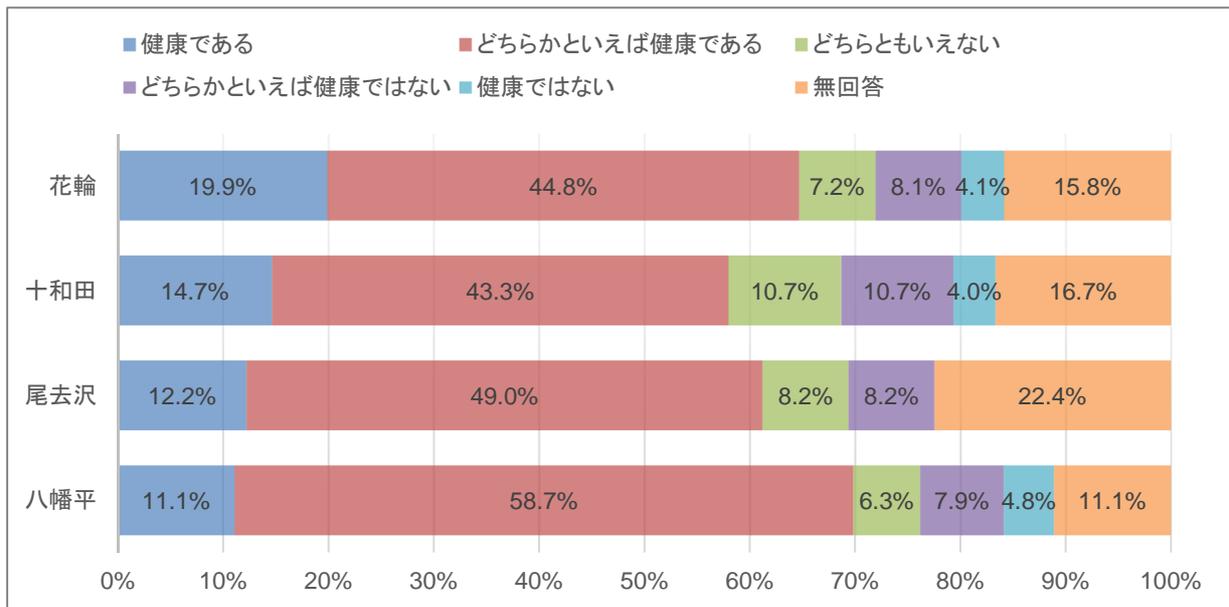
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

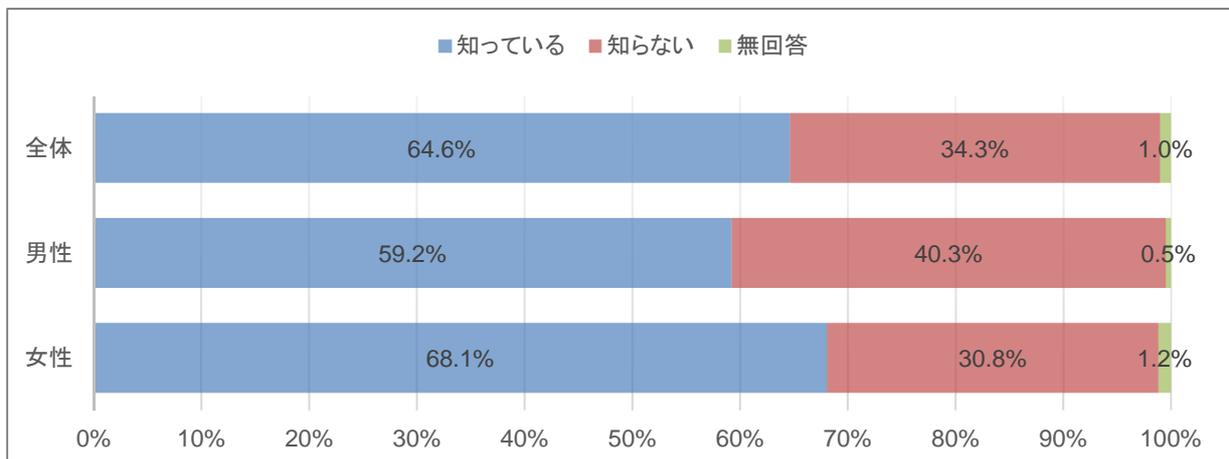
健康寿命に関連があると言われる「主観的健康観（医学的ではなく、自分で自分のことを健康と思っているかどうか）」については、健康と思っている人（「健康である」「どちらかといえば健康である」「どちらともいえない」の合計）が71.2%となり、平成28年国民生活基礎調査（厚生労働省）の結果（85.5%）と比較して14.3ポイントも低い結果となりました。

また、「健康である」と答えた方の割合が、30歳未満では39.1%であるのが、30代になると19.6%と半減し、60代以上では10%を切る結果となりました。

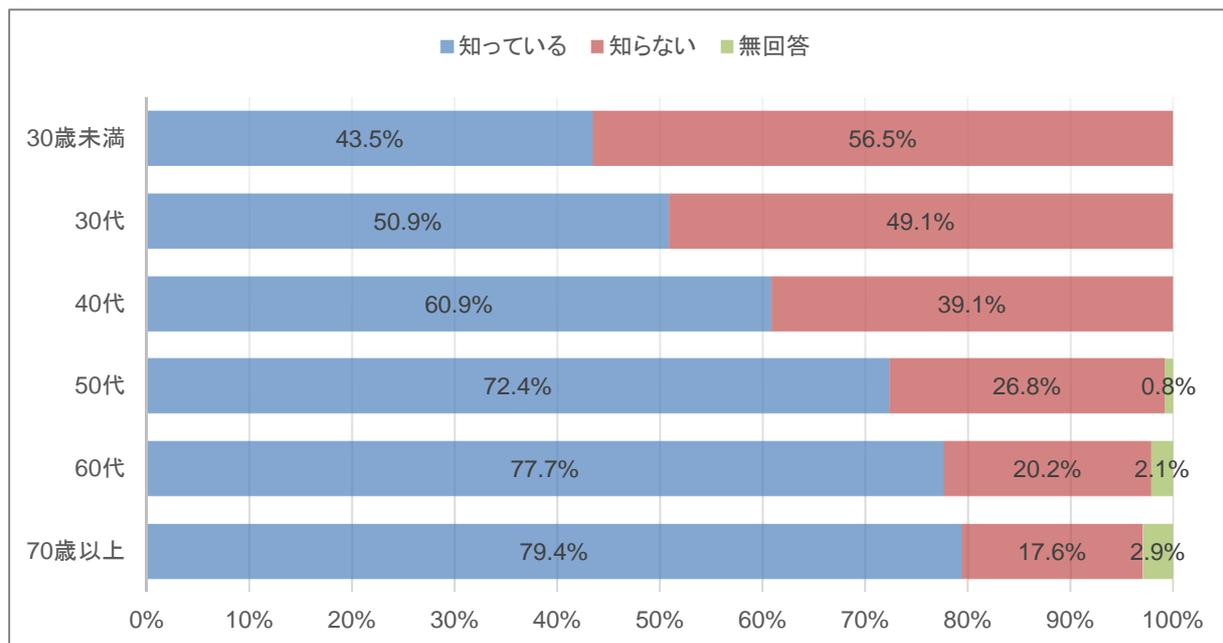
主観的健康観には、生活習慣（体重管理、運動、睡眠）のほか、人間関係の深さ、広さが深く関わっていると言われていていることから、これらの重要性について市民の理解を深めていく必要があります。

設問3③ あなたは、鹿角市が脳卒中による死亡率が非常に高いことを知っていますか。

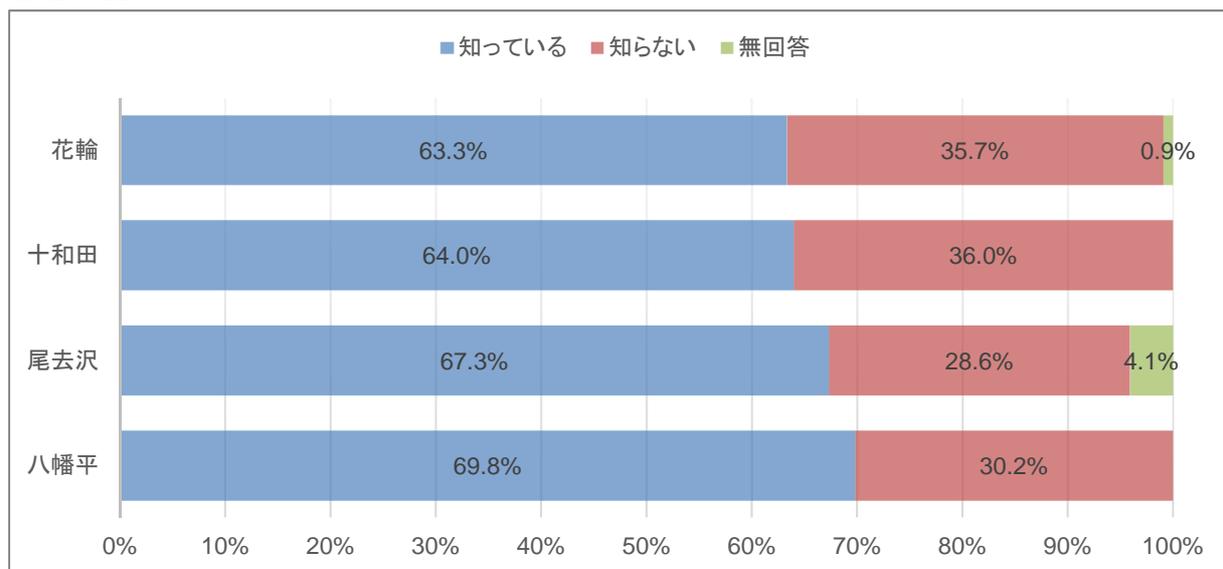
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

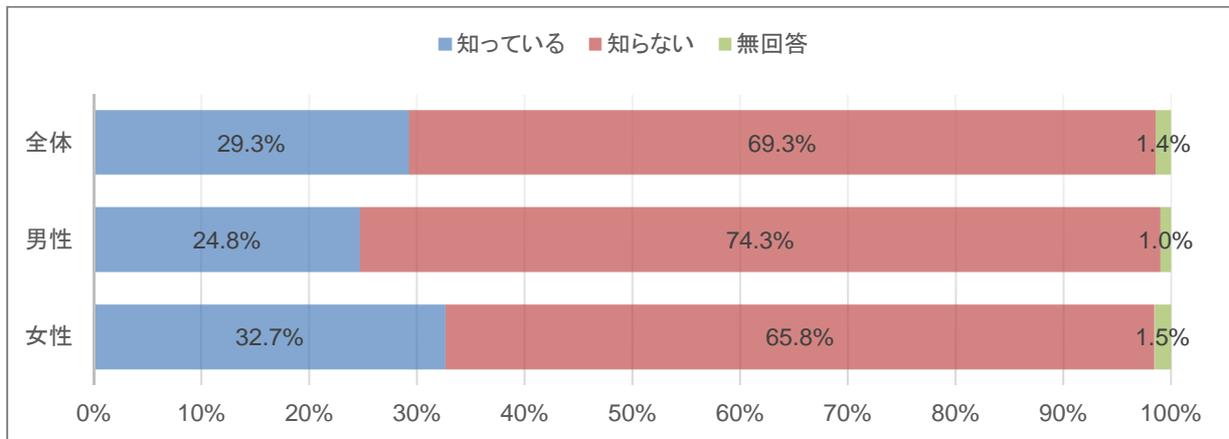
本市の大きな健康課題である「脳卒中による死亡率」の高さについて認識している方は64.6%に留まりました。

脳卒中予防については、26年度から実施している脳ドック助成や、ナトカリ比測定会の開催や鹿角市版減塩レシピの開発等による減塩啓発、脳卒中予防に特化した自治会等での健康教育等を実施しながら啓発に努めてきたところであり、60代以上の認知度は8割近くとなっていますが、30代が51.4%、30歳未満が43.5%と年代が若くなるにつれて認知度が低くなっています。

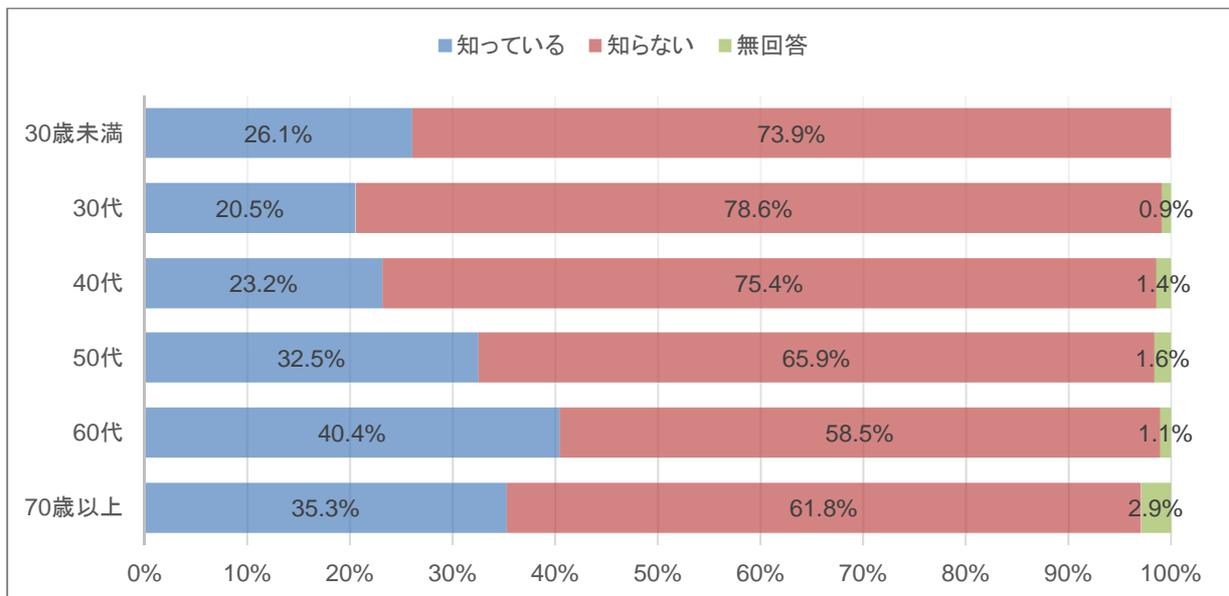
脳卒中を予防するためには、若いうちからそのリスクを理解し、生活習慣を見直すことが大変重要であることから、若年層への啓発方法について検討が必要です。

設問3④ あなたは、脳卒中の前触れ発作（一過性脳虚血発作）について知っていますか。

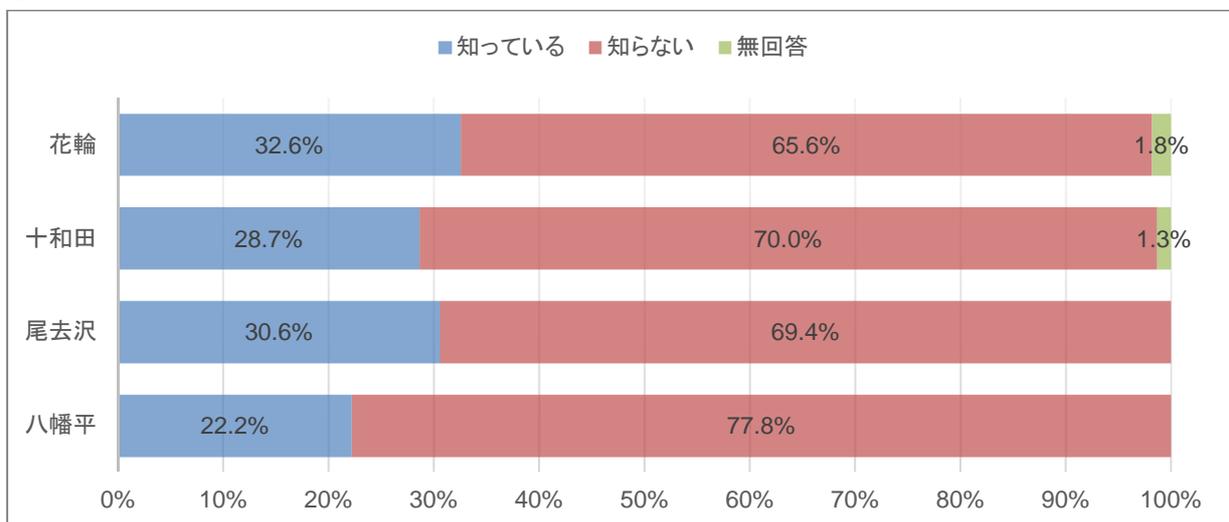
①全体／男女別



②年代別



③地区別

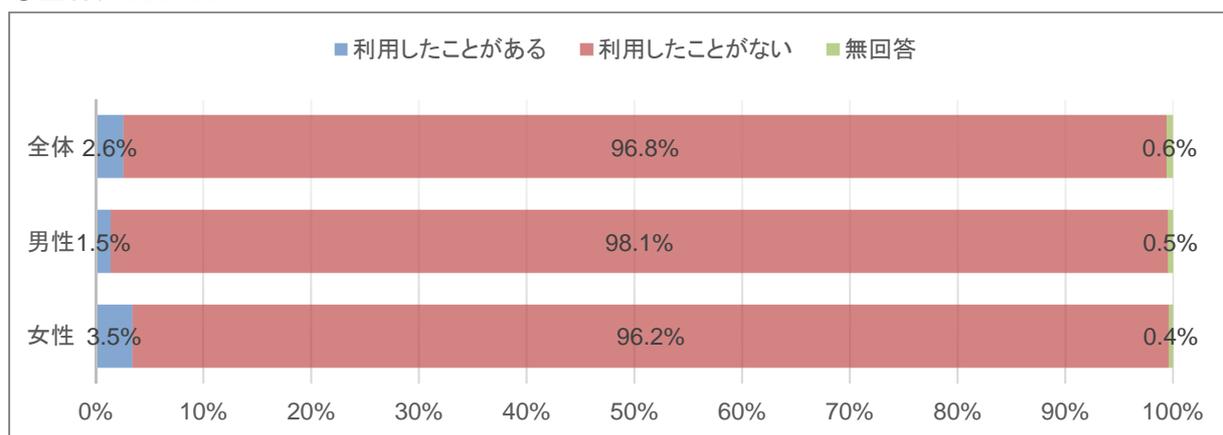


④分析結果

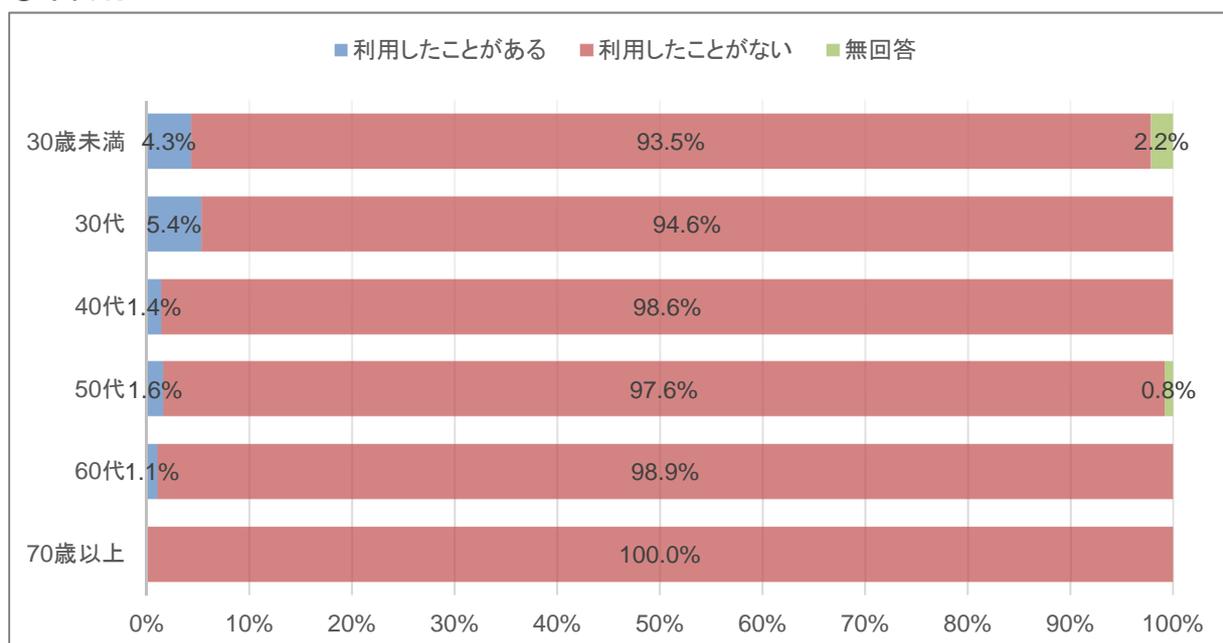
脳卒中のうち、脳の血管がつまる「脳梗塞」は、患者の約3割が「手足がしびれる」「ろれつが回らなくなる」などの前触れ発作をおこしています。脳梗塞の前触れ発作（一過性脳虚血発作）は、すぐに症状が治まるために放置されることが多いのですが、前触れ発作を起こした方の約3割が5年以内に脳梗塞になるという研究もあり、前触れ発作について知っておくことで早期治療に繋がり、死亡や寝たきりといった事態を防ぐことができます。今回の調査では、脳卒中の前触れ発作について「知っている」方が29.3%に留まりました。設問3-③で聞いた本市の「脳卒中による死亡率」の高さに加え、脳梗塞の前触れ発作についても市民に認識していただけるよう啓発を行っていきます。

設問3⑤ 市では、24時間365日、無料で健康・医療に関する相談を電話で受け付ける「テレフォン病院24」を実施していますが、あなたは利用したことがありますか。

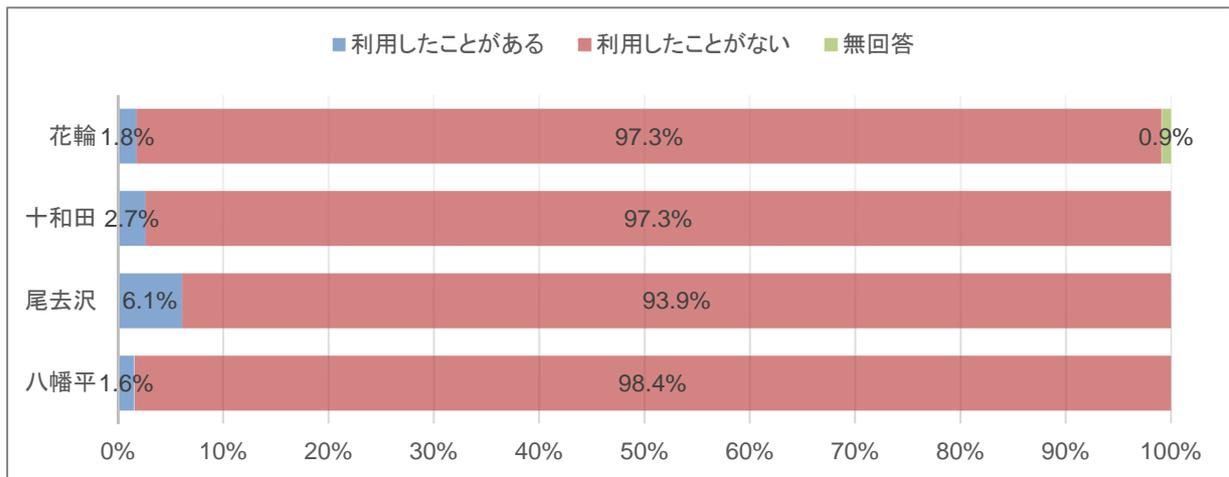
①全体／男女別



②年代別

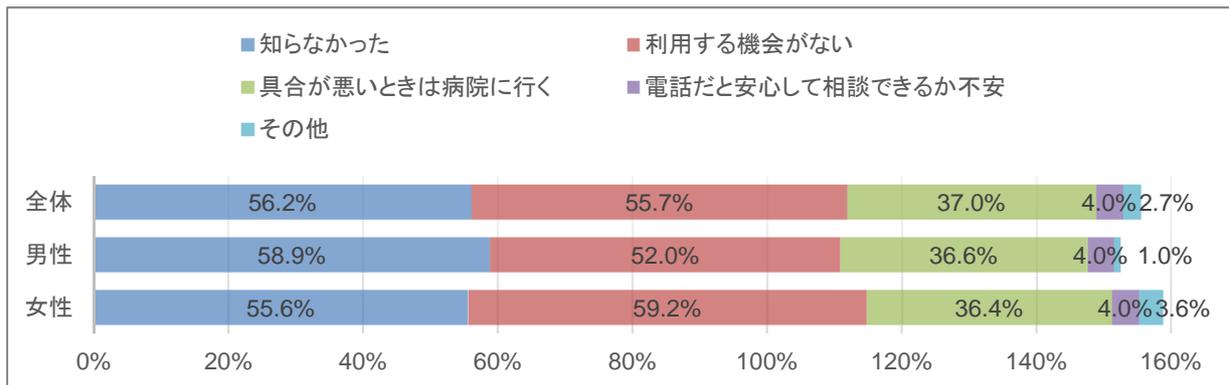


③地区別

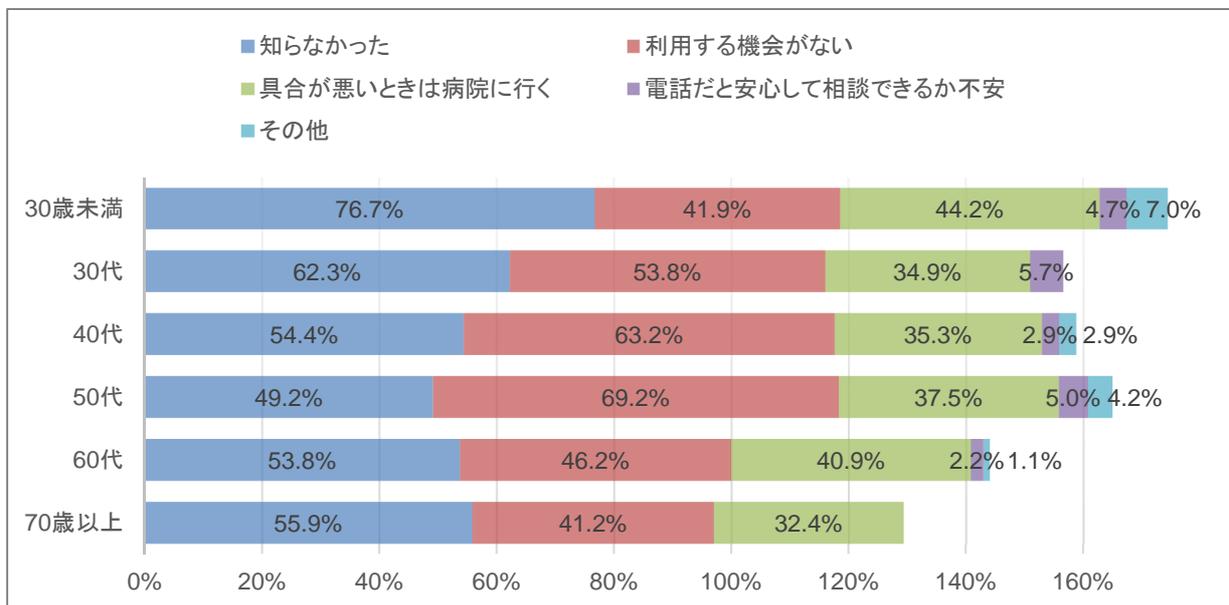


設問3⑥ 問3⑤で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。あてはまるものすべてを選んでください。

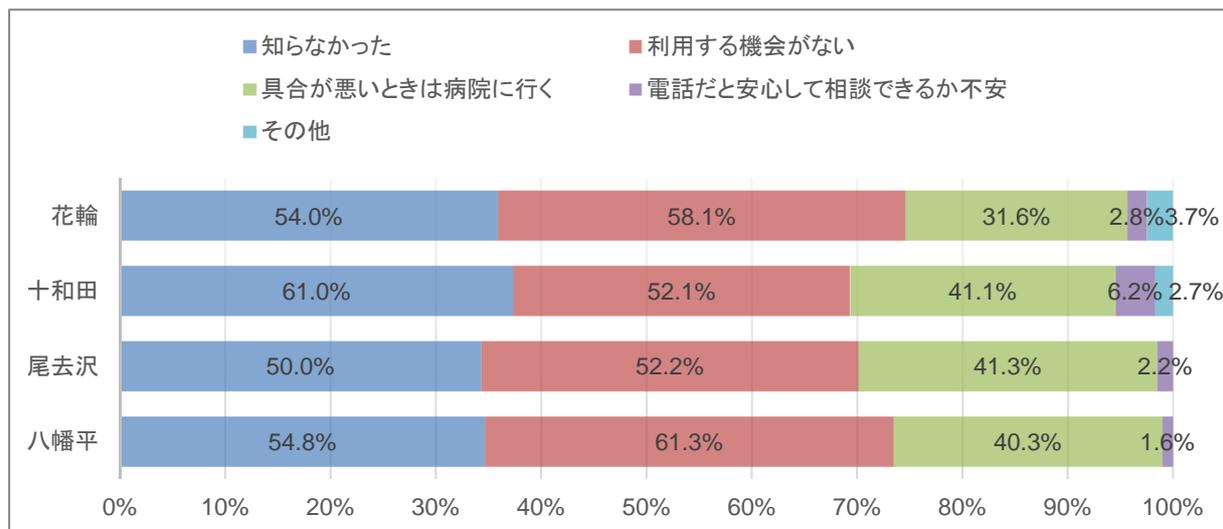
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

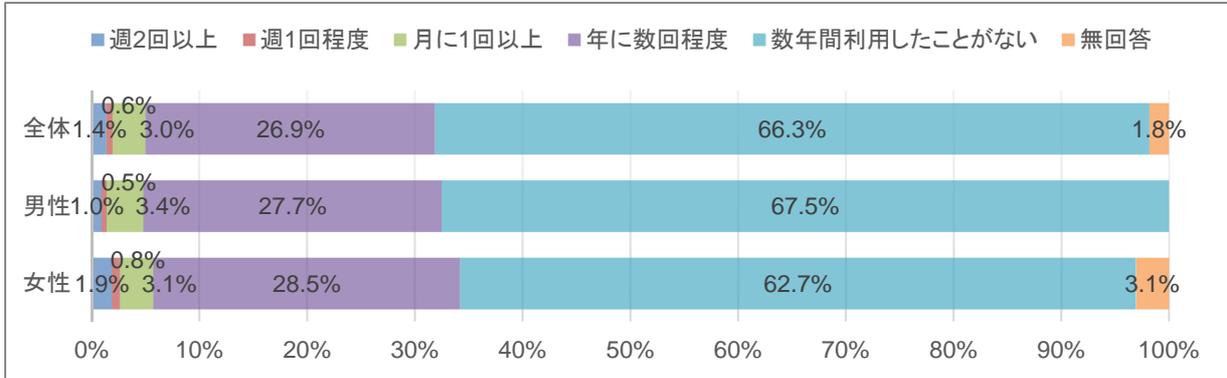
医師・看護師等の医療専門職が、24時間年中無休で相談対応を行う「テレフォン病院24」についてお尋ねしましたが、「利用したことがある」と回答した方は2.6%となりました。

「利用したことがない」理由としては、「知らなかった」が最も多く、ほとんど差がなく「利用する機会がない」となりました。自由記載では、「サービスの内容が不明」、「利用したいと思ったが電話番号がわからなかった」「プライベートのことを言いたくない」といった意見もありましたが、「テレフォン病院24」は、いつでも無料で相談でき、「誰が、どんなことを相談したか」といった詳細は固く秘密が守られ、市役所にも伝えられませんので、多くの方から気軽にご利用していただけるよう、様々な機会を捉えて周知に努めていきます。

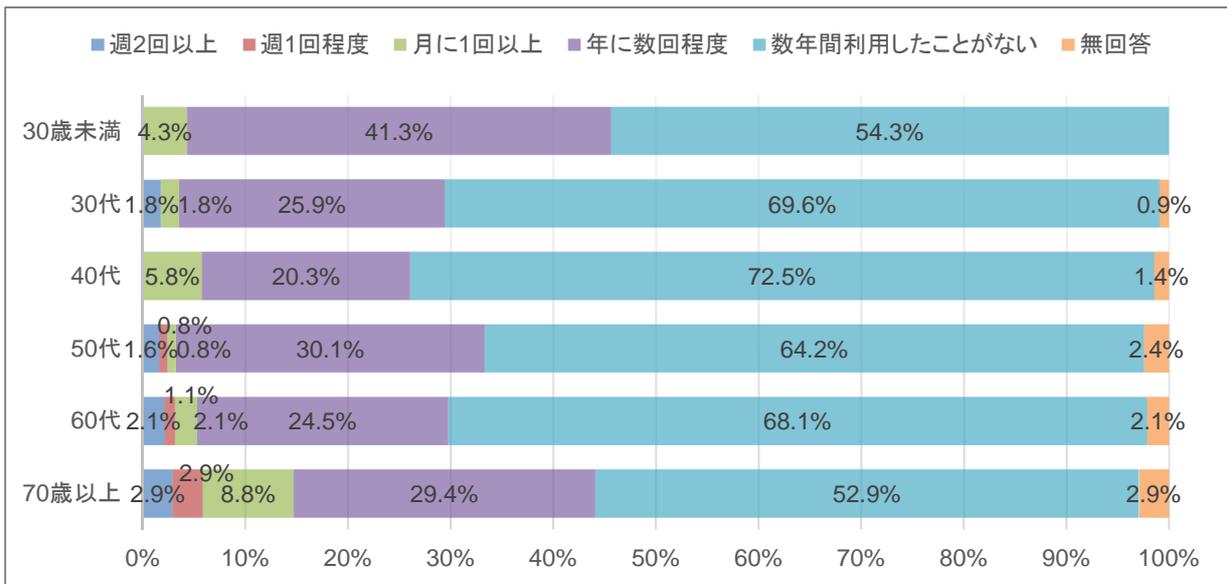
3 公共交通について

設問4① バス(予約型乗合タクシー含む)または鉄道(以下、「公共交通機関」といいます。)の利用頻度として、当てはまるものを一つ選んでください。

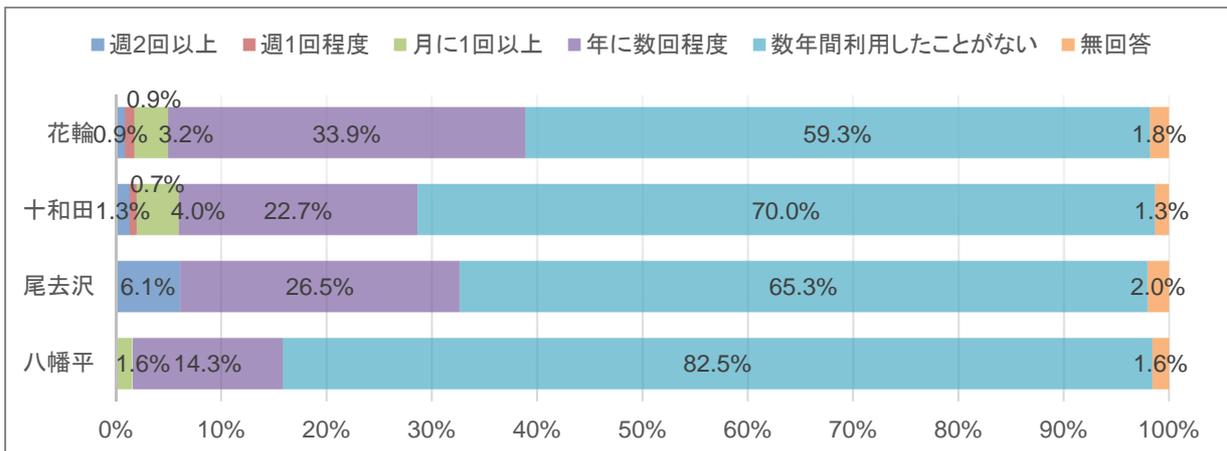
①全体/男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

公共交通機関を数年間利用したことがないと回答した方の割合は 66.3%となり前年 (55.0%) を 11.3 ポイント上回りました。年に数回程度利用と回答した方と合わせると、9割以上の方が自家用車を日常の移動手段としていると考えられます。

年代別では、年に数回程度利用と回答した方と利用したことがないと回答した方の合計の割合は、どの年代でも差は見られない状況となっています。

月1回以上の利用者(「週2回以上」、「週1回程度」、「月1回程度」の合計)をみると全体では5%にとどまり、年齢別では30歳未満の割合が4.3%となり前年(15.2%)を10.9ポイントとも下回りましたが、70歳以上の方の利用は14.6%で前年(14.0%)からほぼ横ばいとなっています。

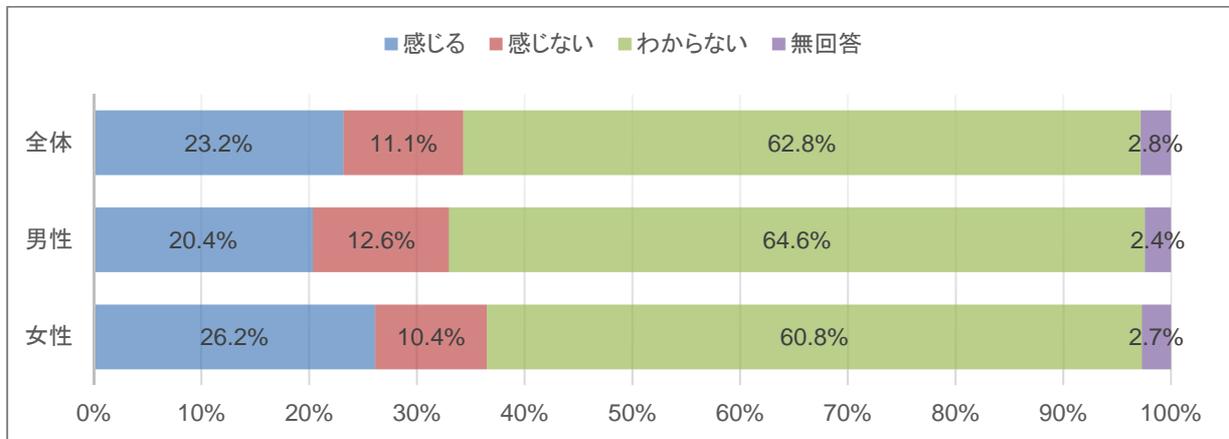
週2回以上の利用者は1.4%と大変少ないものの、延べ利用者数としては大きな需要と捉えています。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

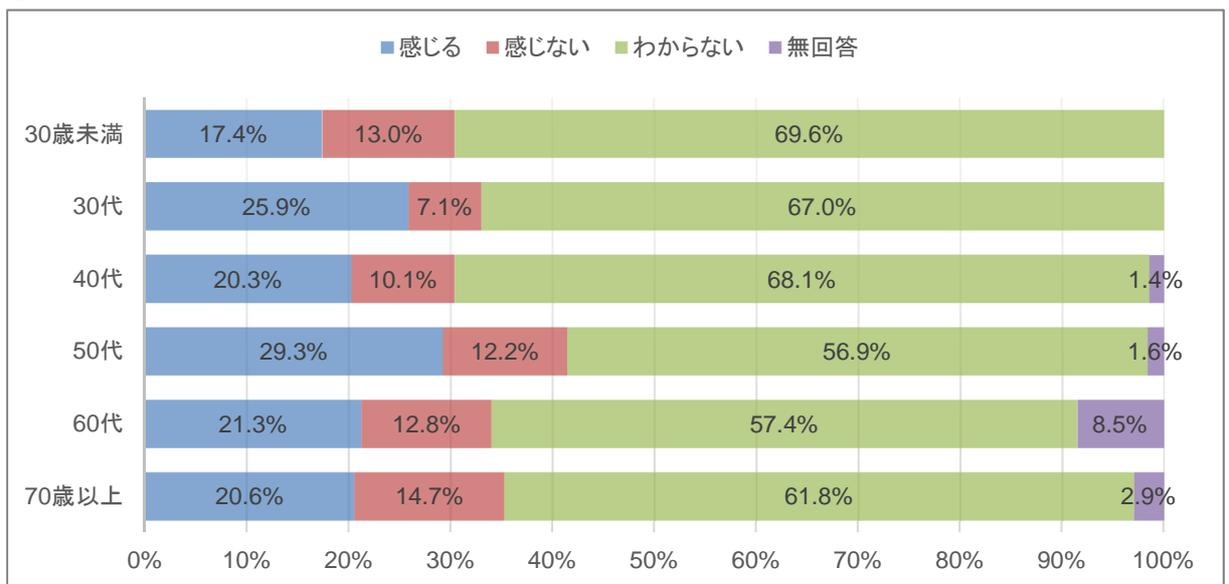
成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H32)
数年間公共交通を利用したことが無い人の割合	58.8%	66.3%	50.0%

設問4② あなたは、普段の生活の中で、バスや鉄道などの公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

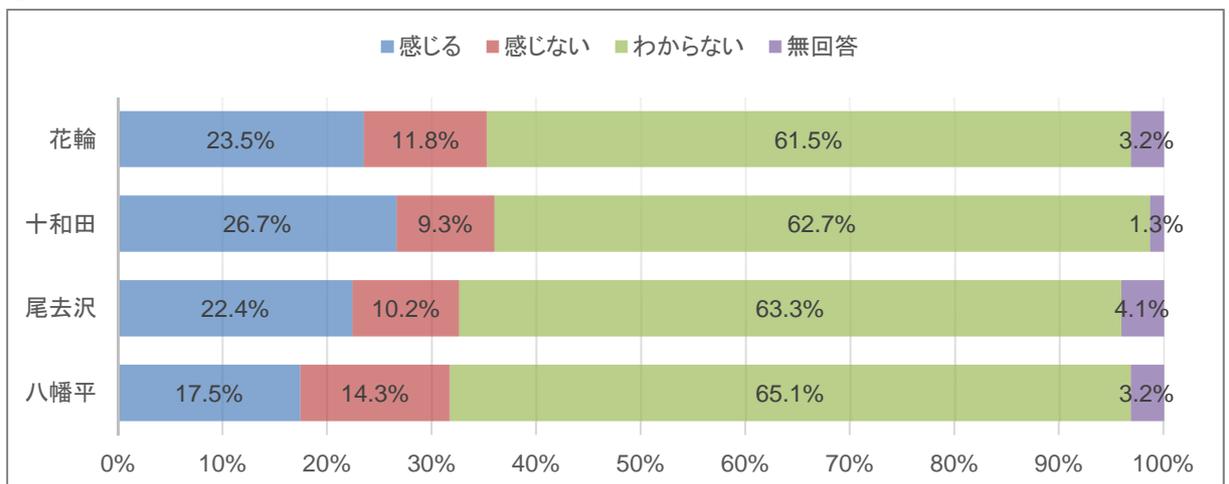
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

公共交通に不便を感じると回答した割合は 23.2%で前年（17.9%）を 5.3 ポイント上回りました。理由としてはバス、鉄道とも「本数が少ない」「土日、祝日の運行がない」が圧倒的に多く、他に自宅からバス停までが遠いことや乗り換えの不便さが挙げられています。

年代別で見ると、不便を感じる人の割合を前年と比較した場合、40代で2.9ポイント、70歳以上が0.5ポイント減少していますが、その他の年代ではいずれも8ポイント程度増加しています。

また、公共交通が不便かどうか、「あまり利用しないのでわからない」との回答が63.1%と依然として高く、普段、利用しない方からはあまり関心が向けられていないことがうかがわれます。

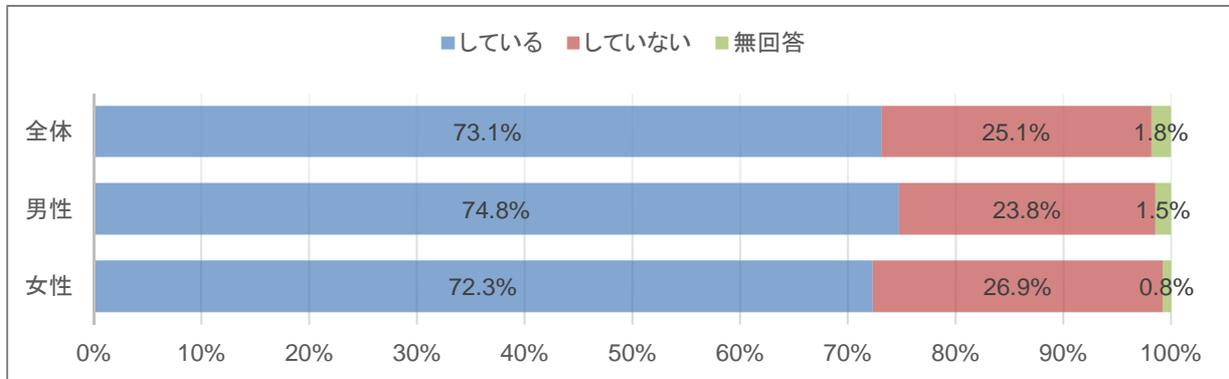
〔参考〕 地域公共交通網形成計画評価指標と実績値

評価指標	基準値(H27)	実績値 (H29)	目標値 (H32)
公共交通に不便を感じる市民の割合	17.8%	23.2%	15.0%

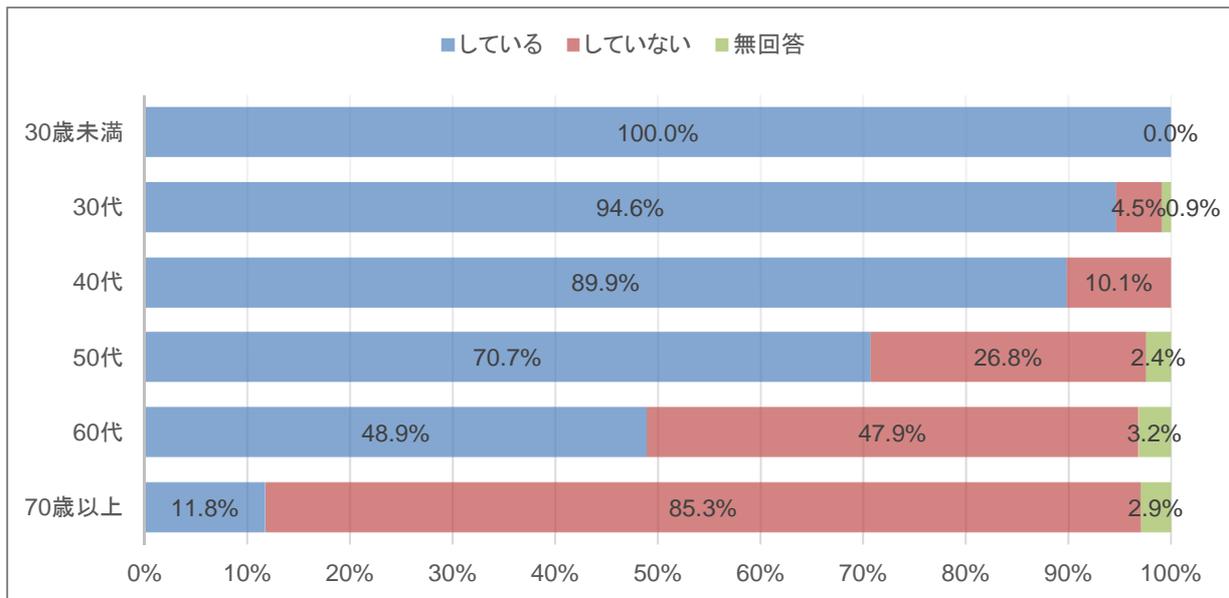
4 地域情報化について

設問5 あなたはインターネットを利用していますか。

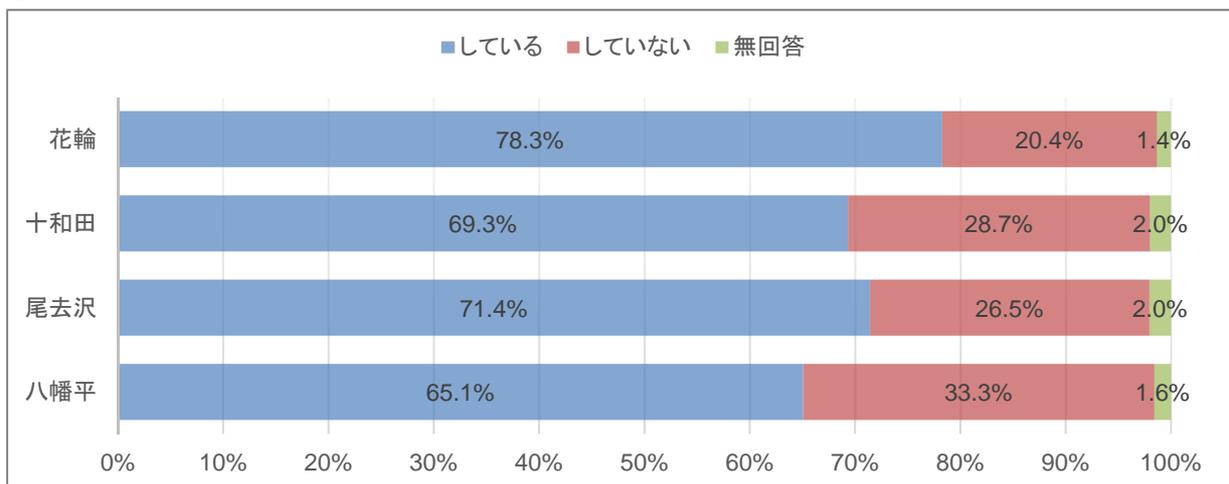
①全体／男女別



②年代別

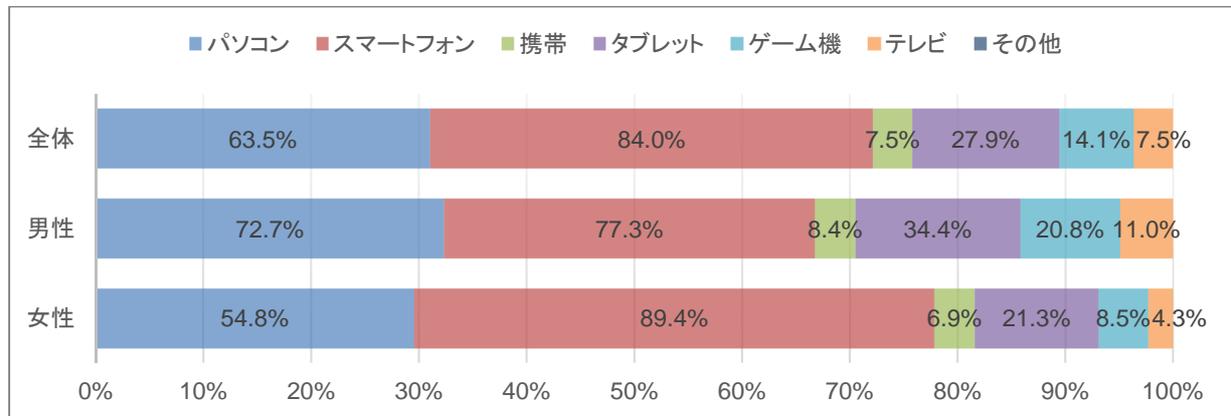


③地区別

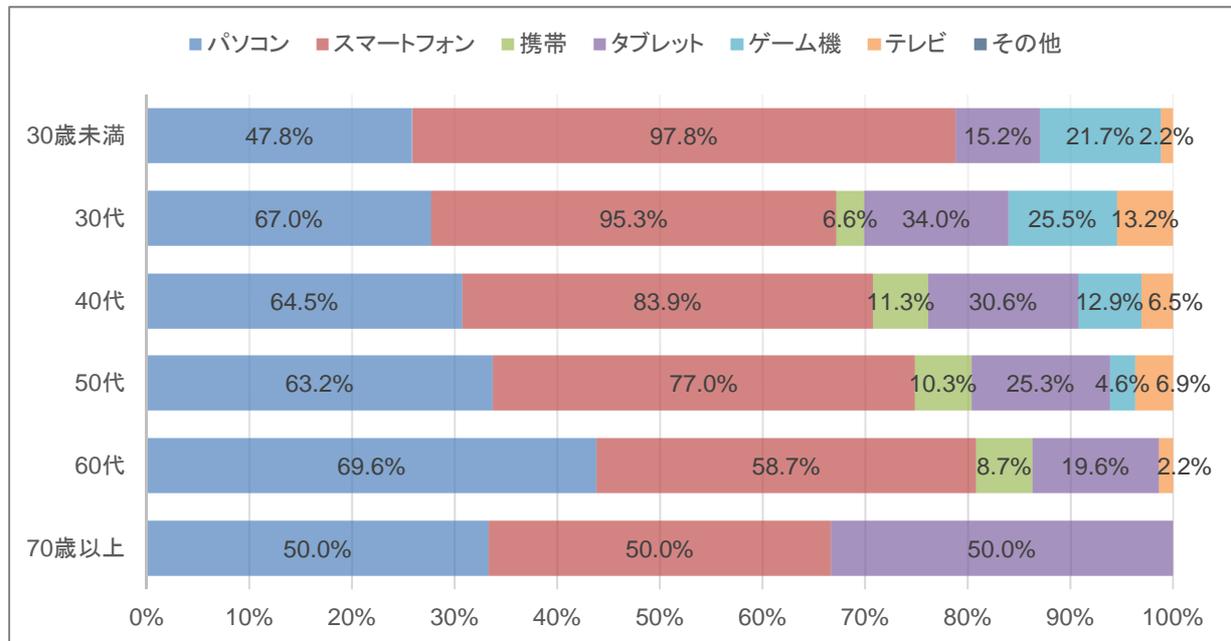


◆利用している場合の利用機器（すべて回答）

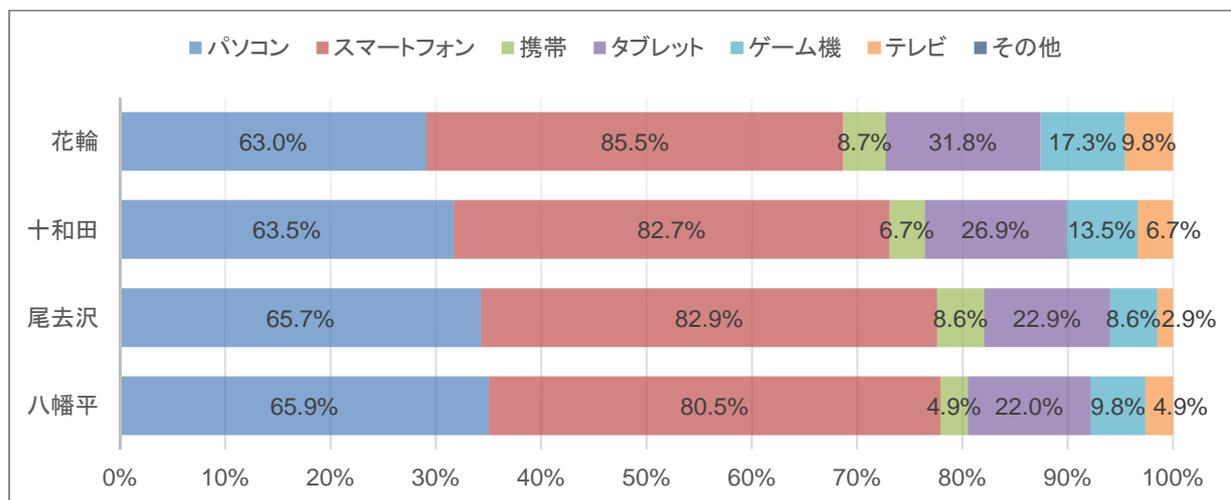
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

インターネットを利用していると回答した方は全体の73.1%となり、前年の58.0%を大きく上回る結果となりました。

年代別で見ると、30歳未満で100%、30代で94.6%と前年同様に高い割合を示したことに加え、40代で10.2ポイント、50代で4.7ポイント、60代で14.7ポイント増加しており、年代間の差も縮小傾向にあります。

また、利用機器では、スマートフォンが11.6ポイント、タブレット端末が2.5ポイント増加しており、利用割合の増加に寄与していることがうかがえます。

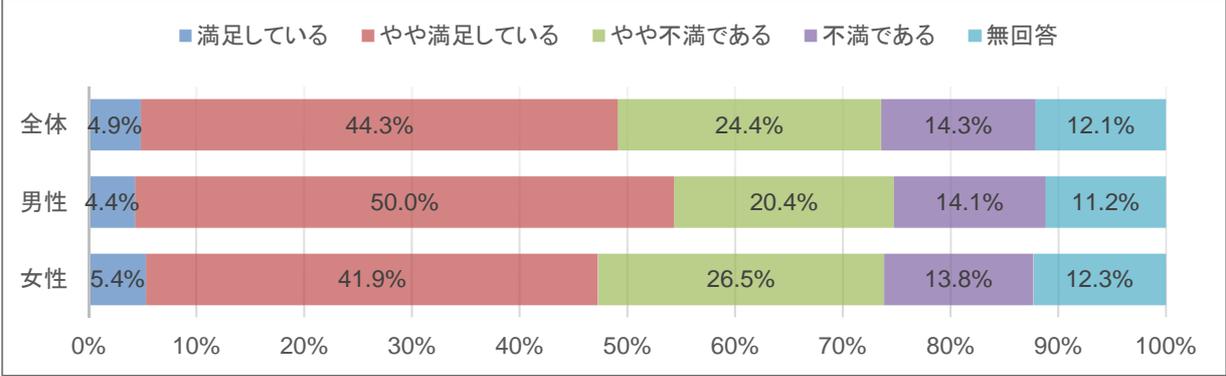
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値(H26)	実績値 (H29)	目標値 (H32)
インターネット人口普及率	56.1%	73.1%	60.0%

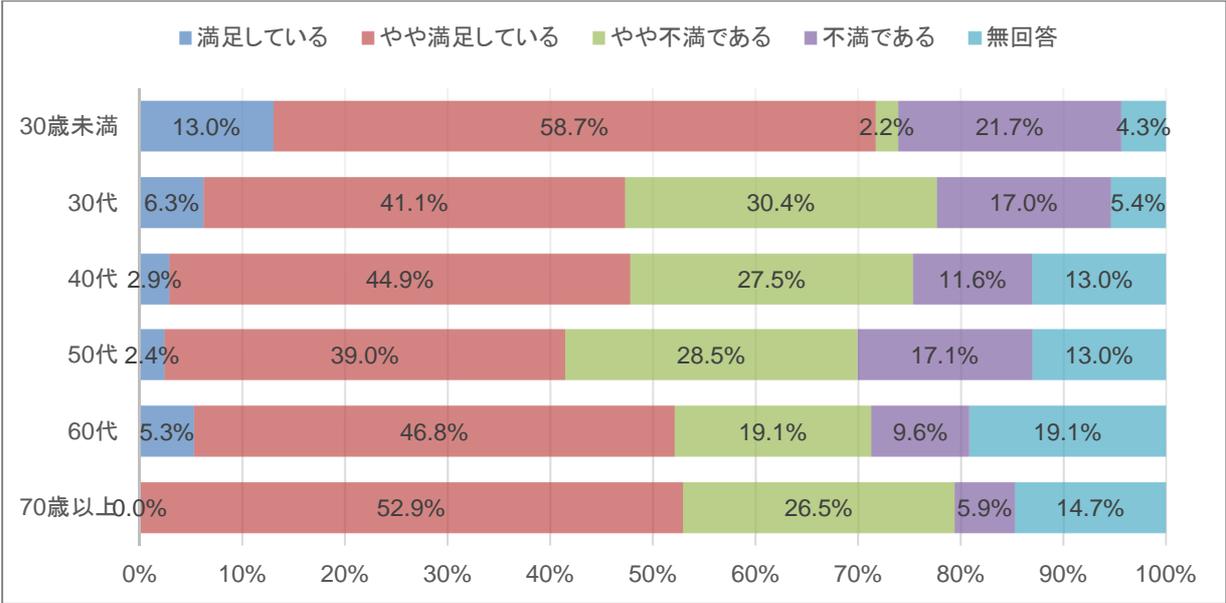
5 中心市街地について

設問6 あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

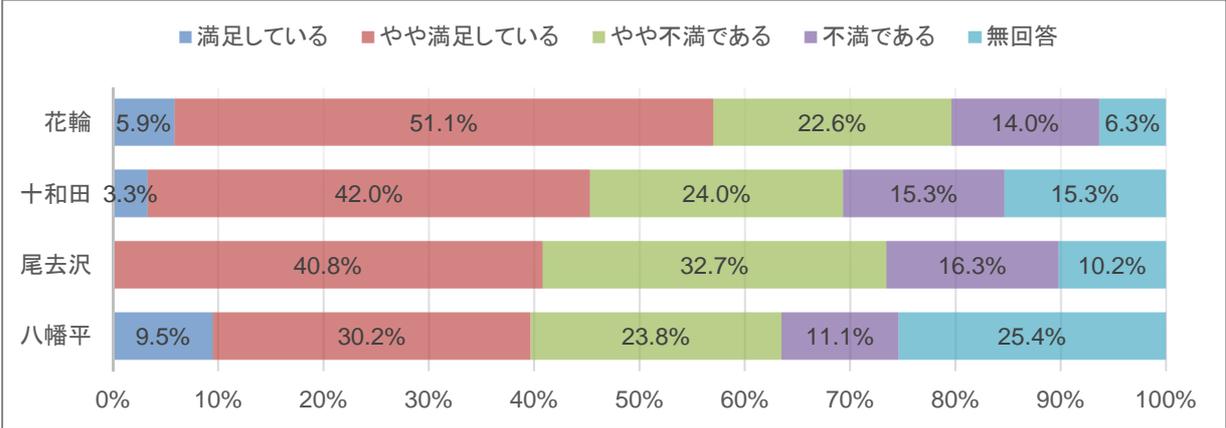
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

花輪市街地の環境について、「満足」「やや満足」と回答した割合は49.1%で前年（53.8%）を4.7ポイント下回りました。

年代別で「やや不満」「不満」と回答された方は、30代の47.4%が最も高く、50代の45.6%、40代の39.1%と続いており、いずれも前年の数値を上回りましたが、30歳未満では23.9%と前年より15.5ポイント改善しています。

地区別では、花輪地区が前年から3.3ポイント減少しており、商店街の店舗数の少なさや、公共施設の買い物が不便になったことが理由として多く挙げられました。

不満を感じる理由としては「買い物ができる場所や遊ぶ場所の少なさ」を掲げるものが多く、「駐車場が少ない」、「公共交通機関が不便」といった交通手段に関わるものも例年同様に多くなっています。

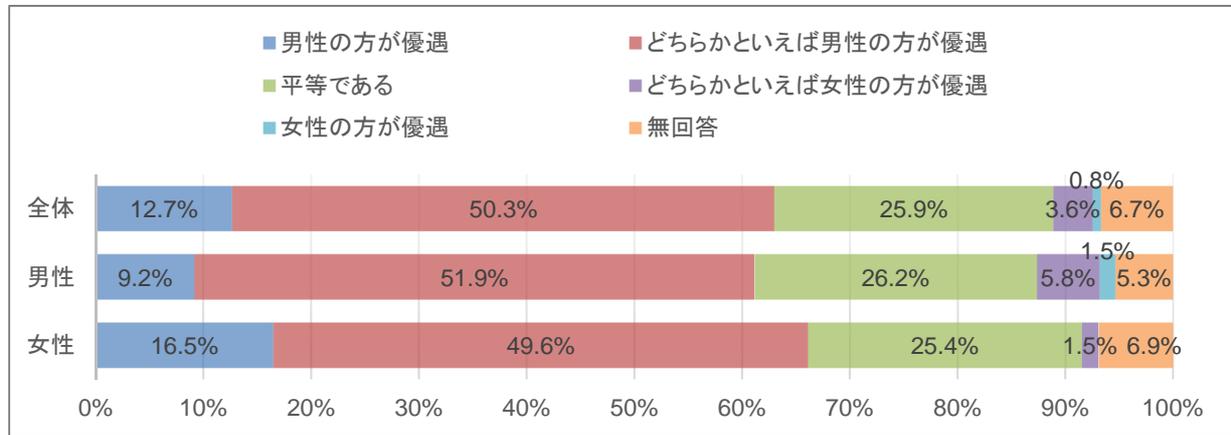
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H24～H26 平均)	実績値 (H29)	目標値 (H32)
中心市街地の環境に満足している 市民の割合	53.5%	49.1%	59.5%

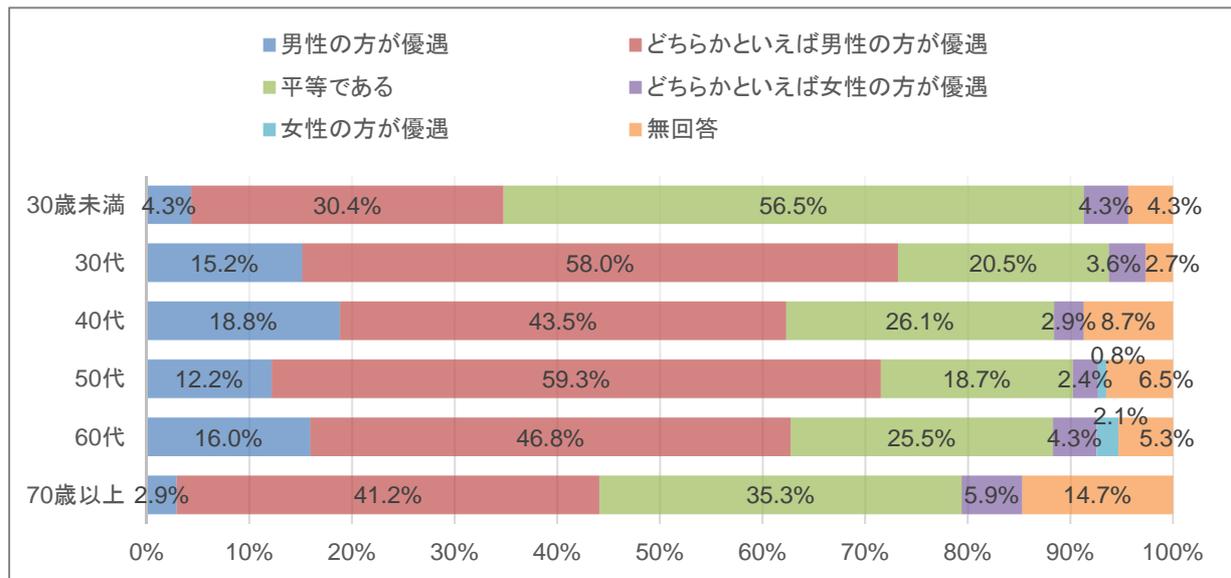
6 男女共同参画の状況について

設問7 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

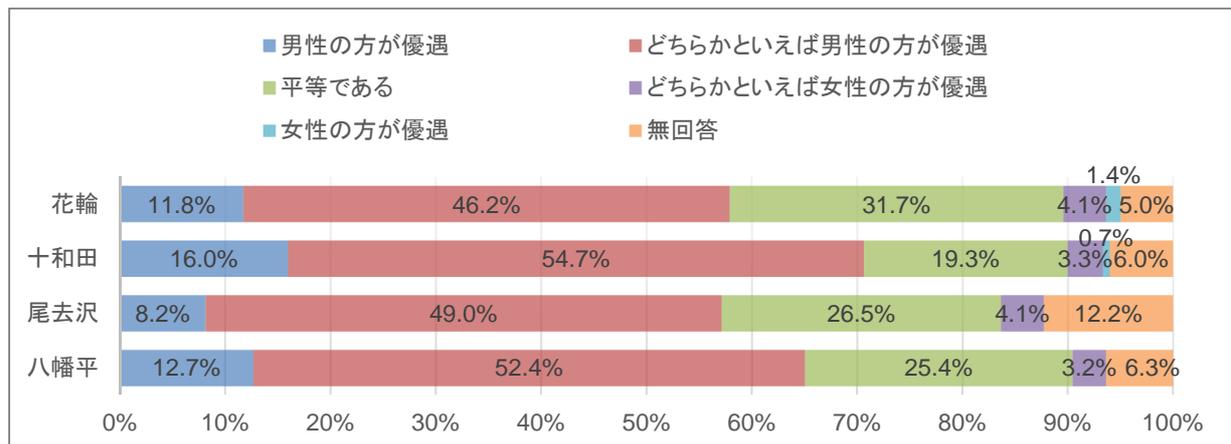
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

男女の地位が「平等である」と回答した方の割合は 25.9%であり、前年度（24.7%）より 1.2 ポイント増加していますが、「男性の方が優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を選択した割合は、昨年度より 4 ポイント増加の 63%となり、男女別にみても男性は 61.1%、女性は 66.1%と高く、依然として高い状況と考えられます。

その一方で、「平等である」と答えた男女間の意識差をみると、男性は 26.3%、女性は 25.1%と、前年の 6.1 ポイントの差に対し、1.2 ポイントの差まで縮小しているほか、30 歳未満では 56.5%が平等と感じていることから、今後も男女共同参画を考えるきっかけづくりや、性別に関わりなく、個性や能力を十分発揮できるよう、様々な機会を通じて啓発活動に取り組んでいきます。

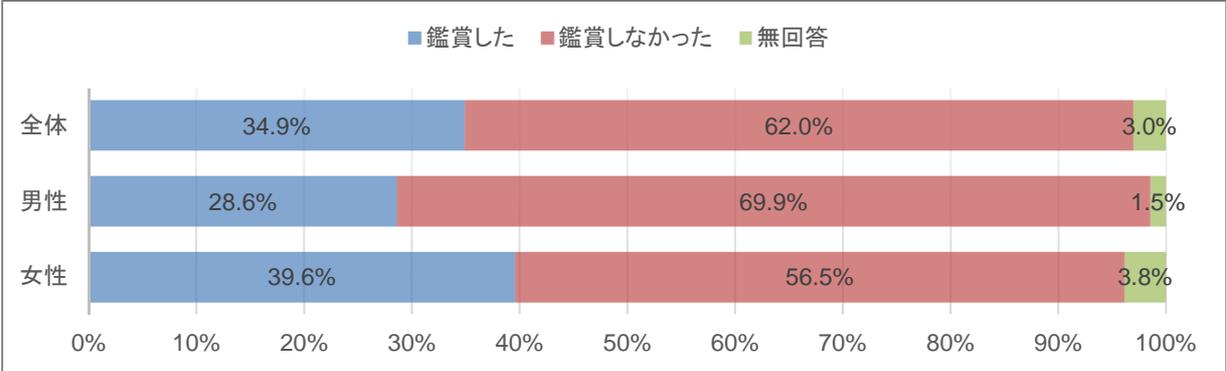
〔参考〕 第 3 次男女共同参画計画 男女共同参画指標と実績値

男女共同参画指標	基準値 (H27)	実績値 (H29)	目標値 (H32)
男女の地位が平等になったと感じている人の割合	19.0%	25.9%	25.0%

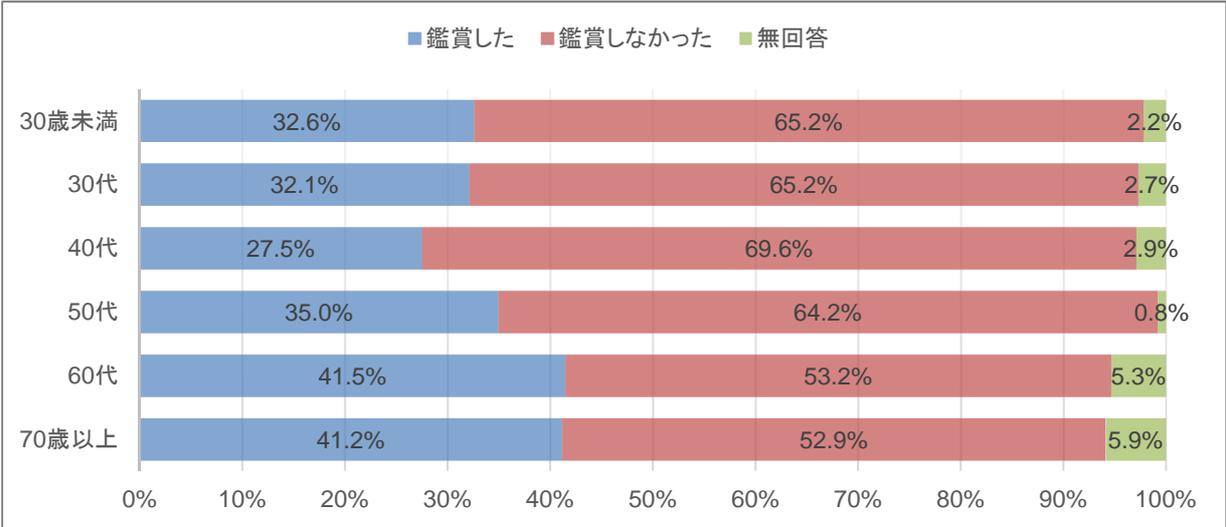
7 コモッセの利用状況について

設問 8① あなたは、昨年1年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

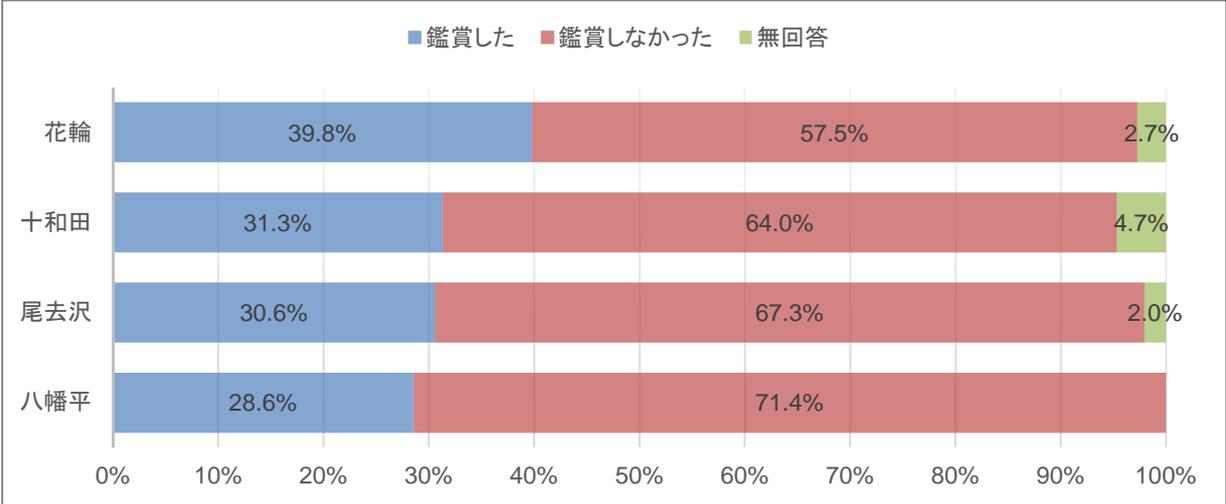
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

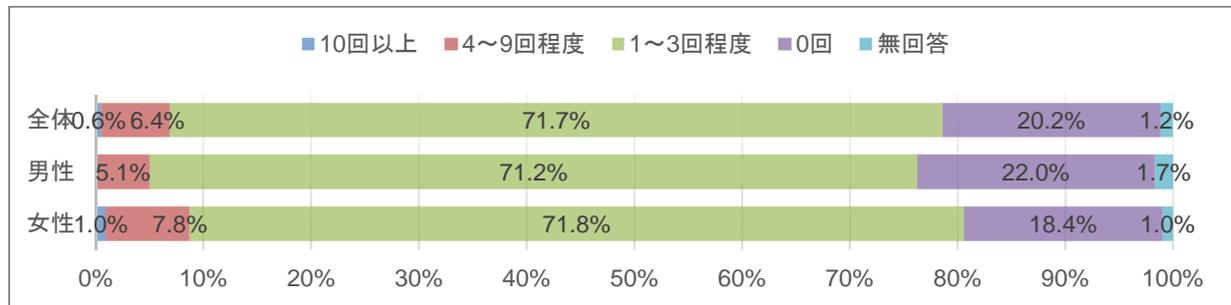
芸術鑑賞をした人は全体で 34.9%となっています。男女別では女性の方が鑑賞している割合が高くなっていますが、昨年と比較すると、女性はほぼ同じだったのに対し、男性が 3.6 ポイント増加しています。

年代別では、ほとんどの年代で 30%以上となっていますが、40 代では 27.5%と昨年より 10.2 ポイント減少しています。

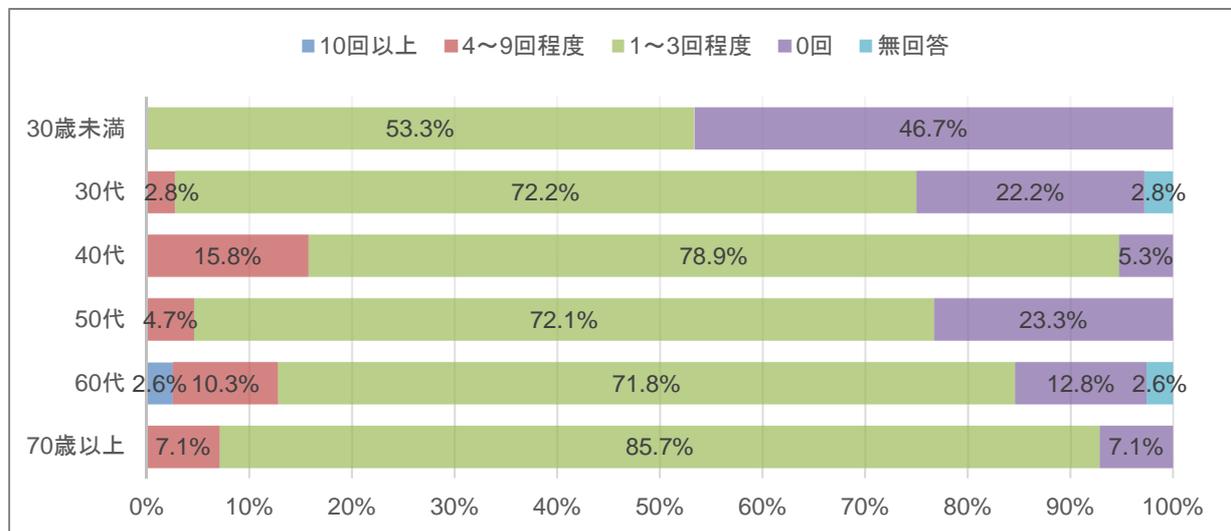
地域別では、花輪地区が 39.8%、十和田地区、尾去沢地区、八幡平地区が概ね 30%となっていますが、十和田地区では昨年度より 5 ポイント増加しています。

設問8② 設問8①で「1. 鑑賞した」を選んだ方におたずねします。そのうち、コモッセ文化ホールで開催されたコンサート等ほどの程度鑑賞しましたか。

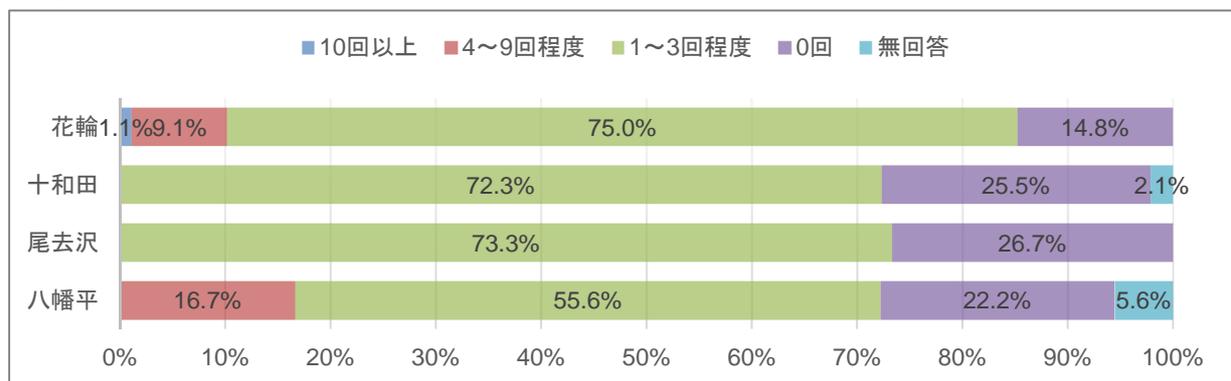
①全体／男女別



②年代別



③地区別

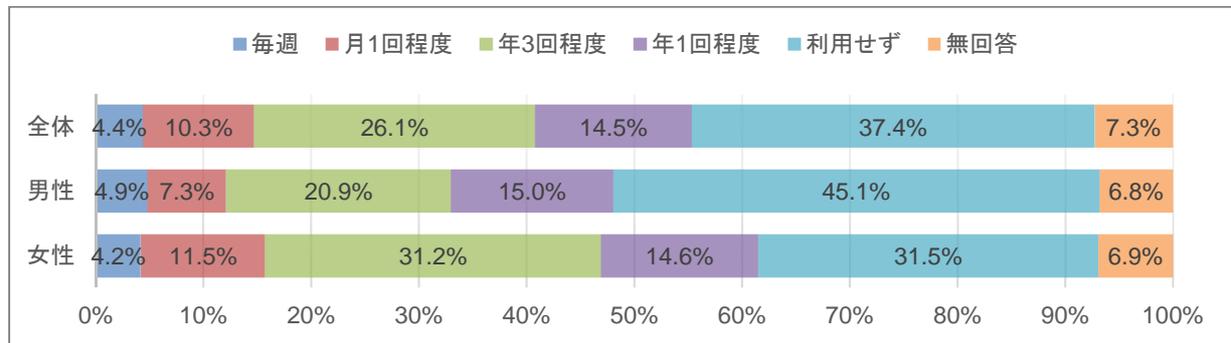


④分析結果

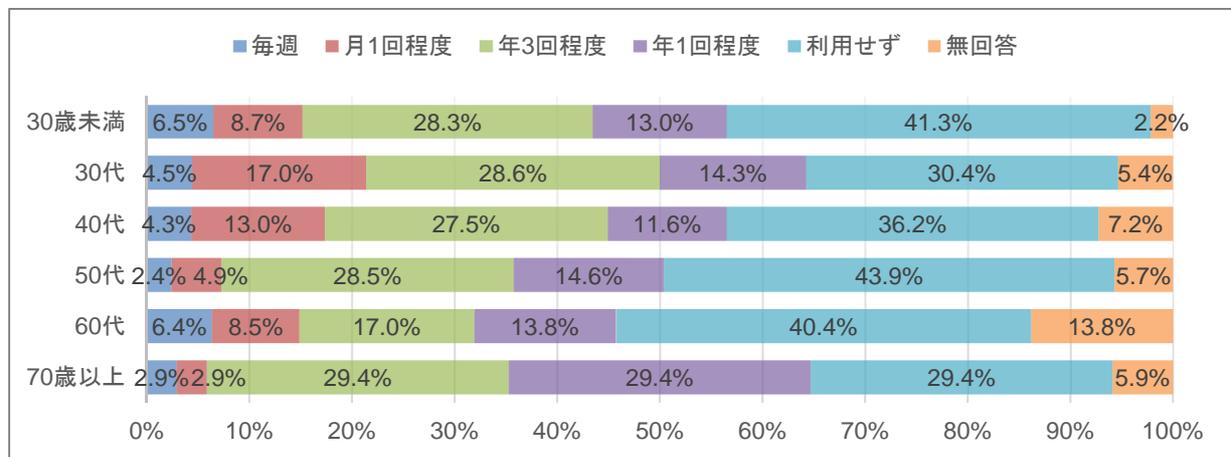
芸術鑑賞した人のうち、コモッセで鑑賞した人は78.7%と、昨年より6.0ポイント減少しています。また、鑑賞回数は3回までが7割を占めています。年代別では、40代で割合が高くなっています。コモッセで鑑賞しなかった理由として、「見たいものがなかった」が多く挙げられています。

設問8③ あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか。

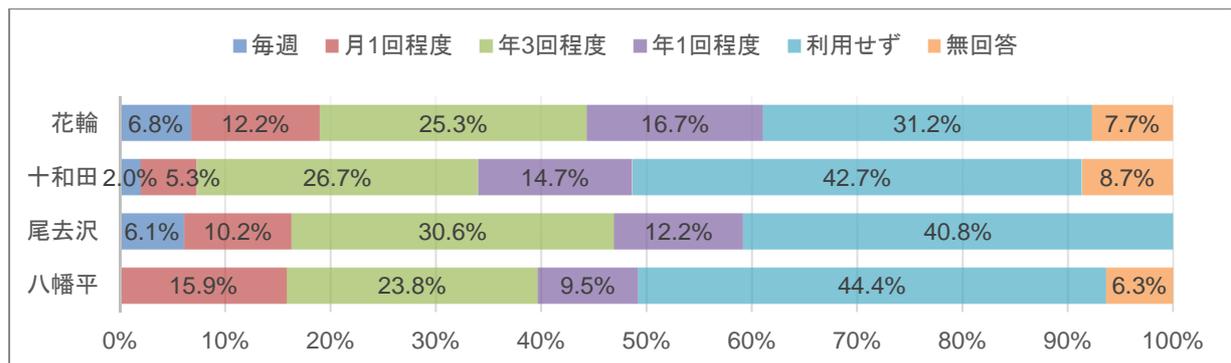
①全体／男女別



②年代別



③地区別



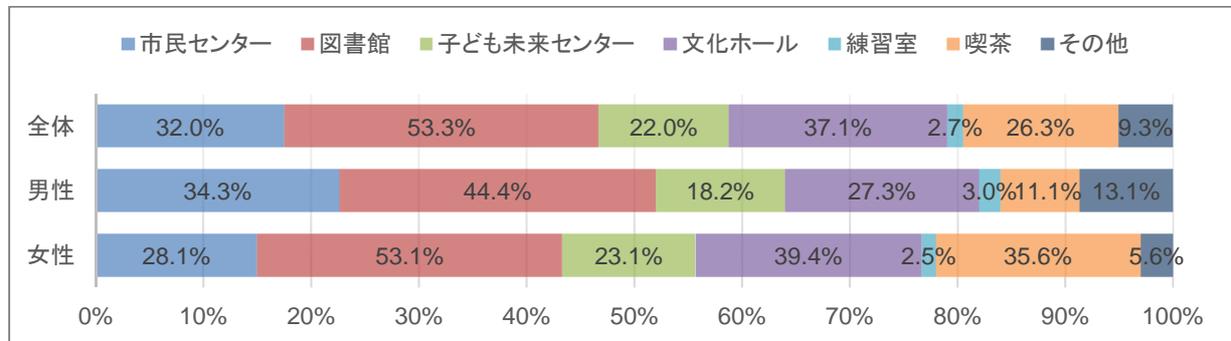
④分析結果

コモッセを利用した人は55.3%で、昨年とほぼ同じ結果となり、利用回数は年3回程度が最も多くなっています。

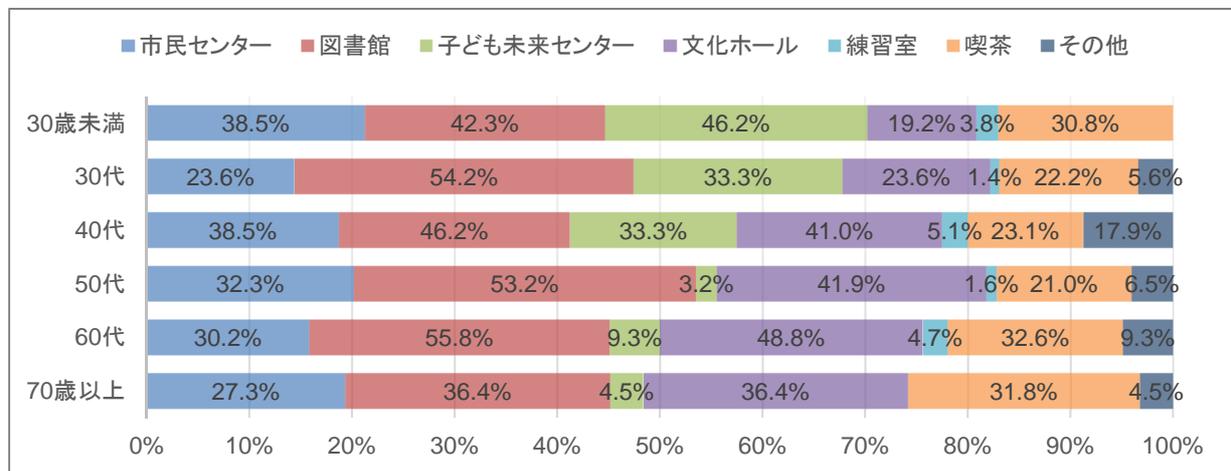
男女別では女性が利用する割合が高く、年代別では昨年少かった50代で利用割合が増加し、60代で7.7%ポイント減少し46.3%と最も低くなっています。地区別では花輪地区と尾去沢地区が概ね60%、十和田地区と八幡平地区が概ね48%となっています。コモッセを利用しない理由として、「行く機会がない」が多く挙げられています。

設問8④ 設問8③で1～4を選んだ方（年1回程度以上利用した方）におたずねします。
 主な利用施設はなんですか。

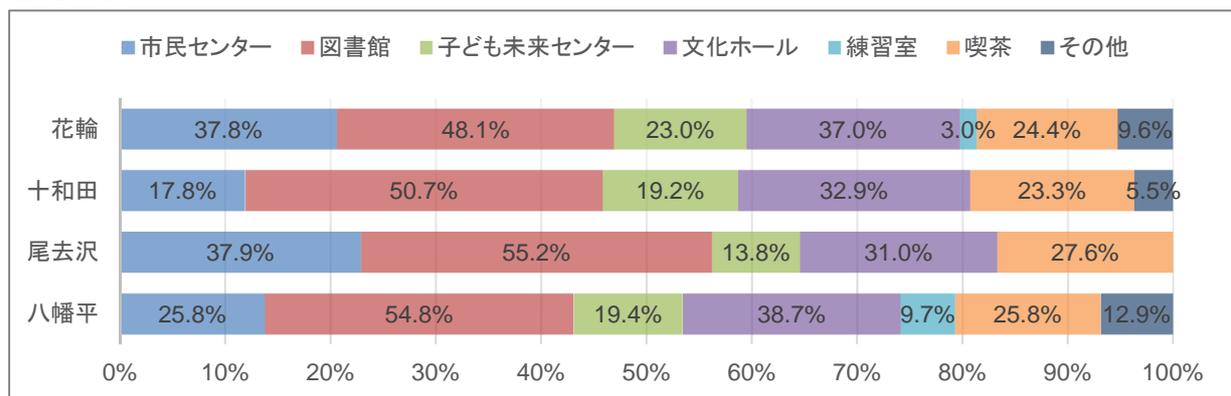
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

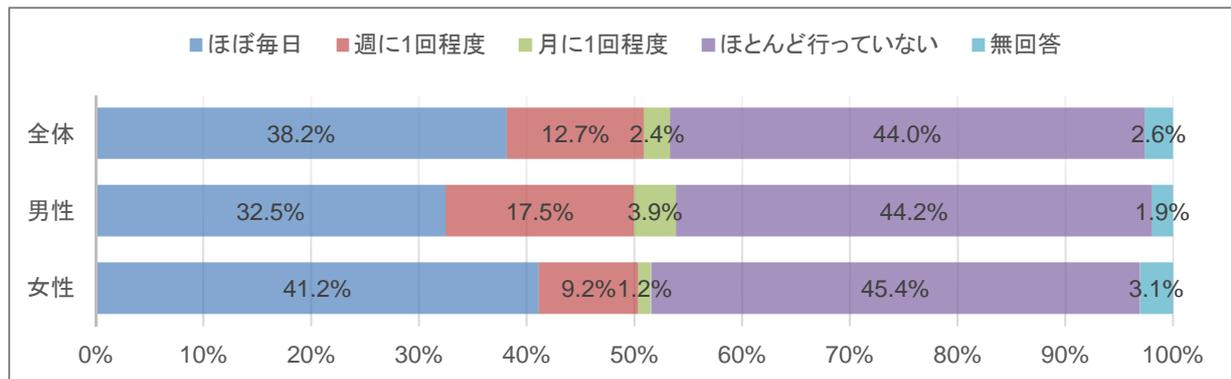
コモッセを利用する目的では、図書館、文化ホール、市民センターの順となっています。複数回答が多く、様々な目的で施設が利用されています。年代別では、30歳未満と30代は図書館、子ども未来センターの利用が多く、40代以上は市民センター、図書館の利用が多くなっています。地区別では、全ての地区で図書館の利用が最も多くなっています。

8 運動の実施状況について

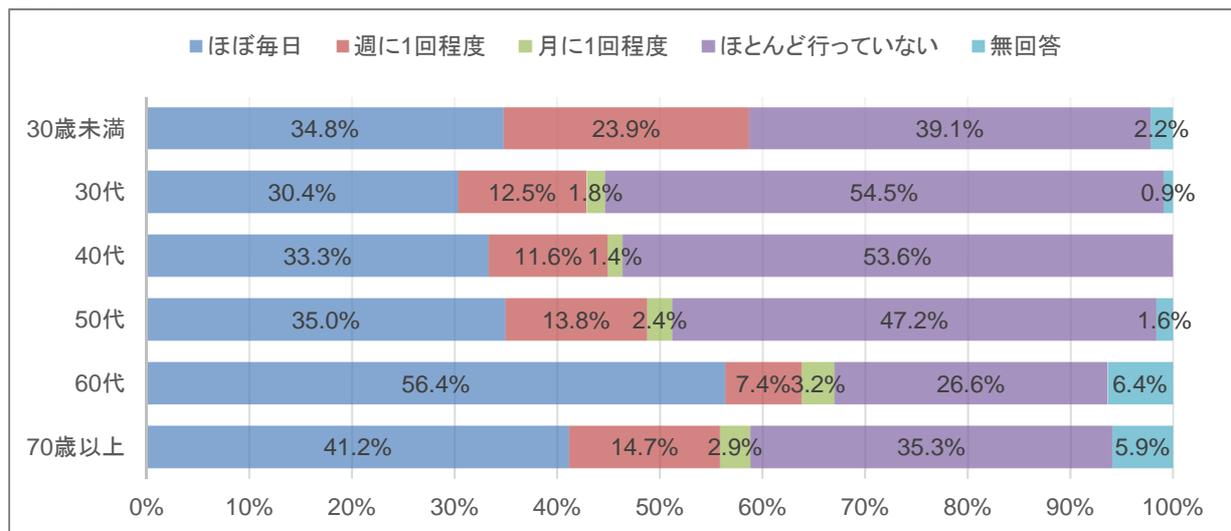
設問9 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。

また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

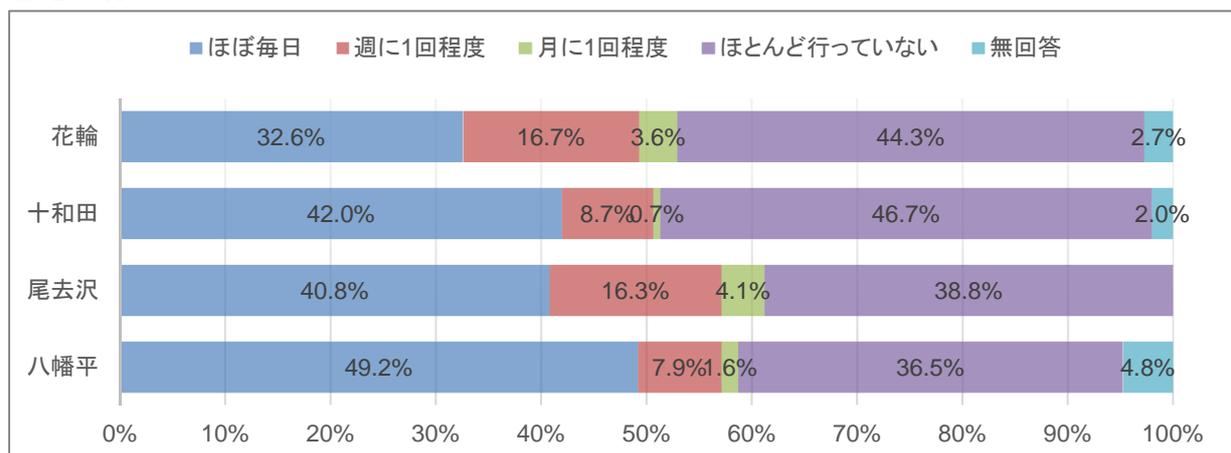
①全体／男女別



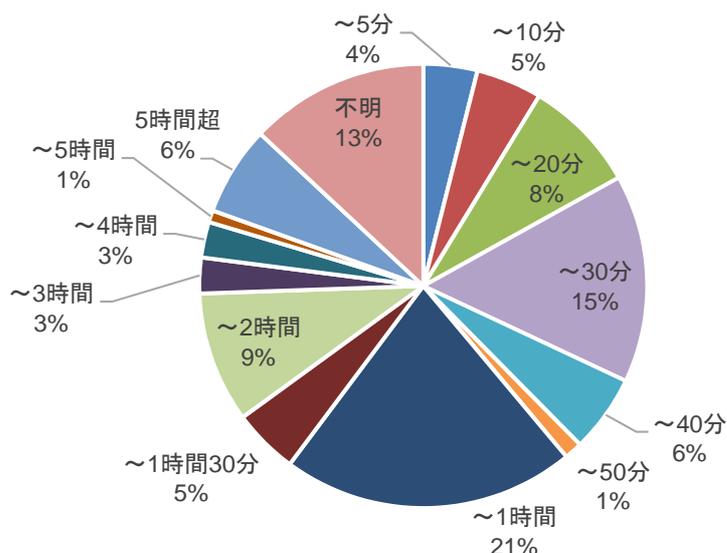
②年代別



③地区別



④ 1回あたりの運動時間



⑤ 分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は、平成25年度から50%を超えていますが、今年度は50.9%と前年から5.4ポイント減少しました。

内容としては、これまで同様ウォーキングが最も多くなっており、散歩やラジオ体操への取組も多くなっていますが、家事や農作業などの日常生活により運動をしているとした回答も多く、日常的な生活活動動作でも運動を意識して取り組むことで健康づくりにつながるという意識が醸成されてきているものと考えられます。

市では、チャレンジデーやタートルマラソン大会などの誰もが参加できるスポーツイベントの開催を通じて、運動やスポーツに取り組むきっかけとなる機会が継続的に提供されているものと考えていますが、特に働き盛りの40代から50代の運動実施率の向上を図るため、スポーツに取り組むきっかけづくりや意識の醸成が課題となっています。

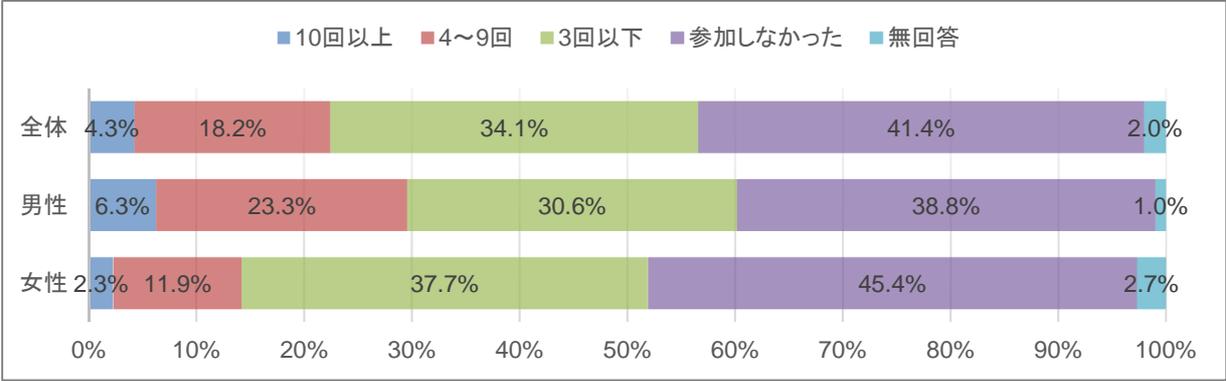
〔参考〕第2次スポーツ推進計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H27)	実績値 (H29)	目標値 (H32)
週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合	58.1%	50.9%	65.0%

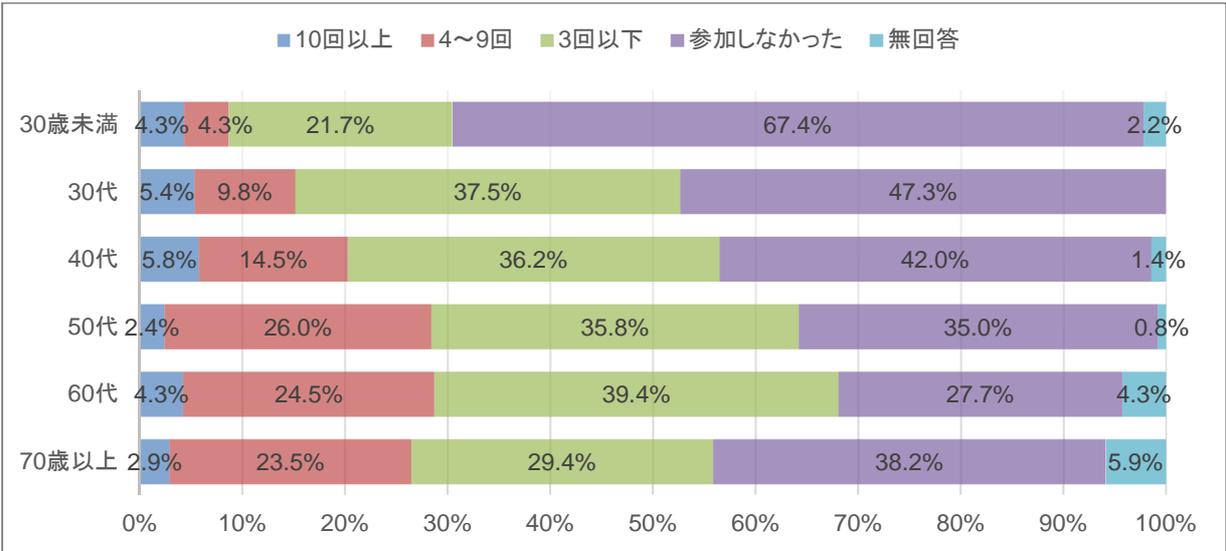
9 地域コミュニティについて

設問 10 あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動（クリーンアップ・運動会・スキー大会等含む）など）にどの程度参加しましたか。

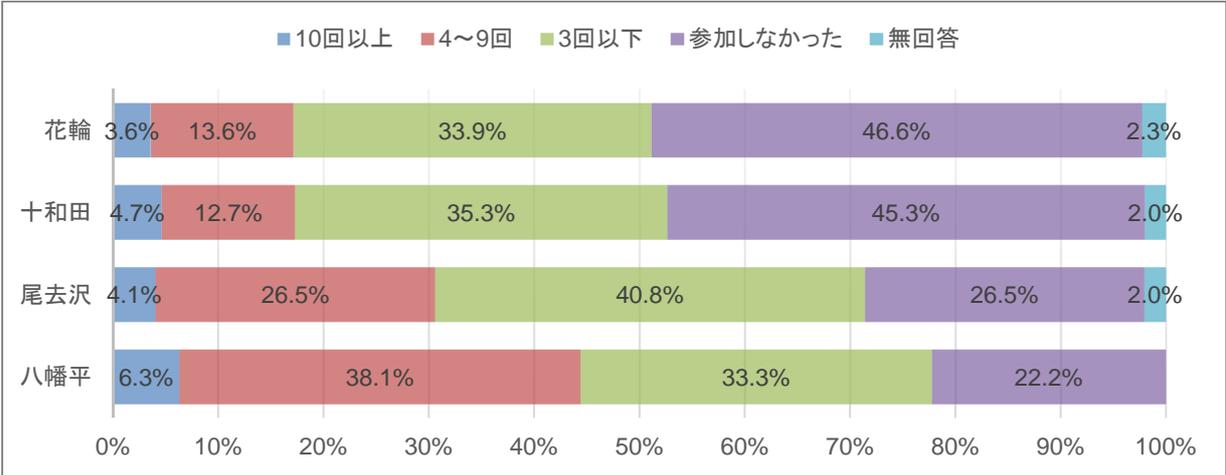
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

市民が昨年1年間に社会活動や地域活動へ参加した割合は56.6%となり、前年の61.9%から5.3ポイント下回っています。

男女別で見ると、参加割合が男性では60.2%、女性は51.9%と男性が8.3ポイント上回っています。

年代別で見ると、40代以外のすべての世代で前年より減少しており、全体の参加割合の減少に大きく影響しています。

地区別にみると、八幡平と尾去沢地区では前年より増加したものの、ほか2地区では減少しており、特に十和田地区では12.7ポイントと減少の幅が大きくなっています。

地域活動に参加できない理由は、仕事の都合や育児のほか、活動の情報を知らなかったという意見もあり、若年層の関心が薄い状況でした。今後は地域コミュニティのさらなる活性化を目指し、多くの世代の参加につながるよう支援します。

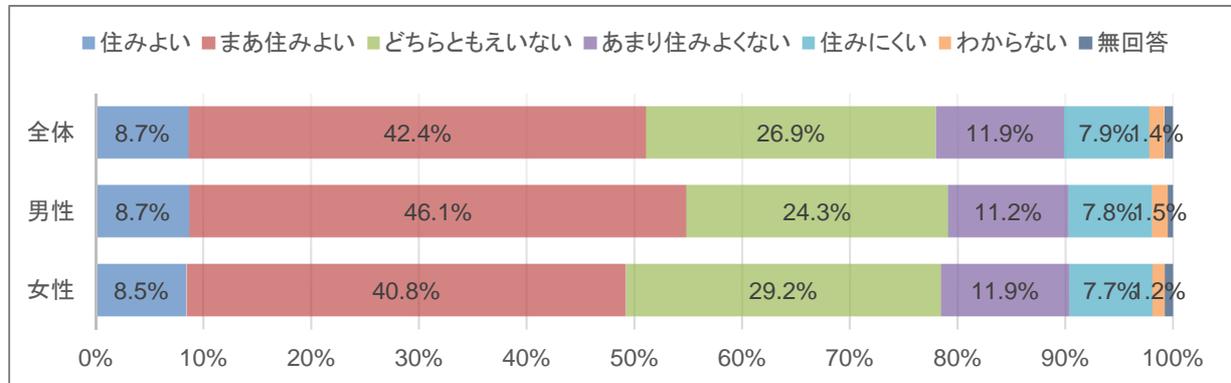
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H32)
社会活動や地域活動（ボランティア活動・自治会活動など）に参加した市民の割合	70.5%	56.6%	75.0%

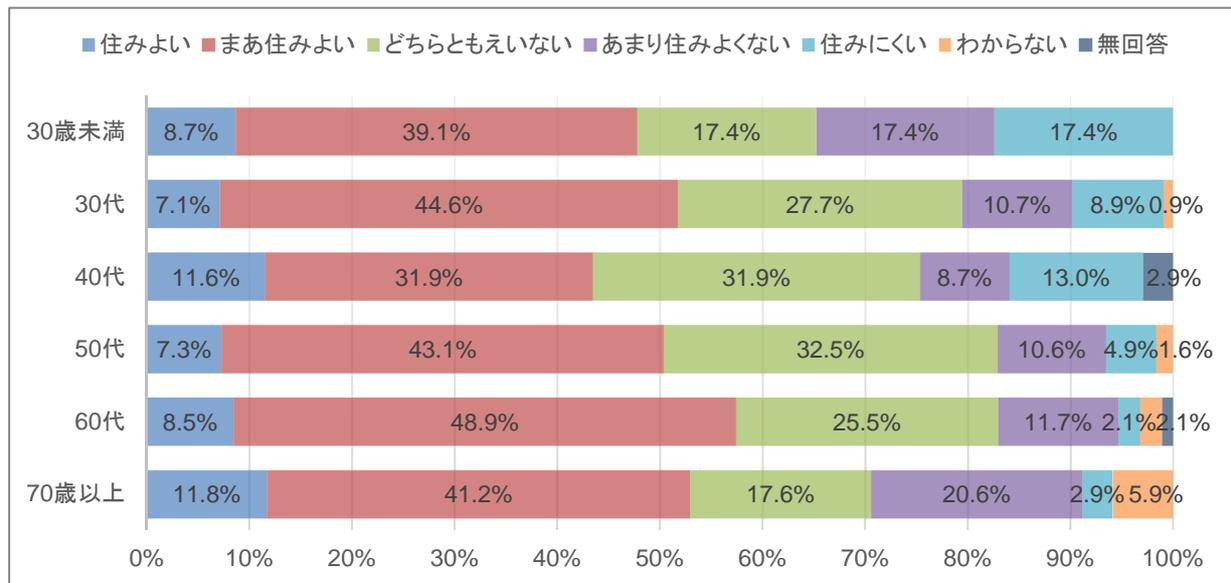
10 住みごころについて

設問 11 あなたにとって、鹿角市の住みごころはどうですか。

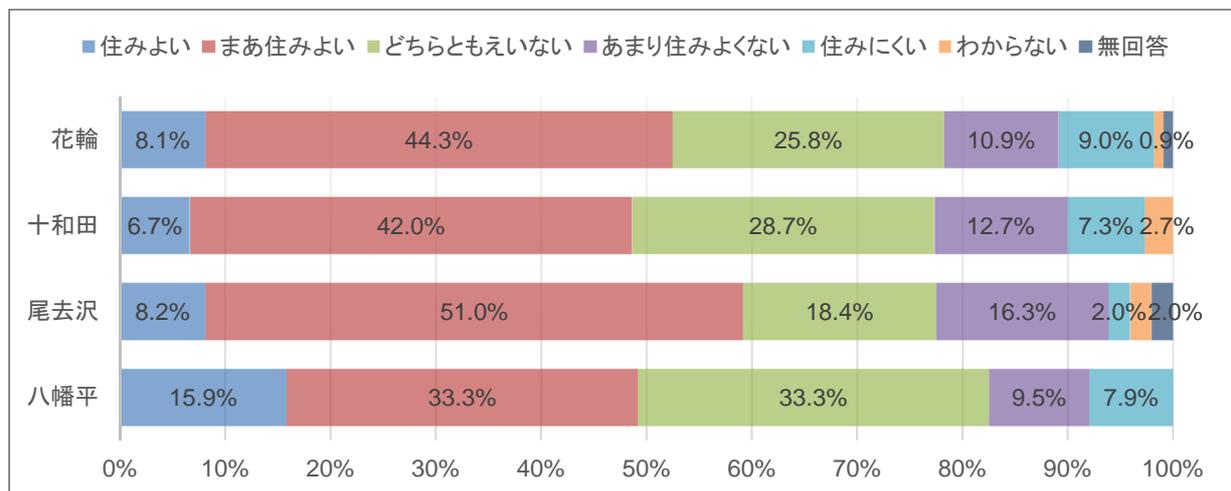
①全体／男女別



②年代別



③地区別



④分析結果

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は51.1%であり、「あまり住みよくない」「住みにくい」の19.8%を大きく上回っているものの、前年（52.5%）から1.4ポイント減少し、基準値を下回る結果となりました。

年代別では、60代が57.4%と最も高く、70代が53.0%で2番目に高い結果となりました。その他の世代では、30歳未満、30代、50代はいずれも50%前後でそれほど大きな差はないものの、昨年、42.9%と最も低かった30代が51.7%まで上昇しており、若者の住みごちが改善傾向にあることがうかがえます。一方で、60代を除き、「あまり住みよくない」と回答した年代が昨年度より増加しており、プラスの評価との二極化があるものと考えられます。

地区別では、尾去沢地区の59.2%が「住みよい」「まあ住みよい」と回答しましたが、花輪地区では52.4%、十和田、八幡平地区では50%に届かない結果となり、地域間での差が見られました。花輪地区ではコモッセやまちなかオフィスなど公共施設の整備が進み、前年よりも2.7ポイントのプラスとなった一方、十和田地区が7.5ポイント減少していることから、地域間での増減理由について、今後さらに分析を行っていきます。

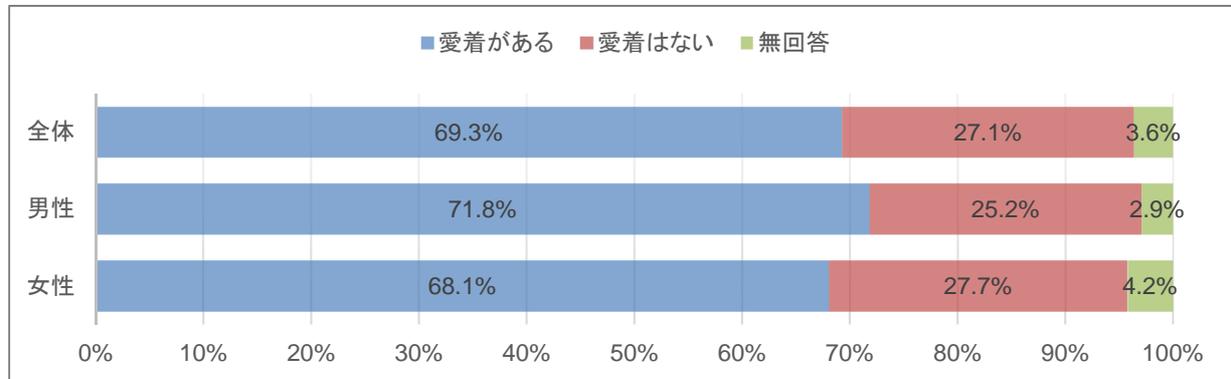
〔参考〕 まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標と実績値

数値目標	基準値 (H26)	実績値 (H29)	目標値 (H31)
住みごちの満足度	54.7%	51.1%	60.0%

11 愛着について

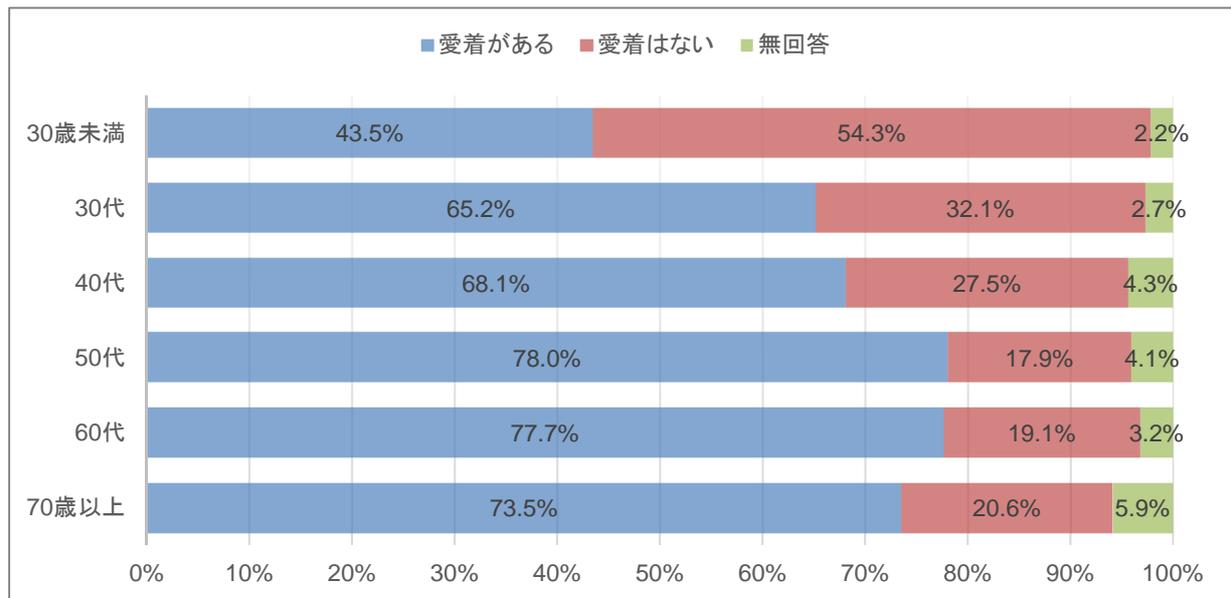
設問 12 あなたは、鹿角市に愛着を持っていますか。

①全体／男女別



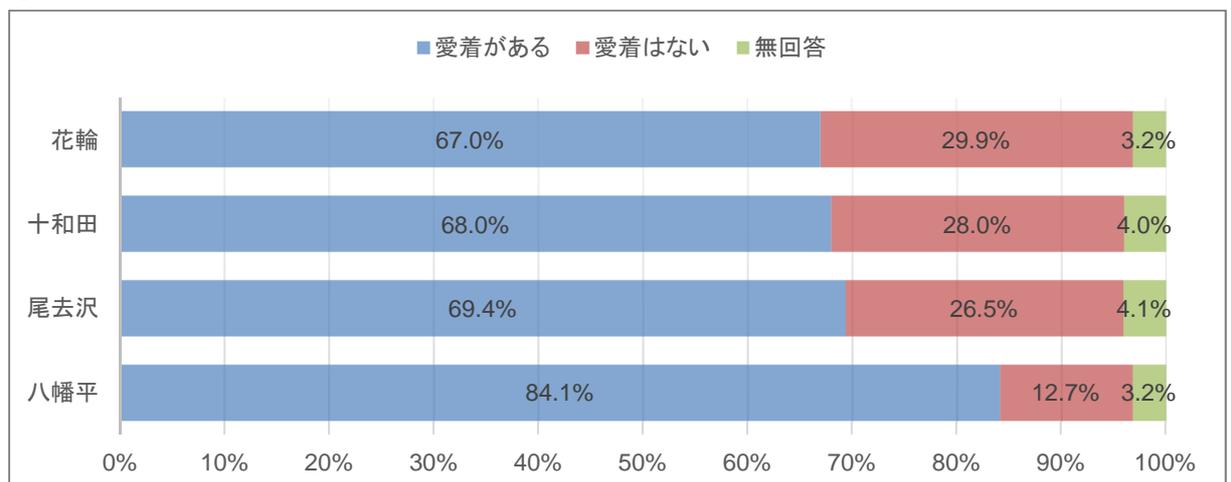
②年代別

〔単位：％〕



③地区別

〔単位：％〕



④分析結果

鹿角市に愛着がある方の割合は 69.3%で、前年（73.6%）を 4.3 ポイント下回りました。

年代別で見ると、昨年までの 70 代や 60 代にかわって、50 代が 78.0%で最も高い結果となりました。昨年、最も高かった 70 代の愛着を持つ割合が減少しておりますが、一方で 30 代が昨年の 60.7%に対して 4.5 ポイント上昇しており、年代が低くなるにつれて愛着が薄くなるという傾向が緩やかになってきています。しかし、30 歳未満では、昨年の 75.8%に対し、43.5%と大きく減少しており、理由について更に分析を進めていく必要があります。

地区別で見ると、八幡平地区が 10.0 ポイント増加し、最も高くなっていますが、それ以外の地区ではいずれも昨年度を下回る結果となっており、地域間での増減理由についても詳細な分析を行っていく必要があると考えます。

〔参考〕 まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（KPI）と実績値

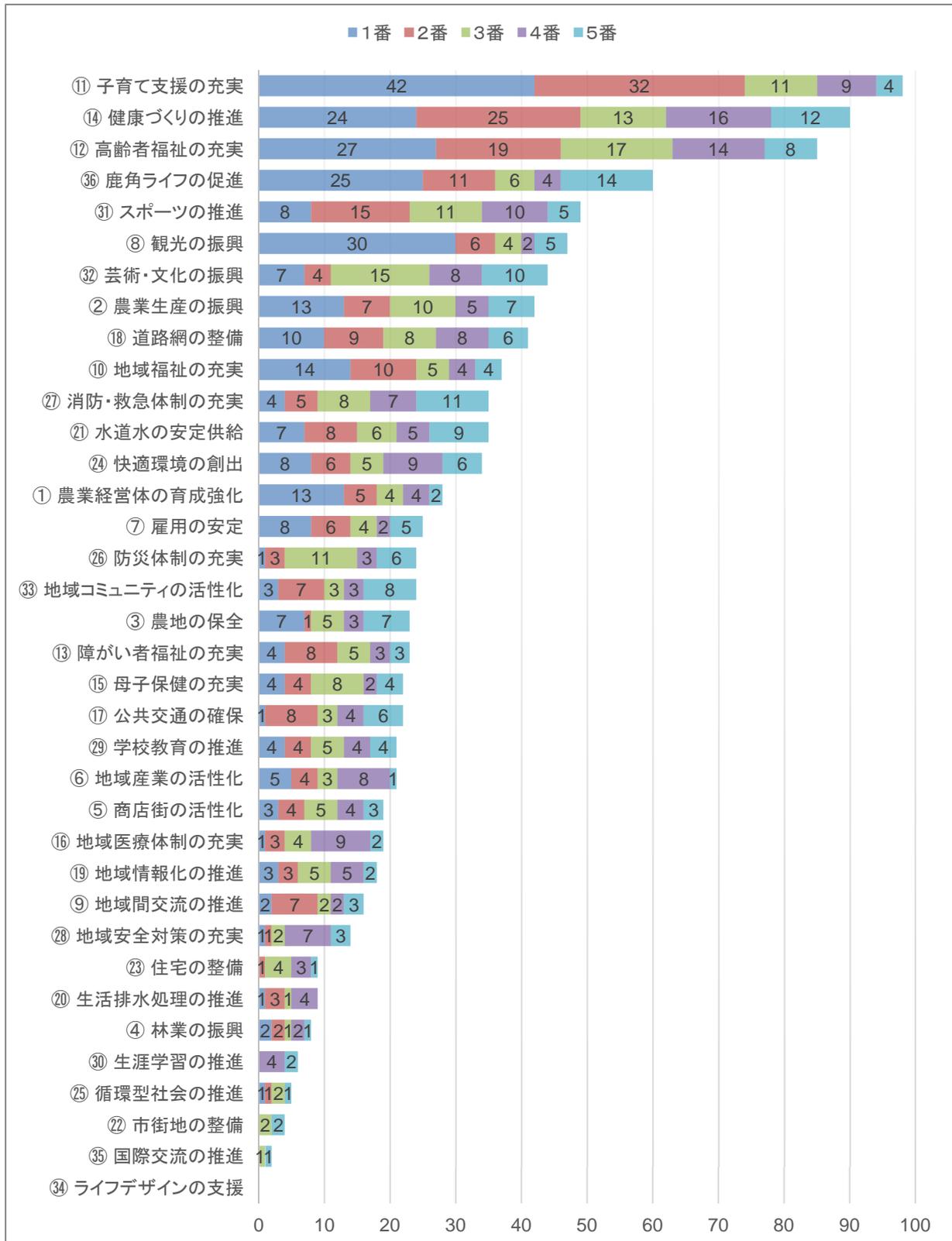
重要業績評価指標（KPI）	基準値	実績値（H29）	目標値（H31）
鹿角に愛着を持つ人の割合	—	69.3%	68.0%

13 市の政策について

設問 13① 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の 36 項目から順に 5 つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	前年順位	施策No.・施策名	1番	2番	3番	4番	5番	計
1	(1)	⑪ 子育て支援の充実	42	32	11	9	4	98
2	(3)	⑭ 健康づくりの推進	24	25	13	16	12	90
3	(2)	⑫ 高齢者福祉の充実	27	19	17	14	8	85
4	(7)	⑳ 鹿角ライフの促進	25	11	6	4	14	60
5	(5)	⑳ スポーツの推進	8	15	11	10	5	49
6	(4)	⑧ 観光の振興	30	6	4	2	5	47
7	(8)	⑳ 芸術・文化の振興	7	4	15	8	10	44
8	(16)	② 農業生産の振興	13	7	10	5	7	42
9	(9)	⑱ 道路網の整備	10	9	8	8	6	41
10	(10)	⑩ 地域福祉の充実	14	10	5	4	4	37
11	(6)	㉑ 消防・救急体制の充実	4	5	8	7	11	35
11	(13)	㉒ 水道水の安定供給	7	8	6	5	9	35
13	(11)	㉔ 快適環境の創出	8	6	5	9	6	34
14	(17)	① 農業経営体の育成強化	13	5	4	4	2	28
15	(19)	⑦ 雇用の安定	8	6	4	2	5	25
16	(26)	㉖ 防災体制の充実	1	3	11	3	6	24
16	(25)	㉓ 地域コミュニティの活性化	3	7	3	3	8	24
18	(14)	③ 農地の保全	7	1	5	3	7	23
18	(12)	⑬ 障がい者福祉の充実	4	8	5	3	3	23
20	(23)	⑮ 母子保健の充実	4	4	8	2	4	22
20	(20)	⑰ 公共交通の確保	1	8	3	4	6	22
22	(21)	㉙ 学校教育の推進	4	4	5	4	4	21
22	(22)	⑥ 地域産業の活性化	5	4	3	8	1	21
24	(18)	⑤ 商店街の活性化	3	4	5	4	3	19
24	(15)	⑯ 地域医療体制の充実	1	3	4	9	2	19
26	(33)	⑲ 地域情報化の推進	3	3	5	5	2	18
27	(28)	⑨ 地域間交流の推進	2	7	2	2	3	16
28	(34)	㉘ 地域安全対策の充実	1	1	2	7	3	14
29	(35)	㉚ 住宅の整備	0	1	4	3	1	9
29	(24)	⑳ 生活排水処理の推進	1	3	1	4	0	9
31	(30)	④ 林業の振興	2	2	1	2	1	8
32	(27)	⑳ 生涯学習の推進	0	0	0	4	2	6
33	(32)	㉕ 循環型社会の推進	1	1	2	0	1	5
34	(29)	㉒ 市街地の整備	0	0	2	0	2	4
35	(31)	㉗ 国際交流の推進	0	0	1	0	1	2
36	(36)	㉔ ライフデザインの支援	0	0	0	0	0	0

②分析結果

効果が得られていると感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは「子育て支援の充実」で98人(去年は83人)が選択しています。継続して行っている各種の支援策のほか、コモッセでの託児サービスの充実、高校生までのマル福の拡充、第3子以降の手厚い支援などが評価されています。

2番目に多く選択されたのは「健康づくりの推進」で90人(去年は62人)が選択しています。定期的な健診の実施やがん検診費用の無料化などが評価されました。

3番目に多く選択されたのは「高齢者福祉の充実」で、85人が選択しています。介護予防施設の整備が充実していることや、一人ひとりのニーズに合った丁寧な対応がなされていることなどが評価されています。

4番目は「鹿角ライフの促進(移住定住)」で、60人が選択しています。去年は7番目でしたが、移住促進の取組が報道等で大きく取り上げられているとともに、県内トップクラスの移住実績を上げていることなど、市民にとっても目に見える形での成果が評価につながりました。

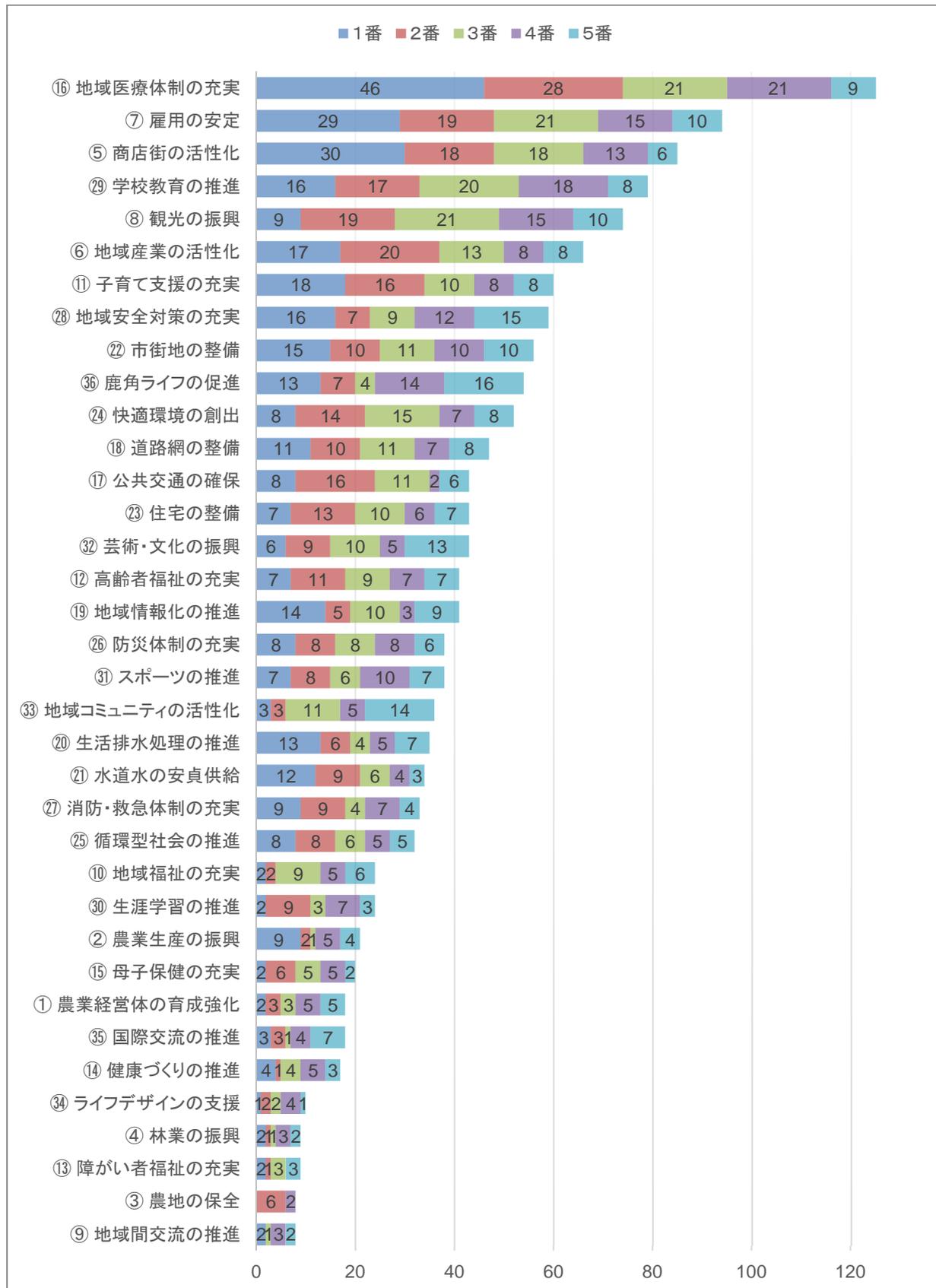
5番目は「スポーツの推進」が例年同様に一定の評価を受けています。「スキーと駅伝のまち」に関連する各種大会を定期的で開催していることや、市内のスポーツ施設が充実していることなどが評価されています。

それ以降の施策については、「芸術・文化の振興」が昨年度より1つ順位を上げた7番目となり、コモッセでの各種の公演や展示会などの充実により芸術鑑賞をする機会が増加していることが評価されました。また、「農業生産の振興」が去年の16番目から8番目に順位を上げており、北限の桃をはじめとする農産物のブランド化の推進が評価されています。

設問 13② 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを下表の 36 項目から順に 5 つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



順位	前年順位	施策No.・施策名	1番	2番	3番	4番	5番	計
1	(2)	⑩ 地域医療体制の充実	46	28	21	21	9	125
2	(1)	⑦ 雇用の安定	29	19	21	15	10	94
3	(3)	⑤ 商店街の活性化	30	18	18	13	6	85
4	(4)	⑳ 学校教育の充実	16	17	20	18	8	79
5	(7)	⑧ 観光の振興	9	19	21	15	10	74
6	(8)	⑥ 地域産業の活性化	17	20	13	8	8	66
7	(5)	⑪ 子育て支援の充実	18	16	10	8	8	60
8	(10)	㉔ 地域安全対策の充実	16	7	9	12	15	59
9	(9)	㉒ 市街地の整備	15	10	11	10	10	56
10	(14)	㉞ 鹿角ライフの促進	13	7	4	14	16	54
11	(16)	㉔ 快適環境の創出	8	14	15	7	8	52
12	(12)	⑱ 道路網の整備	11	10	11	7	8	47
13	(11)	⑰ 公共交通の確保	8	16	11	2	6	43
13	(17)	㉓ 住宅の整備	7	13	10	6	7	43
13	(22)	㉚ 芸術・文化の振興	6	9	10	5	13	43
16	(6)	⑫ 高齢者福祉の充実	7	11	9	7	7	41
16	(23)	⑲ 地域情報化の推進	14	5	10	3	9	41
18	(24)	㉖ 防災体制の充実	8	8	8	8	6	38
18	(13)	㉑ スポーツの推進	7	8	6	10	7	38
20	(19)	㉛ 地域コミュニティの活性化	3	3	11	5	14	36
21	(15)	㉗ 生活排水処理の推進	13	6	4	5	7	35
22	(18)	㉕ 水道水の安定供給	12	9	6	4	3	34
23	(20)	㉗ 消防・救急体制の充実	9	9	4	7	4	33
24	(25)	㉙ 循環型社会の推進	8	8	6	5	5	32
25	(28)	⑩ 地域福祉の充実	2	2	9	5	6	24
25	(21)	⑳ 生涯学習の推進	2	9	3	7	3	24
27	(29)	② 農業生産の振興	9	2	1	5	4	21
28	(30)	⑮ 母子保健の充実	2	6	5	5	2	20
29	(27)	① 農業経営体の育成強化	2	3	3	5	5	18
29	(35)	㉝ 国際交流の推進	3	3	1	4	7	18
31	(31)	⑭ 健康づくりの推進	4	1	4	5	3	17
32	(32)	㉜ ライフデザインの支援	1	2	2	4	1	10
33	(34)	④ 林業の振興	2	1	1	3	2	9
33	(26)	⑬ 障がい者福祉の充実	2	1	3	0	3	9
35	(33)	③ 農地の保全	0	6	0	2	0	8
35	(36)	⑨ 地域間交流の推進	2	0	1	3	2	8

②分析結果

もっと力を入れて欲しいと感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは「地域医療の充実」で125人（去年は94人）が選択しています。前年同様、医師不足という理由が最も多く、産婦人科の集約化を不安に思う意見が多数ありました。また、個人開業医と診療科の減少に伴い、近隣市町村の病院まで行かなければならないなどの意見もありました。

2番目に多く選択されたのは「雇用の安定」で94人（去年は94人）が選択しています。若い人が鹿角で暮らすことができるよう働く場の確保と職場環境や雇用体制の改善、賃金所得の向上を求める意見が多くありました。これらの意見は「地域産業の活性化」にも関連するものと考えられることから、人口減少対策としての産業振興により一層力を入れていく必要があります。

3番目に多く選択されたのは「商店街の活性化」で、85人（去年72人）が選択しています。空き店舗が増加していること、若者向けの店舗が少ないこと、人通りが少なく活気が感じられないことなどが主な理由として挙げられました。

4番目の「学校教育の充実」は79人（去年57人）が選択しており、学力の向上対策や不登校やいじめ防止対策に係る心の教育、インターネット等を活用した情報教育の推進などを望む意見があったほか、学校の統廃合に関する説明会の開催を望む声もありました。

5番目の「観光の振興」は74人（去年は55人）が選択しており、効果が得られている施策として評価されている一方で、更に力を入れていくべき施策として市民の期待があるものと考えられます。十分な観光資源がそろっていながら十分に生かし切れていないことを指摘する意見が多かったことから、情報発信力の向上と滞在型観光メニューの充実を戦略的に進め、鹿角観光の確立を図っていく必要があります。

そのほか、「地域産業の活性化」や「子育て支援の充実」、「地域安全対策の充実」なども毎年上位に位置づけられており、改善に向けて分析と議論を深めながら、引き続き重点的に取り組んでいく必要があります。

14 自由意見

設問14で記述のあった自由意見は、118名の方から176件の意見や感想をいただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員に関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

1-1-1 農業経営体の育成強化

地区	性別	年代	内容
無回答	無回答	30代	<p>農業に関わる者としての意見です。担い手や中高生、若手農業者（20～40代）との交流を増やした方がいいと思います。ベテランから教わるのは、私たちのような担い手でいいと思いますが、20～40代が楽しく農業をやっている姿を学生に見せることで間口が広がる気がします。一度市外に行く選択もあると思いますが、これから農業をやりたい若者は増えると個人的に思っています。自分が作ったものを食べて、体に入れていただけるのは素敵な仕事です。</p> <p>その時の選択肢として、若い方に土をいじる面白さを年齢が近い世代が伝えていく必要があると思います。また、農業に限らず、県外に出る、出ないの選択をしなければならない高校生を大切にしなければいけないと感じています。どこにでも行ける時代に、どこでどのように過ごしたいかをある程度経験してきた私たちの世代が相談にのったり、アドバイスできる身近な場があればいいと思います。</p>

1-1-2 農業生産の振興

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	鹿角りんごのブランド化を図ってほしい。現在「北限の桃」のブランド化を目指しているが、秋田紅あかりやシナノスイートを筆頭に、青森県や長野県に負けなくらいの品質をアピールし、他の果物より美味しいということを全国に宣伝してもらいたい。
花輪	無回答	無回答	農地等を活用し、特産品（ヒット商品）の開発を行ってほしい。

1-1-2 農業生産の振興（※鳥獣被害に関すること）

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	近年、クマ、タヌキなどに作物を食い荒らされる被害が多く、作物を作っている市民は収穫の心配と不安でいっぱいです。獣の捕獲等に力を入れてほしいです。
十和田	女性	30代	クマが今年も多く出ていると聞いていますが、その対策はどうなっているのでしょうか。見かけた情報が出る前に、もっと対策できるのではないのでしょうか。
十和田	男性	70歳以上	ストーンサークル周辺にクマが出るのが当たり前との声を多く聞きます。
尾去沢	無回答	無回答	学校近くにクマが出没し、登下校がとても心配です。駆除等、子どもたちが安全に過ごせるよう考えてほしいと思います。通学路にも出没しています。
八幡平	男性	60代	クマが多くて山にも行けない。
無回答	無回答	無回答	野生動物による農作物への被害や人間への被害等が増えてきていますので、早期の対策を要します。

1-2-1 商店街の活性化

地区	性別	年代	内容
花輪	無回答	30歳未満	市街地のシャッター通りも改善が必要ではないでしょうか。県内外の企業を受け入れる施設を呼ぶことがこれからの鹿角には必要だと思います。昔からある老舗と新しい施設・店の共存が求められています。内だけではなく、もっと外から受け入れて新しい風を取り入れてください。
十和田	男性	30代	花輪商店街、コモッセ周辺の駐車場の充実化を図ってほしい。
十和田	男性	60代	中心商店街がシャッターで閉じている所が多い。もっと人が集まるまちづくりが必要と思われる。高齢化しているので、若者が集まるまちづくり、楽しめる場所、集まりやすい所が必要ではないか。
尾去沢	女性	40代	花輪には立派なアーケード街があるので、月1回でいいのでアーケードを利用した今流行りのハンドメイド（手芸、工芸、食品等）のマーケットを開催してほしいと思う。とにかく人の集まる街になったらいいと思う。
八幡平	男性	60代	花輪商店街の道路沿いにつくくらい駐車スペースがあってもよいと思う。

1-2-2 地域産業の活性化

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	起業する人のバックアップ体制を充実してほしい。
花輪	男性	30代	中小企業の誘致、新規事業のサポート、農業の法人化などをもっと行ってほしいです。これが実現できれば過疎化の歯止めになるかもしれませんし、まちが活性化すると思います。このような鹿角市の将来を見据えた対策を今から行っていかなければ市の存続が難しくなっていくと思います。
尾去沢	男性	70歳以上	企業誘致促進で鹿角の活性化、雇用拡充に努めてほしい。
八幡平	女性	70歳以上	一番願うのは、若い人が鹿角に戻って来られる仕事場が増えることです。

1-2-3 雇用の安定

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	労働賃金が安すぎるので改善してほしい。
花輪	男性	40代	若者すべてが鹿角市を出ていなくてもいいような働き口の確保と地元企業や新規事業者などの育成・支援が必要です。共働き夫婦が子育てしやすい環境を準備してほしい。
花輪	女性	50代	移住者だけではなく、学校を終え、地元就職した人にもっと恩恵があってもよいと思います。
十和田	男性	60代	若年者の定住につながるよう、若年者の安定した働く場の確保をお願いしたい。
尾去沢	男性	60代	他県からの若者移住に対する施設は進んでいるが、退職後に里帰りする（Uターン）者に対する支援がない。移住の点から考えると、40年後に戻ってくるのも移住ではないのか。転出を抑える施設も大事だが、転入（Uターンも含む）しやすい環境や支援も大切な気がする。

1-3-1 観光の振興

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	昔ならではの農業について環境整備しながら、観光客にも鹿角の良さを知ってもらおう機会を作っていく。十和田インターチェンジ付近の観光地などの整備をしてはどうか。
花輪	男性	40代	観光による収益を最大限引き出すための方策を考えていただきたい。市民からの税収だけではこの先どうにもならない。大館市の秋田犬に負けないものがあるはず。私は岩手県からのUターンですが、「鹿角市」を男鹿・角館と勘違いしている人もいるし、秋田道では行き来できないと思っている人もいる。発信の仕方を見直し、改めて観光物産へのスポットをどのように当てるか考えていただきたい。市として単体で考えなければならない事項と周辺の市町村と共にセットで考えるべき点があるのではないかと。（例）観光地・スポット→宿泊・温泉宿→おみやげ
花輪	無回答	60代	いろいろ要望等がありますが、特に気になっているのは、観光の取組です。最近隣の大館市はとても観光に力を入れていて、結果も出ているのを見ると、鹿角市は何かしているのかなと感じます。道の駅の設置数ではなく中身ではないでしょうか。鹿角マルシェは現実と合っていないと思うので、現実的な取組をお願いしたいです。
十和田	男性	30歳未満	大湯道の駅は富裕層客目当ての商品が多い。
十和田	男性	30代	市ではないのだが、国道103号の十和田湖までの路面状況など、観光資源があるのに十分に生かそうとする気が感じられない。青森県側の国道104号は、交通量が少ないにもかかわらず整備が行き届いている。鹿角市としては、十和田湖、八幡平の観光資源を生かすことが必要と思われるため、公共サービスの充実には、県にも十分要望してもらいたい。
十和田	女性	40代	道の駅おおゆについて、子どもが遊べる遊具が一つもなく、子どもたちがどうやって遊んだらよいのか困りました。ぜひ遊具（滑り台、ブランコ等）を設置してもらいたいです。
十和田	女性	50代	観光地と言っているが、トイレが古い所がたくさんある。ガードレールが壊れている所がある。
十和田	女性	50代	道の駅おおゆは立派な建物ですごいと思うが、子どもが遊べるような遊具や地元の人が足を運ぶような何かがあればよいと思う。また、車で犬を連れてくる方も多く見えるので、ドッグランや犬の足を洗える所などもあればよい。
十和田	女性	50代	5月の連休に大湯の道の駅に行ってきました。隈研吾さんが設計したというので見に行きましたが、ちょっと残念に思いました。インパクトもないし、一度見ればいいかなという感じで、雪国には向かない建物だと思いました。名前だけで高額的设计料がかかったと思います。少し税金の無駄遣いになったのではと感じます。屋外ステージもあったので、もっと人を呼べるように宣伝してください。
十和田	女性	60代	鹿角花輪駅前の再整備事業に関連して、市民の目線から改善が必要と思われることを挙げたい。まず、観光客が花輪駅に降り立った時、地味で殺風景に多くの人が感じると思う。例えば、駅の待合室に観光案内所のカウンターを設置して、観光案内のほか、鹿角の物産をピックアップしてお土産用品を販売する。また、花輪ばやしを前面に出して、絢爛豪華な屋台をイメージさせるような装飾を駅・ホームに施す。「花輪ばやしのまち鹿角」の看板を強調させ、列車の車内からはっきり見える所に立てる。列車が発車する際に、常に花輪ばやしのメロディーをホームに流す。（弘前駅は発車時に津軽三味線のメロディーを流している）。たんぽ小町ちゃんのおブジェを設けて、観光客が記念撮影できるようにする。駅近くのコモッセで集客力の抜群な有名人のコンサート回数を多くして、市外県外から花輪線を利用した誘

			客、観光へとつなげていったらどうか。
十和田	無回答	50代	観光で人を呼ぶなら、せめて案内板がほしい。外来の人からよく言われますが、国道から毛馬内市街への入り口が分からなかったとよく言われます。地元の間は不要でも、人を呼び込むには外来者の視点も必要と思います。
八幡平	女性	70歳以上	観光面で、例えば鹿角のお土産を何にするかを考えたとき、これぞというのがないと思う。十和田湖は青森県、八幡平は岩手県という全国的なイメージがあり、鹿角はどちらも関係があるのに観光アピールがされていないと感じ、もったいない(きりたんぽも大館のイメージが全国的にある)。その点で小坂町は町としての取組がなされており、ワインや特産品が分かりやすい。また、花輪ばやし開催時に宿泊できるホテルや旅館が少なく、インターネットで調べてもらおうと主要な施設は満室。
八幡平	無回答	70歳以上	当市は山間部でありながら、高速道路などがよく整備されています。観光に関しては、山間部の市の中では本当に良き古風な観光地だと思います。

1-3-2 地域間交流の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	40代	仕事の関係で青森から鹿角に移り住み、とても住みよい地と感じています。こちらに来て、秋田県の人口減少、人口流出が深刻な問題であると初めて知りました。鹿角市も例外ではありません。子どもたち(小学生)に聞いても「鹿角は何もない」「将来は都会に行きたい」という声を聴きます。自分からすると鹿角市は自然豊かで食べ物もおいしく、また世界に誇れる伝統文化があり、とても素敵なことだと思います。子どもたちをはじめ、若者が地元の魅力を実感できることが大切だと思います。もっとほかの地域(他県も含む)との交流を盛んにし、外部からみた鹿角の素晴らしさを伝えてもらうとか、こちらからプログラムを組んでみるとか、他地域との関わりを増やしてみるのも良いのではないかと考えます。

2-1-1 地域福祉の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	40代	子育て、高齢者、障がい者等の支援は本当に困っているときだけ手を貸してほしい。やり過ぎの支援は逆に迷惑であり、社会からの排除につながる。

2-1-2 子育て支援の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	出産祝い金の制度があるのなら出産した人全員にあげてほしい。1人目だけ、2人目以降などの対象をなくしてほしい。
花輪	女性	30代	保育士、介護士の処遇改善をお願いします。医療機関には及ばないかもしれませんが、人の大切な命を預かっています。けがや事故のないよう神経と体力を擦り減らして頑張っています。仕事量に見合わない給料で鹿角でこの仕事をする人が減っています。資格を持っていても、やりたがらない人もいます。特に男性保育士が次々と辞めており、帰ってこない人もいます。どうかよろしくをお願いします。
十和田	男性	30歳未満	子どもに対する手当が少ない。
十和田	女性	30代	子どもの医療費は無料になりませんか。子育てしやすい市にすれば、戻ってくる人たちも増えると思います。居住と収入があれば住みよいまちだと思います。

2-1-3 高齢者福祉の充実

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	50代	市民には周知されていないタクシー券など、不公平感を感じる部分は改善してほしいです。

2-1-4 障がい者福祉の充実

地区	性別	年代	内容
八幡平	女性	30代	普段生活していて、こちらから行かない限り、障がい者の方とお会いする機会が少ないのが残念である。普通の小学校でも特別学級を作るなどすべきではないだろうか。私のいた学校では、5教科のときは自分のクラスで勉強していたが、技術、家庭、美術、音楽のときは、各クラスに2人程度来て一緒に活動した。彼らの作る作品は素晴らしかったし、普段は一緒になくても体育祭などは一緒に応援したり、走ったりしたり、仲間として活動した記憶がある。

2-2-1 健康づくりの推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	無回答	もっと禁煙、減塩、節酒に取り組むべき。女性の喫煙、飲酒が高いように見える。母親の習慣は子の習慣になる。

2-2-3 地域医療体制の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	鹿角でお産できない時点で鹿角の将来が不安。若者定住の施策がないといえる。
花輪	男性	30代	お産のできる環境を作してほしい。
花輪	男性	30代	里帰り出産を受け入れるようにしてほしい。
花輪	男性	30代	ネットで見れる当番医の更新を月始めに更新されないので、しっかり月始めから更新してほしい。
花輪	女性	30歳未満	鹿角で生まれ育ち、高校卒業後は東京などで生活していた。出産を機に鹿角に戻ってきたが、一度秋田から出たからこそ分かることがある。この鹿角に愛着があるからこそ、もっとよりよい地域にしていきたい。まず、地域医療体制が不十分である。いざというときに行ける小児科も耳鼻科もない。安心して受診できる病院がなく、鹿角には病院の選択肢がほぼない。これでは子どもは増えないと思う。 また、かづの厚生病院での分娩機能の休止は子どもを産むなということのように感じる。鹿角に住みたいと思える環境づくりをしていく必要があり、医療体制の充実はその一つでもある。
花輪	女性	30歳未満	産婦人科は分娩だけでなく、婦人科のことも考えてほしい。お産ができるだけに偏ってほしくないと思う。もし、これ以上医療体制が整わないのであれば、鹿角市に住む必要は全くないと思います。これからお産をする年代の私にとっては、産婦人科の問題はとても大きいです。安心して妊娠、出産、子育てができるようにしてほしいです。他の市町村では市の職員として助産師さんがいるようですが、鹿角市はどうですか。母子のことに詳しい専門家、助産師さんがいて、訪問とかしてくれると助かると思います。
花輪	女性	30代	鹿角市（かづの厚生病院）で子どもが産めないのは本当にあり得ないことです。不安で自分の子どもにも鹿角市に住みなさいとは言えません。医師不足なのは分かりますが、市民にきちんと説明はあったのでしょうか。鹿角市は産婦人科医を一人も確保することができないのですか。一日も早く鹿角市で子どもが出産できるよう

			になることを願っています。
花輪	女性	30代	産科医の確保について、色々な手段を使いながら、なるべく早い時期に目途を付けてほしい。陣痛の起きている中で、大館まで向かうのは不安が大きいと思う。鹿角・小坂が地元の方は、やはり地元でと考えていると思う。
花輪	女性	30代	かつの厚生病院は平日午前しか受診できない。土曜や夕方・午後にも受診できる医療機関がほしい。
花輪	女性	50代	産婦人科の件です。子どもが少なくなっている中で、安全安心に出産したいと思っているのに、大館まで通院しなければならないストレスは初産の人にとって、また家族にとって大変な負担だと思います。病院が整備した機械にもかなりの税金を投入していると思います。里帰り出産も少なくなるだろうし、産む方も嫁ぎ先のほうが安心だと思うと、子どもの住んでいるほうで面倒を見なければならず、金銭的にも精神的にも大変なストレスです。何とか産婦人科が維持されてほしいです。
花輪	女性	50代	かつの厚生病院の医師不足対応と看護師の育成に努めていただきたい。特に看護師は対応や言葉遣いなどが悪いです。投書しても何も改善されていないということはどういうことかと聞きたい。もし、自分の両親が通院や入院となったら、鹿角の病院に入院させたくない。
花輪	女性	60代	病院が少なく、遠くまで足を運ばなくてはならない。予算も限られているとは思いますが、少しでも改善できればと思う。
花輪	女性	60代	少子化問題の取組で市に産院がないことですね。あればいいのですが、里帰り出産もできないので残念です。
花輪	無回答	30歳未満	子育て世代にとって住みよい市でなければどんどん衰退してしまいます。お産ができないというのはとても深刻だと思います。
十和田	女性	30代	産科医がいなくなるだけでなく産婦人科もという噂を聞いた。このままでは子どもを産みたい人や育てたい人、住みたい人がいなくなる。小坂町は育てやすい町、住みやすい町だと思うが鹿角市はどうか。
十和田	女性	50代	やはり早急に産婦人科をなんとかしてほしいです。このままだと「子どもを産めない市」となり、嫁も来なくなります。若者も減っていきます。
十和田	無回答	60代	かつの厚生病院を中心とした地域医療体制の充実について、目に見えるように力を入れてほしい。
無回答	女性	30歳未満	鹿角で子どもを産めるようにしてほしい。

3-1-1 公共交通の確保

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30歳未満	鹿角市は公共交通機関をもっと充実させないと困っている人がたくさんいる。高齢者が多く、免許返納をした人もいる。地元の方は免許を持っているのが当たり前かもしれないが、その意識を変え、色々な角度から物事を見てもらいたい。地元だから戻ってきたが、縁もゆかりもない場所だったら鹿角市に住みたいとは思わない。もっとよくできること、改革できることがたくさんある場所だと思う。よくするも悪くするも市民の声を聴く市職員の方々にかかっていると思う。
花輪	女性	70歳以上	いとく側の小坂、あんたらあ前の盛岡行きのバス停に屋根がほしいです。
尾去沢	無回答	60代	列車、バスの乗客がほとんどいない。このままではJR、秋北バスに見捨てられるのではないかと。花輪ばやしの時だけでも臨時列車が増便になるようにしてほしい。
八幡平	男性	60代	バスががら空きである。もっと効率よく利用できないか。鹿角市を観光バスが通る回数が少なくなっていると思う。

3-1-2 道路網の整備

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	50代	市道について、アスファルトの穴や荒れが多く見られるようになった。冬の道路除雪に対して家の玄関口を考えて除雪してほしい。高齢者が多くなり、大変である。
花輪	女性	50代	冬の雪道が狭いので、除雪するとき、もう少し幅を広くしてほしい。
花輪	女性	50代	雪を排雪する場所がないため、国道282号を渡っていくのが大変危険です。あんたらあ側にはありますが、反対側には流雪溝がありません。
十和田	男性	30歳未満	大湯～田子間の道路の着工を早くしてほしい。
尾去沢	男性	60代	冬季の生活道路の確保をするためにも道路の除雪を日中も行ってもらいたい。早朝だけでは不十分な日もある。
無回答	女性	無回答	道路を直してほしい。道路の凸凹がストレスになる。倒木も多く危険なほか、視界が悪くクマへの注意も限界がある。

3-2-1 地域情報化の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30歳未満	市のホームページが見つらいので、変えていく必要があると思う。
花輪	男性	30代	TBS系の放送が見れるようにケーブルテレビ局を設置してほしい。
十和田	男性	30代	各種手続きがネット上でできるようになってほしい。
十和田	女性	30代	インターネットを田舎だからこそも活用して、世界から遅れをとらないようにしてほしい。都市部から遠くても、関係なく情報のやり取りができるのがネットの良いところでもあるので、若いうちからネットに対してよいことも悪いことも教育で教えることができるようになればよいと思う。インターネットの高速化は、もはやライフラインの一つなので、ぜひ力を入れてやってほしい。
十和田	女性	50代	一部地域に光通信が通らないのはなぜか。情報化社会の中、不便を感じています。市民の一人として平等なサービスを受ける権利があるのではないかと。

3-2-3 水道水の安定供給

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳未満	上下水道の基本料金が同じ市内なのに異なるのはなぜか。
十和田	無回答	50代	水道の安定供給以前に、ここ数年質の低下が見られる。もはや生水は飲めなくなり、ペットボトルを買っている。断水時のその場の処理も大事だが、配水系全般がすでに古くなっているのかもしれない。（予算不足は分かれますが）

3-2-4 市街地の整備

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	50代	流雪溝、融雪溝が24時間利用できると助かります。
花輪	無回答	無回答	コンパクトシティ、人口増より密度を高める取組をしてほしい。
花輪	無回答	無回答	コモッセは大ヒットです。子どもたちが安心して使えます。コモッセを中心とした街づくりをしてほしい。
十和田	女性	60代	有料コインパーキングを花輪駅のそばに作ってほしい。市民が盛岡、東京方面へ出かけるとき、早朝、夜間に車を駐車する場所がなく、大変不便を感じてる。

3-2-5 住宅の整備

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	50代	鹿角市は若い人には住みにくい。アパート代は高いが賃金は安い。若い人が住みやすい鹿角市にしないと鹿角はなくなっていくと思う。

3-3-1 快適環境の創出

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	近所で肥料袋と一緒に草を燃やしている人がたくさんいます。隣で燃やしているから、自分の回りでも燃やしていいやと思っている人が多く、臭くて大変で不快な思いです。特に年配のルール違反が目につきます。
十和田	女性	30代	ごみの出し方が分からないときがある。家にあるポスターでは、「不燃物投棄場へ」とか「指定業者に連絡」等と書かれているが、そこを知らないために結局どこに捨てればよいのか分からずにいる。その連絡先などを記載してほしい。
八幡平	男性	60代	市は観光の振興が重要と思いますが、市内では草、ごみ等の焼却による煙が絶えません。更に缶やビンの投げ捨てもまだ多い状況です。このような状況では、外国も含めた観光客を受け入れるには、まだまだ市民の意識改革が必要だと思います。市の条例策定とか環境キャンペーンの実施等が必要と考えます。

3-3-2 循環型社会の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	乾電池を簡単に出せるようにしてほしい（燃えるゴミに混ぜてもいいなど）。

3-4-1 防災体制の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	大雨等の災害時、早めのパトロールや連絡をしてほしい。

3-4-3 地域安全対策の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	40代	現在、花輪二中学区内に住んでいます。保育園・小学校・中学校統合ということになり、寂しいという感じを受けています。少子化、時代の流れというのでしょうか、北小、平元小の小学校統合後は現花輪二中の校舎を使用する予定とかがいましたが、当該中学校周辺には横断歩道はありますが信号がなく、これから小学生が通うのを考えると必要なのではないかと考えます。近くには、あおぞらこども園もあり、園児の散歩道にもなると思います。子どもたちの安全確保という面からも横断歩道・信号の設置を希望します。
花輪	女性	70歳以上	高井田住宅に住んでいるけれど、あんたらあ辺りに信号がほしい。道路を渡るのに大変である。
十和田	男性	30代	自宅の近くが住宅街になってきたが、街灯が少ない気がする。暗くなると不審者が出てもおかしくない。
十和田	男性	30代	花輪駅前の信号を歩行者分離にする必要がない。
十和田	男性	30代	LED街灯がむき出し過ぎてまぶしい。もう少し拡散するように調整してほしい。
十和田	女性	30代	空き家が多いのが気になります。特に国道沿いでの空き家は見栄えも良くないと思うのですが、市で安く買い取り等して、土地だけでも無料又は格安で提供すれば若者も増えるのでは。

十和田	女性	30代	市役所前の道路、クロネコヤマトもできたので、押しボタン式の信号ではなく、通常の信号機を設置すべきだと思う。
無回答	無回答	無回答	人口減少に伴う空き家・空き地の対策、これによる様々な問題が発生してきます。

4-2-1 生涯学習の推進

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳未満	図書館の本が少な過ぎます。
花輪	男性	30代	コモッセのホームページがスマートフォンから見ると字が重なってるので、見られない。
花輪	女性	30代	コモッセの駐車場について、文化ホールでのイベントがある際、いつも満車で近隣のパーキング等の案内もなく、とても不親切だと感じる。何度かそれで利用を諦めたことがあるし、地元民は大概一人一台の車を所有しているので、多数の来場者が予想されるときぐらいは、何か対策を取っていただきたい。特に冬季、子どもを連れて歩くには難しい距離と気温である。
花輪	女性	60代	コモッセにジャンルは問わず、メジャーな方をお呼びしてほしい。地域活性化のためにギャラを安く、ボランティア感覚でお願いするなどできないか。
十和田	女性	30歳未満	気軽に参加できる生涯学習があれば行ってみたい。いっどこで開催されているのか情報が伝わってこないなので、伝わるための手立てを工夫してくださると嬉しい。
十和田	男性	30代	コモッセの駐車場が集客に比べ足りない。
尾去沢	男性	30代	田舎に住んでいるために、教養が疎かにならないよう努力（遠出をして鑑賞）しているつもりだが、まったく興味のない親御さんもいると思う。子どもの将来の可能性を広げるイベントなどあれば、たくさんやってほしい。

4-2-2 スポーツ環境の充実

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳未満	公共的なプールがほしいです。
花輪	男性	40代	アルパスに屋内プールがあればよい。グラウンド・プール・体育館などのスポーツ施設を増やしてほしい。冬期間の光熱費の補助金がほしい。
花輪	女性	50代	仕事が終わってから運動をしたいと思っていましたが、前に行っていた施設の終了時間が午後9時から午後6時に変更され、通えなくなってしまいとても残念です。鹿角には夜気軽に運動できる場所がないのが不満です。
十和田	男性	30歳未満	もっと駅伝のことをアピールしてほしい。マラソン大会などを増やしてほしい。
十和田	女性	30代	スキー場がしっかり整備されており、合宿に来る団体も多いはずだが、宿泊先は足りているのか。廃校になる小学校を使って合宿所にしてはどうか。通年でもよいし、冬季でも構わないと思う。体育館、グラウンド、会議室等もあり、家庭科室もあれば、外部の業者さんに賄いをしてもらうにしても、利用できるのではないかな。ただ、宿泊用に風呂場の増設と教室のリフォームが必要かと思う。改装費はそれなりかもしれないが、案として提案する。 また、廃校になっても、小学校の体育館、グラウンド、プールは存続願いたい。部活のない子どもたちの遊べる場、集まれる場を作ってほしい。プールは特にバス通学になるし、夏休みにわざわざ大湯までプールに行くとは考えられない。プールを開放してくれれば、草木、末広の子、運動部に参加していない子や低学年の子な

			ども、家でダラダラ過ごすよりは体力づくりになるのではないかと。
尾去沢	男性	30代	かなやまアリーナについて、予約利用が原則になっていると思うが、予約が入っていない時でも利用できない（管理人は駐在）。閉めるなら閉めてほしい。税金の無駄だと思う。北部シルバーエリアみたいな所があるといい。予約なしで使える広い体育館があればいい。冬こそ屋内で遊べる所があれば便利。冬が長いので鬱になりそう。

5-1-1 地域コミュニティの活性化

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	50代	各部落の構成についてですが、班・グループを組んでいると思いますが、部落の人数により、1班あたり10人くらいのグループになっていると思います。そこから2人減り、8人になった場合、新しく入居した人が場所が遠くても少なくなった班に加入させられて、結果、会員の集金、広報の配達等面倒なことが起こっています。部落の会長さんと話し合いを持つのですが、結果、昔からそこに居たからと言われ、部落の中に違う部落の人がたくさんいて、結果として希薄な状態になっています。また、ゴミ箱もすぐ近くにあるのに、あなたは隣の部落の人だから向こうに出してくださいなど言われ、なんで仲良くできないのか不思議です。区域の整理を見直してくれるようになると嬉しいですね。

5-1-4 鹿角ライフの促進

地区	性別	年代	内容
十和田	女性	50代	都会に出た息子が鹿角に戻ろうと思っているらしく、住む所として空き家を購入したのですが、リフォームが必要で、家のリフォームや都会からUターンしてくる者に対して何か補助的なものはないのでしょうか。また、本人が戻ってくる前にリフォームをしておきたいのですが、親でも手続きはできるのでしょうか。
尾去沢	男性	60代	他県からの若者移住に対する施設は進んでいるが、退職後に里帰りする（Uターン）者に対する支援がない。移住の点から考えると、40年後に戻ってくるのも移住ではないのか。転出を抑える施設も大事だが、転入（Uターンも含む）しやすい環境や支援も大切な気がする。

①政策全般に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30歳未満	普段生活していて、若者がいない印象だが、意外に定住していると思う。夜の飲食店に言えることだが、地域性のためか集客力がない。市の駐車場でビアガーデンを開催するなどしてはどうか。また、鹿角は歴史が強みだと思うので、古いものに新しいアイデアを組み合わせるべき。ストーンサークルでの夜イベントなど、高齢者が変えてほしくない保守的な意見もあると思うが、そこを若者が創っていかなければいけないと思う。
花輪	女性	30歳未満	秋田県唯一の東北自動車道ICがあることをもっと有効にアピールした方がよいと思います。私自身も昨年県外から移住してきましたが、ICがあるというのが鹿角を選んだ理由のひとつです。活性化につながるポイントだと思います。また、子育て支援に力を入れてもお産ができない環境であれば、人口が増加することは難しいと思います。
花輪	女性	30代	鹿角が好きなので、住みやすく、住人が減らないようにしていただきたいと思います。改善の仕方などは分かりませんが、よろしく願いいたします。

花輪	女性	50代	多くの政策を行っているようだが、効果がまったく見えないし表れていない。本 当に行っているのか疑わしいほど。他の市町村の真似をしてもよい。ただ真似する ならそれ以上のことをするべき。ふるさと納税に関してもやるのが遅すぎたし、送 る品もあまり魅力がないように思える。もっと満足できるような品、魅力のある物 を送るべき。全体的に鹿角は遅れている。政策も中の下なものがほとんどである。 高齢者だけでなく、老若男女すべての人が住みやすい街づくりをしてほしい。現状 維持だけだと鹿角の人口はもっと減り悪くなるだけ。本当に良くしたいのなら、も っと高い政策や変わったことをするべきだと思う。
花輪	男性	60代	秋田市へ一極集中する秋田県には限界がある。県境に位置する地理的・文化的特 性を生かして岩手県や青森県の自治体と協力し、独自施策を展開すべきである。
花輪	女性	60代	先頃、高校生が「鹿角に魅力を感じないから、進学・就職でここを出ても戻って こない。いる人たちが頑張ればいい」と話していました。確かに若い人たちには、 遊ぶ所も職種も限られていて不満だと思います。でも正直ショックで残念でした。 何ができるか、一人では到底無理です。中学、高校といわず、もっと小さい頃から 鹿角の事を一緒に考え、勉強して魅力ある故郷を作り上げてほしいです。
十和田	女性	30代	もっと若者が住みたいと思えるまちになってほしいです。色々なイベント、お祭 りなど、もっとしっかり話を聞いて協力してくれるようになってほしい。
十和田	女性	30代	鹿角へ戻って3年目になる。良いところも悪いところもあるが、外へのアピール がとても足りていない気がする。素敵などころがたくさんあるのにもったいない。
十和田	女性	40代	市の経済状況を見ながら色々な事業を進めていってください。
十和田	女性	40代	少子化と人口減少をどうしようと思っているのか。市が成り立つのか。一人暮ら しの老人が多く、空き家も多くなってボロボロの家が増えてきたと思う。生活して いくのに必死である。
十和田	男性	60代	市税の使い方について。市税の収支を考えて公共施設を建設してほしい。将来、 負の財産にならないようによく検討してほしい。
十和田	女性	60代	仙台から移住して2か月が経つが、鹿角にはたくさんの資源財産があるのに、上 手く機能していないもったいなさを感じます。例えば、建物を建てても生かしてお らず、住民の意見、アイデア、参画が必要なのではないだろうか。移動手段の交通 機能がないとか、地場産品を生かしていないとか、移住者同士の交流の場や意見交 換の機会を作ってもらえたらとか、地域の差別的意識とか、実際職場での会話で実 感しています。私自身、疎外感の中におります。鹿角の人間はもっとおおらかな人 間だったと記憶していましたが、寂しく感じます。市の政策、事業に住民の声やア イデア参画の場を設けてはいかがでしょうか。他の地域からの移住者のアイデア、 意見を開くのも一つの手だと思います。
十和田	女性	70歳 以上	若い人たちが地元になく、老人がたくさんいる。自分が老いたとき、施設が色々 ありますが、働く人たちがいるのかとても不安に思っています。市の方でも人材不 足に色々ご尽力いただいていると思いますが、福祉（介護士、ヘルパー等）を勉強 したい方々に奨励金（特別奨励金。地元へ帰り就労した時は返済免除等）を出して はどうでしょうか。鹿角市は環境もよく、たくさんの福祉施設があり、福祉のまち で全国アピールできるよう市民の方々が協力し、赤ちゃんから老人まで安心して住 めるまちになればよいと思います。お医者さん、看護師さんも同様（個人医院も後 継者不足等の問題がある）、若い人たちが安心して学び、地元へ帰って来ていた だき、住みたいまちになるようお願いいたします。
尾去沢	女性	30歳 未満	商業施設が少ない。高齢者の住みやすい街ではあるが、若者にとっては住みにく い街である。このままでは、若者の減少に歯止めがかからないと思う。
尾去沢	女性	40代	今まで弘前や大館とても便利な生活を送ってきたので、鹿角市には病院や買い 物にとっても不便を感じている。まだ鹿角市民になって7か月。少しずつ魅力も見つ

			かってきているので、これからどんどん大好きな街になっていけたらと思う。
八幡平	女性	40代	鹿角市に不便は感じておりません。買い物はネットや県外でできますし、住みやすいと思います。若者の流出もそのご家庭の考えがあるでしょうし、後継者不足についても当事者にならなければ分からないことだと思います。その時代にあった政策をどんどんしていくべきだと思います。生産的な事業には補助し、非生産的な事業は削除し、皆さんの税金で収入を得られるようになればよいと思っています。優秀な方には見合うお給料を支払うべきですし、固定給を撤廃するのも一つの案かと思っています。これからは誰かがやるのではなく、自分がやらなければならない時代です。鹿角市民が協力し合い、事業が成し遂げられればよいですね。
八幡平	男性	50代	最近言われていることだが、就職等で女性が鹿角から出ていく割合が多いため、結婚できない男性が増えているようです。男女共に鹿角に残りたいと思える鹿角市であってほしいものです。
八幡平	女性	50代	施策の効果など今の自分には分かりませんが、広報を見ると幅広く手掛けていると感じています。自分自身世間知らずのことがたくさんあり、定年後は地域のことに関わっていきたく、そして気づかなかったことがたくさんあると思っています。
八幡平	女性	50代	市の政策など、詳しく勉強しなければと思っていますが、なかなかできていません。どうしたら若者が住んでくれるのでしょうか。“安心”して生活できるのが一番だと思います。将来、子育て、老後などどうしたらいいのか自分も分かりません。市・行政にだけ頼ってはいけないのも分かっています。一人ひとり自覚を持っていかなくてはと思っています。
無回答	無回答	無回答	インターネットの社会なので、公務員数を少なくし、その分福祉関係にお金をまわしたらよいと思います。仕事が嫌なのか分かりませんが、アルバイトやパートを頼む場合が多いみたいです。もっと体を使ってください。

②職員・市の窓口に関すること

地区	性別	年代	内容
花輪	男性	30代	上級職を採用される場合、関東や関西に人脈のある方を積極的に採用された方がよいと思う。
花輪	男性	30代	平日市役所に行けないので、土日に行けるような環境を作ってほしい。
花輪	男性	40代	市民参加という聞こえの良い言葉で逃げて職務怠慢だという声を聞く。
花輪	女性	30代	市役所都市整備課の窓口対応がよくないと感じた。正直嫌な気持ちになった。窓口でお客様と対応するのであれば、鹿角の顔として、もう少しどのような対応をしたら不愉快にすることがないかを勉強してほしいと感じた。
花輪	女性	40代	臨時職員5年の雇用は長すぎるように感じる。色々なことに詳しくなり、時には家庭事情にも口出しされ、不愉快である。
花輪	女性	50代	市役所も支所も受付（各部署）の人の笑顔がない。機械的な対応をしている人（特に女性）が多いと思う。頭に来ることが多々あります。鹿角市の顔にもなるので、もう少し笑顔で対応してほしい。各部署の受付の奥にいる人たちの態度も時々気になります。総合案内の職員は笑顔もあり、とても素敵だと思います。的確に質問に答えてくれるので頑張してほしいです。
花輪	女性	60代	市の職員の対応で、とても嫌なことが二度ありました。市役所では、謝ってくれましたが、小さな子どもがいたため、ショックでした。もう一つは、市役所の税務課の対応です。自分が分からないときは先輩に聞いてから対応してくれればと思いました。
十和田	女性	30代	市役所内自体をもっと明るく、利用しやすい雰囲気にしてもらいたいです。分か

			らないことや聞きたいことがあっても行きにくいいため、市役所に出向こうとは思いません。仕事が忙しいのは分かりますが、すぐに要件をうかがってほしいです。
十和田	女性	30代	市役所1階が暗過ぎる。また、5Sが足りていない。上司がふんぞり返り、手前にいる職員も見て見ぬふりで、挨拶がない。たとえ自分の課に用がなかったとしても、「どういったご用件でしょうか」と一言声かけがあってもよいかと思う。市の窓口が暗いから市民もこうなるのかと思った。照明をもっと明るくし、ラジオやBGMでも流してくれたら雰囲気は変わると思う。例えばだが、私が以前住んでいた千葉市では、区によって全く違った。緑区は対応が悪く乱雑で、逆に花見川区はとても気持ちよく、明るい区役所であった。何が違うのか考えてみると、花見川区はやはり上司自ら動いている。雰囲気が違うと市民も安心する。それに付随して保健センターも同様だった。
十和田	女性	30代	今の時代、土日休日の職場は少ないです。色々な手続きをする上で、平日だけだとわざわざ休みを取って行かなければなりません。市の職員も時代に合わせて交代での休みはできないでしょうか。土日でも市役所を普通に開いておいてもらえませんか。選挙時の立ち合いの人数が多すぎると思います。広報を見ると、市職員の手当てが多すぎると思う。皆勤するのは当たり前のもので、それに対して手当てが出るのはおかしいと思う。一般職（鹿角の平均給料）に水準を合わせてほしい。
十和田	女性	50代	鹿角市は職員が多過ぎる。この人口でそんなに職員が必要なのか。人材を減らしたらいかなものか。人が多い割に手続きに時間がかかり過ぎ。1回で用事が済まないほか、接客態度が悪い。
尾去沢	女性	30代	今まで引っ越しが多く、10か所くらいの市区町役場を見てきましたが、鹿角市役所は、一人ひとりの職員の方の対応はとても親切なのに、全体はとても暗く感じます。外から来た者からすると、初めて現地の方と会う場所であり、その区市町の印象を決める“顔”となるのが市役所だと思います。一番印象の良さ悪しが決まるのが「挨拶」だと思います。ある市役所では、デスクに座っている奥の方の職員さんまでみんな挨拶をしてくれていました。ある市役所では、書類をどこに取りに行けばいいか迷っていても見向きもせず、デスクでスマホをいじっているという所もありました。とても素敵な庁舎で一人ひとりのスタッフも素晴らしいのに、鹿角市役所のイメージが暗くなってしまうのはもったいない気がします。鹿角に定住すると決めております。「市の顔」となる市役所が、私たち市民が胸を張って誇れる場所となることを期待しています。
尾去沢	男性	40代	職員の育成に問題があると思う（責任の確保の部分）。異動は仕方ないが、前任部署での自身の発言には責任を負うべきだと思う。若年層（20～40代）の意識低下が著しいと思う。職員数の減少（経済化）も理解できるが、多忙が理由のおざなりな政務はしてほしくありません。
尾去沢	女性	40代	いつも暇そうにしている市役所の職員が本当に必要なか見直してほしい。パソコンゲームしている人に税金が使われていると思うと腹たしいです。
無回答	無回答	無回答	手続きに必要な書類や写真等がある場合は必ず一覧表のようなものを用意するようにしてください。以前、用意して持っていく度にあれも必要、これも必要と何回も足を運ばされて閉口したことがありましたので。
無回答	無回答	無回答	何よりも不祥事を起こさないようにしてください。一生懸命にやられている人も気の毒に感じます。みんな同じ目で見られ、信用は一瞬でなくしてしまいます。

③アンケートに関すること

地区	性別	年代	内容
八幡平	女性	30代	アンケートをとるだけでは意味がない。集計結果と、市としてそれにどう取り組

		むかを示してほしい。また、このアンケートは700人とのことなので、もっと広く意見を集め、政策や事業に反映する方向でいってほしい。以前もアンケートに答えたが、改善は見られないので、アンケートにかかる労力も費用も無駄だと思う。アンケートをとるのは良いと思うので、実のあるものにしていただきたい。
--	--	---

④その他

地区	性別	年代	内容
花輪	女性	30歳未満	収入に対して物価が高いと感じる。
花輪	男性	30代	市議会の無所属の方の一般質問の時間短縮がよく分からない。会派に所属していない議員は村八分なのです。
花輪	男性	30代	花輪駅から盛岡方面へ行く線路沿いの道路を通るタクシーがすごいスピードで通っていて危険。花輪駅のタクシーのマナーが悪い駐車のおかしさと思う。
花輪	男性	30代	田舎なので低賃金、役所関係は高賃金なのはおかしいと思う。
花輪	男性	40代	屋内で子どもが遊べる施設がほしい。デパートや百貨店などがあればよい。
花輪	男性	40代	市議会、市職員の報酬が高すぎる。
花輪	女性	40代	花輪高校では学食も購買もなくなって、食べ盛り子どもなのにと親が困っていると友人・知人に聞いた。せめて購買だけでも復活させてみてはいかがか。
花輪	女性	50代	市民サービス等が広報だけでしか知ることができず、以前、知らずに終わっていたこともあり残念だった。
花輪	女性	60代	以前に比べて、イベントなどがあっても市民を楽しませる催し物などがカットされている。
花輪	男性	60代	5月末のきりたんぼFMのニュースで取り上げていましたが、市議会議員の質問時間を少なくしようと取り決めていたと聞きました。とんでもないです。もっと活発に意見交換してほしいです。民主主義に反しています。市民の代表が何を考えているのか。広報かづのにコメントを載せてほしいです。
花輪	男性	60代	「限界集落」、まさに現実起こりうるかもという危機感をもって生きていかなければならない時代、急増する高齢者とそれを世話する少ない人数の若者。5年、10年、20年後を考えると、とても自分の子どもに住みよい鹿角に帰って来いなんて言えない。苦しくても辛くても、県庁所在地かそれに相当する都市部で仕事をし、家族を持ちなさいと言わざるを得ない。年収面などを考えても鹿角市内の民間企業の平均年収は、他地域と比較してもかなり低いからである。
十和田	男性	30代	運転免許を盛岡の免許センターで取得できるようにはならないだろうか。秋田市まで行くのは遠い。
十和田	女性	30代	住民票などの料金、税金で賄ってほしい。
十和田	女性	30代	鹿角市は、市役所と保健センターが離れているがなぜか。市役所と保健センターは切り離せない関係なのに、離れていることに疑問である。一度、市役所の方々で見学してきてみてはどうか。経費、予算等全く無視しての意見であるが（市民には分からないので）。鹿角の良いところ、悪いところを市役所の方々が自分の目で見て、見つけるべきだと思う。
十和田	女性	30代	市民全員とは言わないが、人見知りの多い市だと思う。それも原因で一度就職したが退職した。大体の店へ入っても店員が人見知りするのはどういうことか。殿様商売が多すぎて、腹立たしいことが多々ある。
十和田	女性	40代	いつも思うが、議員の人数を減らし活動してほしい。
十和田	女性	40代	市役所内の職員側の床に敷いてあるカーペットが剥がれていたり、ガムテープで補修してある所がありますが、見栄えが悪いです。仕事の書類等だとは思いますが、

			机上も乱雑に見えてしまい、個人情報がかちんとされているのかも不安になります。
十和田	女性	50代	健康保険証のラミネート加工を希望者に行ってくれる大館市のサービスを聞き、良い取組だと感じました。健診の前に容器を配布するという過剰なサービスは無駄ではないかなど、近隣市町村との交流・情報交換して、良い所は取り入れてくれたらと思います。
尾去沢	女性	40代	応援しています。市民のために一生懸命頑張ってください。
尾去沢	女性	50代	自然の山、川を生かして若者が遊べるキャンプ場をつくってほしい。マクドナルドがあればいい。大館まで行かなければならない。
八幡平	女性	40代	隣町、小坂町に比べ何か不足している感じがある。太っ腹感がないので見習ってほしい。最低賃金、生活水準、所得水準が低すぎる。そのため、家族が都心へ出稼ぎ、家族が離れて暮らしている現実。少子化と言われても3人以上頑張って育てているが、将来が不安で仕方がない。鹿角で安泰なのは市の職員と公務員のみ。時間も長く働いているのに不満。魅力ある施設、何か考えないと人も医者も来ない。
八幡平	男性	50代	鹿角から他地域への移動が困難。特に冬期間は他地域から鹿角へ来るのが難しい。
八幡平	男性	60代	合葬墓を作ってほしい。お金がかかり過ぎる。
無回答	女性	無回答	コモッセや図書館、市役所、病院などもっと開館時間をもっと長くしてもらえると助かる。
無回答	女性	無回答	公衆トイレが少なくて困っている。特に通学路にないと子どもたちがかわいそう。

資 料



平成 30 年度市民アンケート回答票

はじめに、あなた自身についておたずねします。

設問1 あなたの住んでいる地区、性別、年代等について、あてはまるものの□に○を記入してください。

①住んでいる地区	<input type="checkbox"/> 花輪	<input type="checkbox"/> 十和田
	<input type="checkbox"/> 尾去沢	<input type="checkbox"/> 八幡平
②性別	<input type="checkbox"/> 男性	<input type="checkbox"/> 女性
③年代	<input type="checkbox"/> 30歳未満	<input type="checkbox"/> 30代
	<input type="checkbox"/> 40代	<input type="checkbox"/> 50代
	<input type="checkbox"/> 60代	<input type="checkbox"/> 70歳以上

※現在、ご自分が子育てをされている方はご記入をお願いします。

④子どもの成長段階（複数いらっしゃる方は下の子）	<input type="checkbox"/> 未就学児	<input type="checkbox"/> 小学生
	<input type="checkbox"/> 中学生	<input type="checkbox"/> 高校生

健康づくりについておたずねします。

設問3① あなたは、「健康寿命」という言葉を知っていますか。

1. よく知っている 2. 意味は知らないが聞いたことはある 3. 聞いたことがない

設問3② あなたの健康意識について、あてはまるもの一つに○をつけてください。

1. 健康である 2. どちらかといえば健康である 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば健康ではない 5. 健康ではない

設問3③ あなたは、鹿角市が脳卒中による死亡率が非常に高いことを知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

設問3④ あなたは、脳卒中の前触れ発作（※いっかせいのうきょけつほっさ一過性脳虚血発作）について知っていますか。

1. 知っている 2. 知らない

※一時的に脳への血液供給が途絶えのうこうそく脳梗塞と同様な症状が出現するもの。1時間以内の改善が多い。

設問3⑤ 市では、24時間365日、無料で健康・医療に関する相談を電話で受け付ける「テレフォン病院24」を実施していますが、あなたは利用したことがありますか。

1. 利用したことがある 2. 利用したことがない → 問3⑥へ

設問3⑥ 問3⑤で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 知らなかったから
2. 利用する機会がないから
3. 具合が悪いときは病院に行くから
4. 電話だと安心して相談できるか不安だから
5. その他（)

公共交通についておたずねします。

設問4① バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として当てはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 週2回以上利用 | 2. 週1回程度利用 |
| 3. 月に1回以上利用 | 4. 年に数回程度利用 |
| 5. 数年間利用したことがない | |

設問4② あなたは、普段の生活の中で、公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 感じる | → 不便を感じる理由 |
| 2. 感じない | |
| 3. あまり利用しないのでわからない | |

地域情報化についておたずねします。

設問5 あなたはインターネットを利用していますか。また、利用している場合は、利用機器について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. インターネットを利用している |
| ①パソコン ②スマートフォン ③スマートフォン以外の携帯電話・PHS |
| ④タブレット型端末 ⑤ゲーム機 ⑥インターネット機能付きテレビ |
| ⑦その他（具体的に： _____) |
| 2. インターネットを利用していない |

中心市街地についておたずねします。

設問6 あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごころだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

<ol style="list-style-type: none">1. 満足している2. やや満足している3. やや不満である4. 不満である	<p>→</p>	（不満と感ずる理由）
	→	

男女共同参画の状況についておたずねします。

設問7 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none">1. 男性の方が優遇されている2. どちらかといえば男性の方が優遇されている3. 平等である4. どちらかといえば女性の方が優遇されている5. 女性の方が優遇されている
--

▼男女共同参画社会

固定的な男性観、女性観にとらわれず、男女が社会の対等な構成員として、自らの意思で個性と能力を發揮することができる社会をいいます。

コモッセの利用状況についておたずねします。

設問 8 ① あなたは、昨年 1 年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

- | | | |
|------------|---|-----------------|
| 1. 鑑賞した | → | 設問 8 ② へ |
| 2. 鑑賞しなかった | → | 設問 8 ③ へ |

設問 8 ② 設問 8 ①で「1. 鑑賞した」を選んだ方におたずねします。そのうち、コモッセ文化ホールで開催されたコンサート等はどの程度鑑賞しましたか。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 10 回以上鑑賞した | } 鑑賞しなかった理由 |
| 2. 4～9 回鑑賞した | |
| 3. 1 回～3 回鑑賞した | |
| 4. 鑑賞しなかった → | |

設問 8 ③ あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 毎週 | } 利用しなかった理由 |
| 2. 月 1 回程度 | |
| 3. 年 3 回程度 | |
| 4. 年 1 回 | |
| 5. 利用しなかった | → |

設問 8 ④ 設問 8 ③で 1～4 を選んだ方におたずねします。主な利用目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1. 市民センター（講堂・和室・会議室等） | 2. 図書館 |
| 3. 子ども未来センター | 4. 文化ホール |
| 5. 練習室 | 6. 喫茶 |
| 7. その他（ | ） |

運動の実施状況についておたずねします。

設問 9 あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____ 1回あたりの時間： 約 _____ 分
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない	→	

地域コミュニティについておたずねします。

設問 10 あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動（クリーンアップ・運動会・スキー大会等含む）など）にどの程度参加しましたか。

1. 10回以上	理由をお書きください
2. 4回～9回	
3. 3回以下	
4. 参加しなかった →	

住みごちについておたずねします。

設問 11 あなたにとって、鹿角市の住みごちはどうですか。あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 住みよい | 2. まあ住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり住みよくない | 5. 住みにくい | 6. わからない |

愛着についておたずねします。

設問 12 あなたは、鹿角市に愛着をもっていますか。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 愛着がある | 2. 愛着はない |
|----------|----------|

市の政策についておたずねします。

設問 13① 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の 36 項目（①～⑳）から順に 5 つ選んでください。（理由がありましたらその記入をお願いします。）

1 番： 理由：

2 番： 理由：

3 番： 理由：

4 番： 理由：

5 番： 理由：

農林業の振興

- | | |
|---|------------|
| ① | 農業経営体の育成強化 |
| ② | 農業生産の振興 |
| ③ | 農地の保全 |
| ④ | 林業の振興 |

福祉の充実

- | | |
|---|-----------|
| ⑩ | 地域福祉の充実 |
| ⑪ | 子育て支援の充実 |
| ⑫ | 高齢者福祉の充実 |
| ⑬ | 障がい者福祉の充実 |

商工業の振興

- | | |
|---|--------------------|
| ⑤ | 商店街の活性化 |
| ⑥ | 地域産業の活性化（雇用創出、高度化） |
| ⑦ | 雇用の安定（就職支援） |

保健・医療の充実

- | | |
|---|-----------|
| ⑭ | 健康づくりの推進 |
| ⑮ | 母子保健の充実 |
| ⑯ | 地域医療体制の充実 |

観光業の振興

- | | |
|---|----------|
| ⑧ | 観光の振興 |
| ⑨ | 地域間交流の推進 |

交通基盤の整備

- | | |
|---|---------|
| ⑰ | 公共交通の確保 |
| ⑱ | 道路網の整備 |

設問 13② 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを
下表の 36 項目（①～③⑥）から順に 5 つ選んでください。（理由がありましたらその
 記入をお願いします。）

1 番： 理由：

2 番： 理由：

3 番： 理由：

4 番： 理由：

5 番： 理由：

住環境の整備	
⑱	地域情報化の推進（インターネット環境）
㉓	生活排水処理の推進
㉔	水道水の安定供給
㉕	市街地の整備
㉖	住宅の整備

環境づくり	
㉗	快適環境の創出（自然・ごみ処理）
㉘	循環型社会の推進（リサイクル・再生エネ）

市民生活の安全確保	
㉙	防災体制の充実
㉚	消防・救急体制の充実
㉛	地域安全対策の充実

学校教育の推進	
㉜	学校教育の推進

生涯学習・スポーツ・文化の推進	
㉝	生涯学習の推進
㉞	スポーツの推進
㉟	芸術・文化の振興

市民参加と地域づくりの推進	
㊱	地域コミュニティの活性化
㊲	ライフデザインの支援（男女共同参画）
㊳	国際交流の推進
㊴	鹿角ライフの促進（移住定住）

平成 30 年度
市民アンケート実施結果報告書

平成 30 年 8 月
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室
電話：0186-30-0201
FAX：0186-30-1122
E-mail：kikaku@city.kazuno.lg.jp